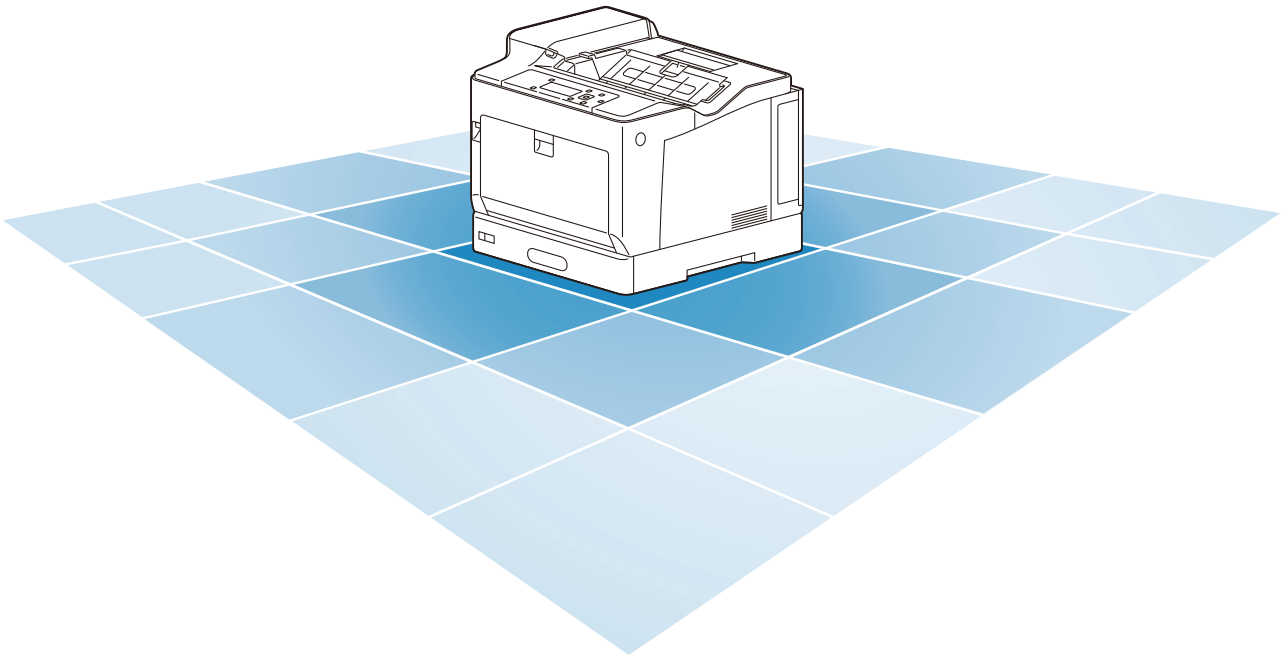
Color MultiWriter 3C550
Color MultiWriter 3C530

カラーページプリンタ



リファレンスガイド

2024年1月　GM1784J9-3 第1版　日本電気株式会社

目次

1 はじめに 6

2 お使いになる前に 7

2.1 本機のマニュアル 7
2.2 マニュアルの表記 7
2.3 本機について 8
2.4 機械管理者情報の変更 8
2.5 各部の名称と働き 9
本体 9
操作パネル 12
2.6 本機で使用している記号 14

3 本機のセットアップ 16

3.1 電源について 16
電源を入れる 16
本機の初期設定をする 16
電源を切る 16
3.2 本機をコンピューターに接続する 17
有線 LAN で接続する 17
USB で接続する 18
無線 LAN で接続する 18
IP アドレスを設定 / 確認する 21
Windows 用のソフトウェアをインストールする 22
プリンタードライバーでオプションの設定をする 24
Mac 用のソフトウェアをインストールする 25
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする 26

4 本機の基本操作 27

4.1 ディスプレイの表示について 27
4.2 節電機能について 28
節電状態に移行する 28
節電状態から復帰する 28
節電機能を設定する 28
4.3 用紙について 29
推奨する用紙 29
各トレイの給紙性能 29
用紙の保管と取り扱い 30
4.4 用紙をセットする 30
用紙をさばく 30
トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）に用紙をセットする 31
手差しトレイに用紙をセットする 36
はがきをセットする 38
封筒をセットする 38
長尺サイズの用紙をセットする 40

5 プリント 41

5.1 コンピューターからプリントする 41
Windows の場合 41
Mac の場合 41

5.2 プリントを中止する 41
操作パネルで中止する 41
コンピューターで中止する 42
5.3 定形外サイズの用紙にプリントする 42
定形外サイズを登録する 42
定形外サイズの用紙にプリントする 44
5.4 はがき / 封筒にプリントする 44
5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント - 45
サンプルプリントについて 45
サンプルプリントをする 45
5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント - 46
時刻指定プリントについて 46
時刻指定プリントをする 47
時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする 47
5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント - 48
セキュリティープリントについて 48
セキュリティープリントをする 48
5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント - 49
プライベートプリントについて 49
プライベートプリントの設定をする 50
プライベートプリントをする 51
5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント - 51
認証プリントについて 51
認証プリントの設定をする 52
認証プリントをする 53
5.10 オンデマンドプリントを使う 54
オンデマンドプリントについて 54
オンデマンドプリントの設定をする 54
オンデマンドプリントをする 55
5.11 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント - 55
メール受信プリントについて 55
メール受信プリントをするための設定 55
メールを受信してプリントする 56
メールを手動で受信してプリントする 57

6 モバイル機器からのプリント 59

6.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する 59
Wi-Fi で接続する 59
Wi-Fi Direct で接続する 60
6.2 Print Utility を使ってプリントする 61
6.3 その他のサービスを利用する 62
AirPrint 62

7 本体設定を変更する 63

7.1 仕様設定について 63
[レポート / リスト] 63
[メーター確認] 66
[機械管理者メニュー] 67
[プリント言語の設定] 88
[言語切り替え] 91
7.2 消耗品メニューについて 91
[シリアル番号] 92
[カスタムモード] 92

8 便利な使い方 93

8.1 インターネットサービスを使う 93
8.2 本機のソフトウェアを使う 94
Print & Scan Hub（Windows） 94
ContentsBridge Utility（Windows） 94
8.3 暗号化機能を設定する 94
証明書の種類 94
暗号化機能について 95
HTTP の通信を暗号化するための設定 96
IPsec を使用して暗号化するための設定 97
無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定 99
8.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について 100
認証 / 集計管理機能の概要 100
認証 / 集計管理機能を使用するための設定 101
IC カード読み取り装置を利用するための設定 103

9 日常管理 104

9.1 消耗品を交換する 104
トナーカートリッジ 104
ドラムカートリッジ 105
トナー回収ボトル 105
9.2 清掃する 106
本体外部を清掃する 106
光路（レーザー）部の清掃 107
ADC センサーの清掃（[094-310] 表示時） 110
用紙搬送ロールの清掃 112
9.3 出力したプリントページ数を確認する 120
総プリントページ数を確認する（メーター） 120
コンピューター別にプリントページ数を確認する（[集計レポート]） 120
機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]） 121
9.4 レポート / リストをプリントする 121
9.5 階調を補正する 121
階調補正チャートをプリントする 122
濃度設定値を決める 122
濃度設定値を入力する 125
9.6 印字位置を調整する（[ペーパーレジ補正]） 126

10 困ったときには 129

10.1 紙詰まりの処置 129
手差しトレイでの紙詰まり 130
トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり 131
フロントカバー内での紙詰まり（A レバー） 132
フロントカバー内での紙詰まり（B ボタン） 133
レバー E 内での紙詰まり 134
10.2 トラブルを解決する 137
機器本体のトラブル 137
プリントのトラブル 138
画質のトラブル 140
トレイや用紙送りのトラブル 144
ネットワーク関連のトラブル 145
10.3 エラーコードが表示されたら 147

11 オプション製品の取り付け 188

11.1 無線 LAN アダプタの取り付け 188

11.2 トレイモジュールの取り付け **189**
11.3 専用キャビネットの取り付け **194**
専用キャビネットの取り付け例 194
取り付け手順 195
11.4 専用キャスタ台の取り付け **197**
専用キャスタ台の取り付け例 198
取り付け手順 198
11.5 ストレージの取り付け（Color MultiWriter 3C550 のみ） **201**
11.6 ソフトウェアオプションの有効化（Color MultiWriter 3C550 のみ） **203**
11.7 セカンダリーイーサネットカードの取り付け **205**

12付録 **207**

12.1 主な仕様 **207**
12.2 保証について **210**
保証書について 210
保守サービスについて 210
プリンターの耐久性について 211
12.3 消耗品、定期交換部品の寿命について **211**
消耗品の寿命について 212
使用済み消耗品の回収 213
有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について 213
消耗品および補修用性能部品について 214
使用済みカートリッジ回収について 214
12.4 情報サービスについて **215**
MultiWriter サポート窓口について 215
12.5 本機を移動するときは **215**
12.6 最新ソフトウェアを入手する **216**
12.7 ファームウェアを最新バージョンに更新する **216**
Windows コンピューターから実施 216
本機から実施 216
12.8 エミュレーションについて **219**
エミュレーションモード 219
プリント言語の切り替え 219
モードメニュー画面 219
使用できるフォント 220
ART IV、ESC/P エミュレーションについて 220
PC-PR201H エミュレーションについて 225
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて 230
PCL エミュレーションについて 235
12.9 lpr コマンドでプリントする **237**
12.10ライセンス **237**

13操作メニュー一覧 **238**

13.1 操作パネルの基本的な使い方 **238**
13.2 仕様設定メニュー **238**
[レポート / リスト] 238
[メーター確認] 240
[機械管理者メニュー] 240
[プリント言語の設定] 287
[言語切り替え] 290
13.3 プリントメニュー **290**
13.4 消耗品メニュー **292**

1 はじめに

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

- このマニュアルのなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
- プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
- 万一、本体の補助記憶装置に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

商標

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、PostScript、および PostScript 3 は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Apple, iPhone, AirPrint, iPad, Bonjour, macOS, Mac, and Macintosh are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android および Google Play は、Google LLC の商標です。

この製品は、eT-Kernel を利用しています。eT-Kernel は、イーソル株式会社の日本およびその他の国における商標です。

その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標、または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

MULTIWRITER、PDF Bridge、ContentsBridge、ApeosWare、および DocuWorks は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

NEC および NEC ロゴは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

2 お使いになる前に

2.1 本機のマニュアル

セットアップガイド

本機の基本的な操作手順や、本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

リファレンスガイド （本書）

プリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルの項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

補足

- 本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

2.2 マニュアルの表記

- 説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。
「 」	• 本書内にある参照先を表しています。 • 機能の名称や入力文字などを表しています。 • 参照するマニュアルを表しています。
[ ]	• 本機のディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウインドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈 〉	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
＞	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 用紙の向きを次のように表しています。

  、たて置き：本機を正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。

  、よこ置き：本機を正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。
- オプション製品のソリッドステートドライブを「ストレージ」と表記します。
- 関連商品の IC カードリーダを「IC カード読み取り装置」と表記します。
- 特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft Windows 10 および macOS 12 を例に説明しています。
- 特に断りのないかぎり、Color MultiWriter 3C550 のイラストを使って説明しています。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- このマニュアルに記載されているプリントスピード、給紙容量などは、C^2 紙（70 g/m^2）を使用した場合の値です。
- 「長尺」用紙とは、よこ：488.1 mm 以上の用紙を示します。

2.3 本機について

- 機能によっては、オプション製品が必要になります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
- ジョブ履歴利用時は次のことに注意してください。
  - ジョブ履歴で取得したページカウントと機械本体のメーターおよびカウンターは、一致しないことがあります。取得したデータは目安としてご利用ください。
  - 機械本体のトラブルやストレージの交換・初期化で、ジョブ履歴が消失する場合があります。消失したジョブ履歴は復旧できません。
  - 既定の数を超えると、古いジョブ履歴は削除されます。ジョブ履歴の取りこぼしを防ぐには、収集間隔を短くしてください。
- 次のオプション製品は Color MultiWriter 3C550 のオプションです。Color MultiWriter 3C530 には取り付けられません。
  - ストレージ
  - PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）
  - セキュリティ拡張キット
  - IC カード読み取り装置
- 最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。

2.4 機械管理者情報の変更

本機の設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をおすすめします。

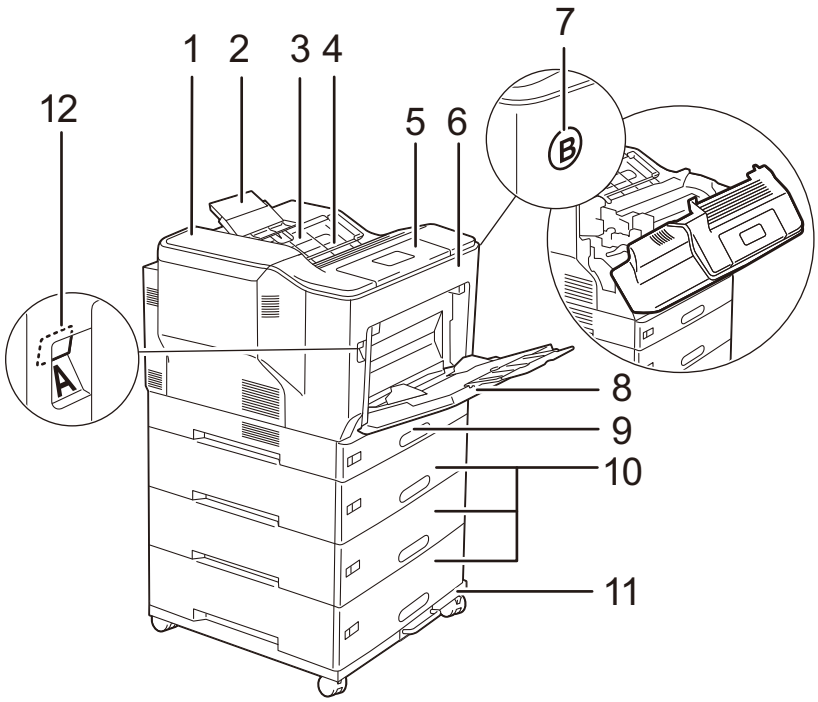
参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。
- 設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

2.5 各部の名称と働き

本体

前面

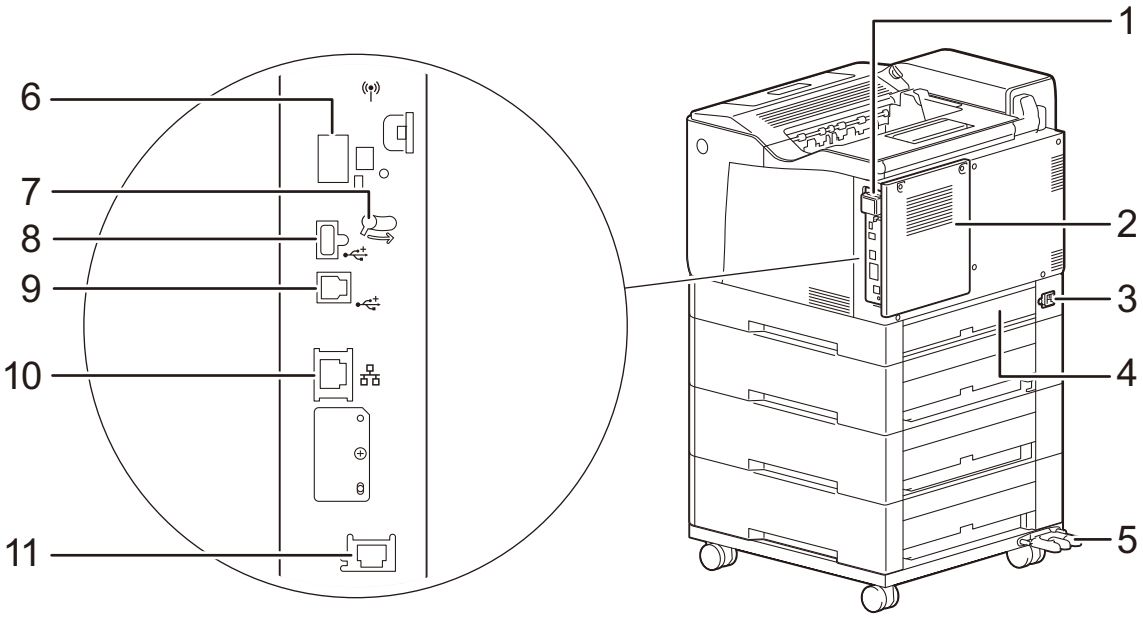


イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

No.	名称	説明
1	トナーカバー	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
2	排出延長トレイ	持ち上げて排出トレイを延長します。
3	トナー回収ボトルカバー	トナー回収ボトルを交換するときに開けます。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	操作パネル	⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタン、操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。 参照 • 詳しくは、「操作パネル」(P.12) を参照してください。
6	フロントカバー	消耗品を交換するときや詰まった用紙を取り除くときに開けます。 目的によって、A レバーを使って開ける方法と B ボタンを使って開ける方法があります。
7	B ボタン	定着ユニットの交換、紙詰まりの対処などをするときに、このボタンを押してフロントカバーを開けます。
8	手差しトレイ	トレイ 1 ～ 4 にセットしていない用紙、またはできない用紙にプリントするときに使用します。
9	トレイ 1	用紙をセットします。
10	トレイ 2 ～ 4（オプション）	用紙をセットします。

No.	名称	説明
11	専用キャスタ台（オプション）	床置き設置ができたり、キャスターで移動できたりします。設置後は、ロックしてください。
12	A レバー	ドラムカートリッジの交換や紙詰まりの対処などをするときに、このレバーを押し上げてフロントカバーを開けます。

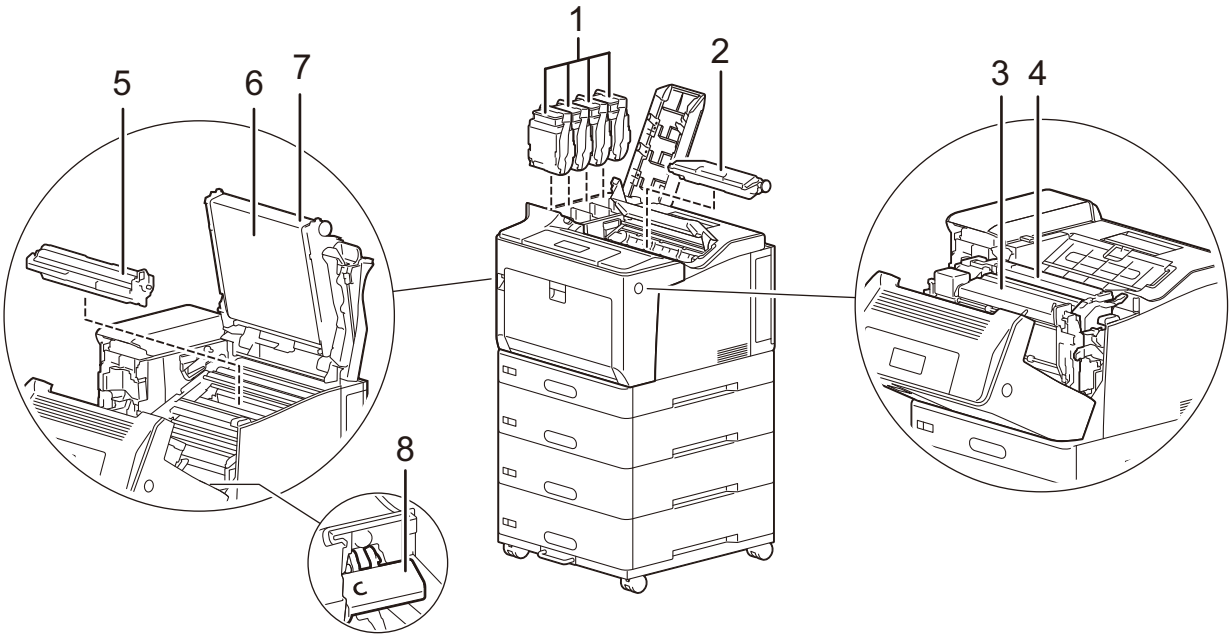
背面



イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

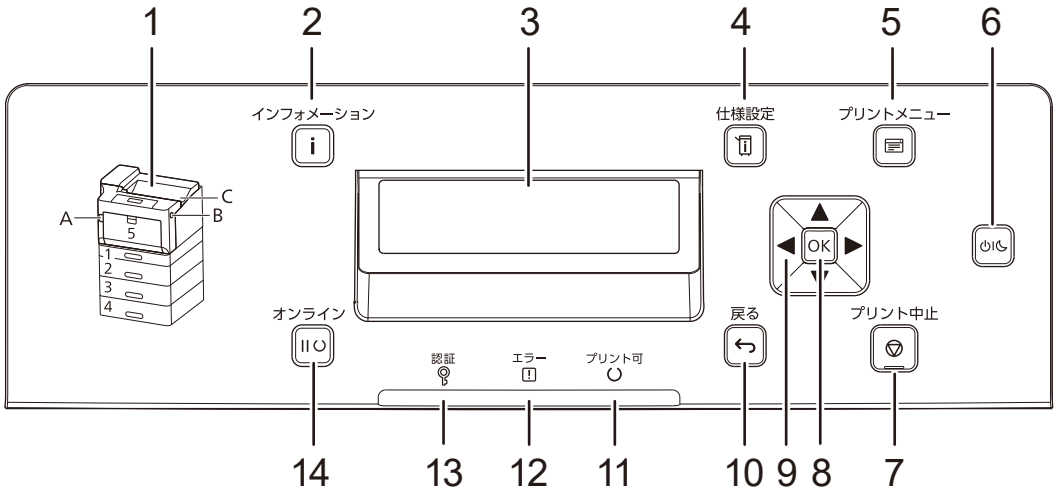
No.	名称	説明
1	無線 LAN アダプタ（オプション）	本機を無線 LAN で接続するときに取り付けます。
2	背面カバー	各種オプションを取り付ける場合に、必要に応じてこのカバーを取り外します。
3	電源コード接続部	電源コードを接続します。
4	ダストカバー	トレイ 2 ～ 4（オプション）を装着するときに取り外します。
5	ケーブルフック	専用キャスタ台（オプション）が取り付けられている場合に、電源コードを巻きつけます。
6	無線 LAN アダプタソケット	無線 LAN アダプタ（オプション）を取り付けます。
7	ロックレバー	無線 LAN アダプタ（オプション）を取り外すときに右に引きます。
8	USB コネクター（上側）	USB 接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
9	USB コネクター（下側）	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
10	イーサネットコネクター	ネットワークケーブルを接続します。
11	セカンダリーイーサネットコネクター（オプション）	セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に、ネットワークケーブルを接続します。

内部



No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナーが入っています。本機に向かって奥側からイエロー(Y)、マゼンタ（M)、シアン（C)、ブラック（K）です。
2	トナー回収ボトル	使用済みのトナーを回収するボトルが入っています。
3	両面プリントモジュール	用紙の両面にプリントする装置です。
4	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる装置です。 注記 • 高温時に触れないように注意してください。
5	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。本機に向かって奥側からイエロー（Y)、マゼンタ（M)、シアン（C)、ブラック（K）です。
6	ベルトユニット	トナーを用紙に転写します。
7	トップカバー	ドラムカートリッジの交換や清掃用パッドで光路（レーザー）部の清掃などをするときに、C レバーを使って開けます。
8	C レバー	ドラムカートリッジの交換や清掃用パッドで光路（レーザー）部の清掃などをするときに、このレバーを使ってトップカバーを開けます。

操作パネル



No.	名称	説明
1	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。
2	i〈インフォメーション〉ボタン	ディスプレイにiマークが表示されているときにこのボタンを押すと、詳細情報が表示されます。
3	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 参照 • 詳しくは、「ディスプレイの表示について」(P.27) を参照してください。
4	〈仕様設定〉ボタン	仕様設定メニューが表示されます。
5	〈プリントメニュー〉ボタン	セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書をプリントするときに押します。
6	〈電源 / 節電〉ボタン	• 本機の電源を入れる / 切るときに押します。 • 節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 参照 • 電源を入れる / 切る方法については、「電源について」(P.16) を参照してください。 • 節電機能については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。
7	〈プリント中止〉ボタン	プリントを中止します。
8	OKボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。
9	▲▼◀▶ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移動します。 補足 • ▲または▼ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、▲と▼ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
10	〈戻る〉ボタン	メニュー画面のとき、1 つ前の項目に戻ります。
11	〈プリント可〉ランプ	プリントできるときは、点灯します。データ処理中は、点滅します。
12	〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅または点灯します。

No.	名称	説明
13	〈認証〉ランプ	オプションの IC カード認証時に点灯します。
14	〈オンライン〉ボタン	〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈プリント可〉ランプが消灯し、プリント処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（プリント可能な状態）に移行します。

2.6　本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

補足

- お使いの機種によっては、使用していない記号があります。

記号	説明
	注意、危険、警告
	感電注意
	高温注意
	指挟み注意
	鋭利部注意
	回転部注意
	アース接続
	指示
	接触禁止
	トナーカートリッジを火中に投じないこと

記号	説明
	トナー回収ボトルを火中に投じないこと
	ドラムカートリッジを火中に投じないこと
	光暴露禁止
	〈電源 / 節電〉ボタン
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと
	インクジェット紙を使用しないこと
	裏紙（他機で印刷した紙）を使用しないこと
	封筒を使用しないこと
	はがきを使用しないこと
	用紙
	プリントする面を上に向けること
	プリントする面を下に向けること
	用紙セット

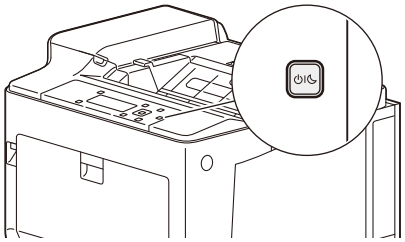
記号	説明
	紙詰まり
	LAN 端子
	USB 端子
	ロック
	ロック解除
	冷却
	経過時間

3 本機のセットアップ

3.1 電源について

電源を入れる

1. **⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押します。**



本機の初期設定をする

初めて電源を入れたときは、本機の初期設定をする画面が表示されます。表示言語と、暗証番号を設定してメニュー操作を制限するかどうかを設定します。

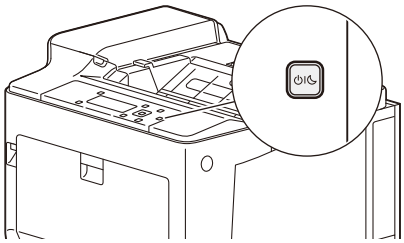
1. **表示する言語を設定し、OKボタンを押します。**
   [操作パネル制限] が表示されます。
2. **[する] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。**
   [暗証番号設定] が表示されます。

   補足
   - [操作パネル制限] を [しない] に設定した場合は、手順 5 に進みます。
3. **暗証番号を入力しOKボタンを押します。**
   [もう一度入力] が表示されます。
4. **暗証番号を再度入力しOKボタンを押します。**
   [初期設定が完了 [OK] を押してください] が表示されます。
5. **OKボタンを押します。**

電源を切る

注記
- 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押します。**



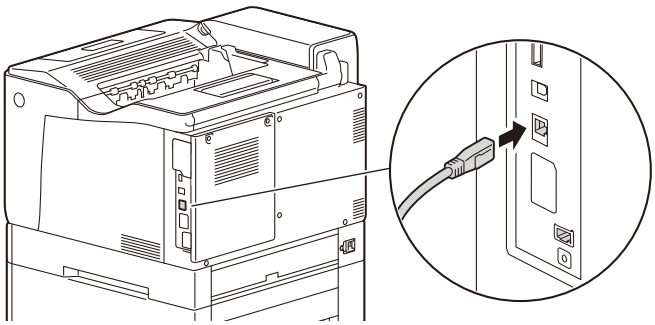
2. **ディスプレイに［電源を切る］が表示されていることを確認し、OKボタンを押します。**

3.2　本機をコンピューターに接続する

本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

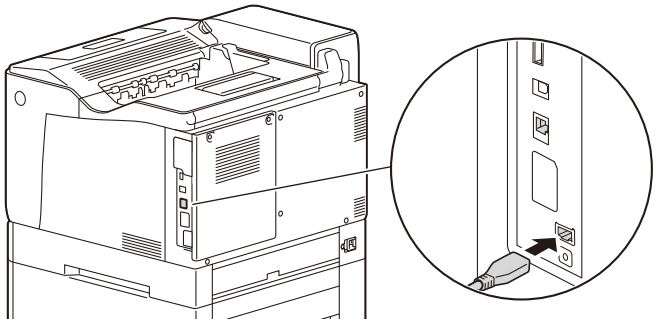
有線 LAN で接続する

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切ります。**
2. **ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクターに差し込みます。**



補足

- セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合は、セカンダリーイーサネットコネクターにケーブルを接続します。



3. **ネットワークケーブルの他方のコネクターを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。**
4. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**
5. **本機の IP アドレスを設定します。**

参照

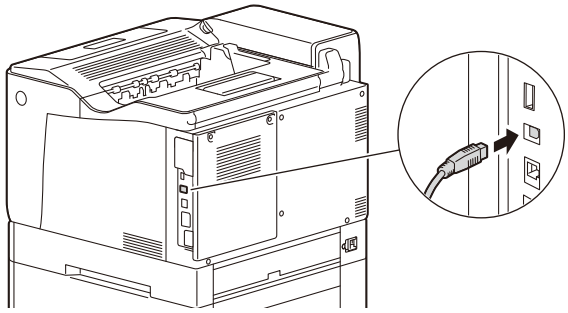
- IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを設定 / 確認する」(P.21) を参照してください。

USB で接続する

補足

- USB 接続の場合、「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクでプリンタードライバーをインストールするときは、［お好みインストール］＞［ドライバー］を選びます。詳しくは、「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.22) を参照してください。

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を切ります。**
2. **USB ケーブルを本体の USB コネクター（下側）に差し込みます。**



3. **USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。**
4. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を入れます。**

無線 LAN で接続する

無線 LAN を設定する前に、無線 LAN アダプタ（オプション）が本機に取り付けられていること、無線 LAN が有効になっていることを確認します。

参照

- 取り付け方法と接続状態の確認方法は、「無線 LAN アダプタの取り付け」(P.188) を参照してください。

無線 LAN 接続は、自動で設定する方法と手動で設定する方法があります。

参照

- 無線 LAN の自動設定については、「無線 LAN に自動設定で接続する」(P.18) を参照してください。
- 無線 LAN の手動設定については、「無線 LAN に手動設定で接続する」(P.20) を参照してください。

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS（プッシュボタン方式）および WPS（PIN コード方式）を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

- WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。
- WPS（PIN コード方式）では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。

参照

- 無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。
7. **［WPS セットアップ］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［PBC 開始］が表示されます。
9. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［[OK] キーで接続］が表示されます。
10. **OKボタンを押します。**
11. **無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。**
    設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

WPS（PIN コード方式）で接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。
7. **［WPS セットアップ］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［PBC 開始］が表示されます。
9. **［PINCode］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
10. **▶またはOKボタンを押します。**
    表示される PIN コードをメモします。
11. **OKボタンを押します。**
12. **PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。**

設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

参照

- PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN に手動設定で接続する

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選ぶか、または SSID を指定して無線 LAN に接続します。

補足

- 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、WEP キーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。
7. **［アクセスポイント検索］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶または OK ボタンを押します。**
   アクセスポイントの一覧が表示されます。
9. **▲または▼ボタンを押して、接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、OK ボタンを押します。**
10. **画面の指示に従って必要な情報を設定します。**
    設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

SSID を手動で入力して接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。
7. **［SSID 直接入力］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶または OK ボタンを押します。**

9. **SSID を入力し、▶または OK ボタンを押します。**
［セキュリティ］が表示されます。
10. **▼ボタンを押して、暗号化方式を選びます。**
11. **OK ボタンを押します。**
12. **画面の指示に従って必要な情報を設定します。**
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを設定 / 確認する

IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定 / 確認方法について IPv4 を例に説明します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**
［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **▶または OK ボタンを押します。**
［IP 動作モード］が表示されます。
6. **▶または OK ボタンを押します。**
現在の設定値が表示されます。
7. **［IPv4］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **OK ボタンを押します。**
9. **↩〈戻る〉ボタンを押します。**
［IP 動作モード］が表示されます。
10. **［Ethernet］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
11. **▶または OK ボタンを押します。**
［IP アドレス取得方法］が表示されます。
12. **▶または OK ボタンを押します。**
現在の設定値が表示されます。
13. **IP アドレスの割り当て方法を選び、OK ボタンを押します。**
［手動］以外を選んだ場合は、手順 14 に進みます。
［手動］を選んだ場合は、次の操作をします。

    1) **［IP アドレス］を入力します。**

    2) **↩〈戻る〉ボタンを押して、［IP アドレス取得方法］を表示します。**

    3) **▲または▼ボタンで、［サブネットマスク］と［ゲートウェイアドレス］をそれぞれ選び、入力します。**
14. **〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。**

IP アドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面または機能設定リストで確認できます。

操作パネルで確認する

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［IP 動作モード］が表示されます。
6. **［Ethernet］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［IP アドレス取得方法］が表示されます。
8. **［IP アドレス (IPv4)］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
9. **▶またはOKボタンを押します。**
   IP アドレスが表示されます。
10. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

機能設定リストで確認する

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
   ［レポート / リスト］が表示されます。
2. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［機能設定リスト］が表示されます。
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   プリントを開始させる画面が表示されます。
4. **OKボタンでプリントします。**
   レポートがプリントされます。
   レポートに記載されている IP アドレスを確認します。
5. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

Windows 用のソフトウェアをインストールする

補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
  - 「有線 LAN で接続する」(P.17)
  - 「USB で接続する」(P.18)
  - 「無線 LAN で接続する」(P.18)

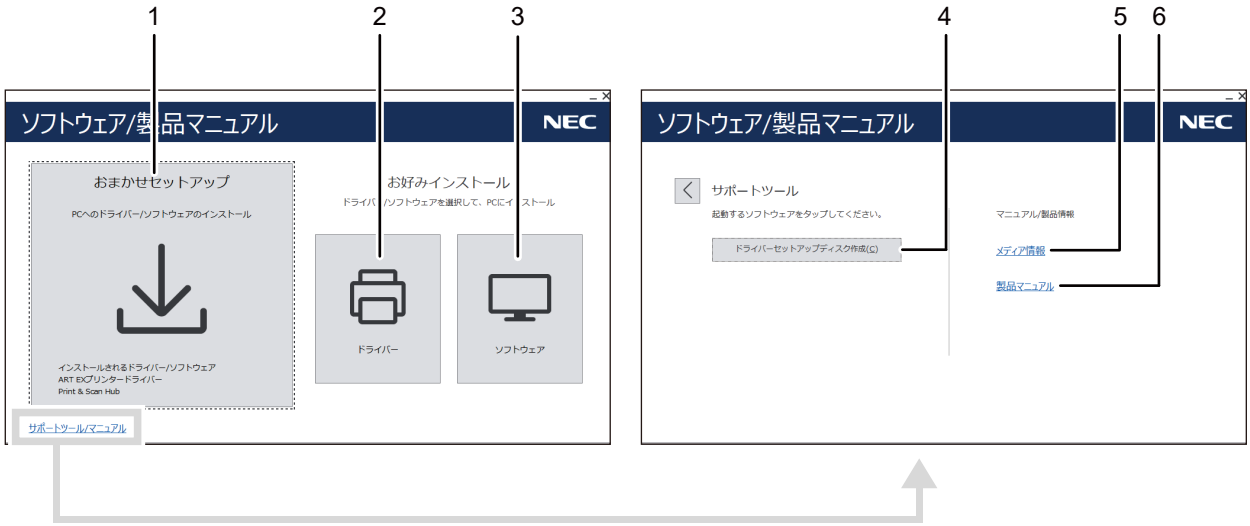
「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。

最新版の Windows 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

https://jpn.nec.com/printer/laser/download/



1 [おまかせセットアップ]

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub

参照

- インストール方法については、「[おまかせセットアップ] でインストールする」(P.24) を参照してください。
- Print & Scan Hub については、「Print & Scan Hub (Windows)」(P.94) を参照してください。

2 [お好みインストール] > [ドライバー]

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2 (PostScript ソフトウェアキット (平成 2 書体) (オプション) 用)

参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.24) を参照してください。

3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility

参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.24) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.94) を参照してください。

4 [サポートツール / マニュアル] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。

補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 ［サポートツール / マニュアル］＞［メディア情報］

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 ［サポートツール / マニュアル］＞［製品マニュアル］

マニュアルを表示できます。

［おまかせセットアップ］でインストールする

1. **「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**

   補足

   - 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
     1. スタートボタンを右クリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
     2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」はドライブ名）を入力し、［OK］をクリックします。

2. **［おまかせセットアップ］をクリックします。**
3. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

［お好みインストール］でインストールする

1. **「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**

   補足

   - 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
     1. スタートボタンを右クリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
     2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」はドライブ名）を入力し、［OK］をクリックします。

2. **［ドライバー］または［ソフトウェア］をクリックします。**

   ［ソフトウェア］を選んだ場合は、手順 5 に進みます。
3. **［使用許諾契約の条項に同意する］を選び、［次へ］をクリックします。**
4. **お使いの接続方法を選び、［次へ］をクリックします。**
5. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

プリンタードライバーでオプションの設定をする

ネットワーク接続されているプリンターのオプションや用紙トレイの情報を、プリンタードライバーの設定に反映します。

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
3. **［プリンター構成］タブをクリックし、［プリンターとの通信設定］＞［プリンター本体から情報を取得］＞［OK］をクリックします。**
4. **［適用］＞［OK］をクリックします。**

   ［プリンター本体から情報を取得］をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合は、［プリンター構成］タブ＞［オプションの設定］で設定してください。

Mac 用のソフトウェアをインストールする

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使ってソフトウェアをインストールできます。
最新版の Mac 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
https://jpn.nec.com/printer/laser/download/

ソフトウェアをインストールする

1. **「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**
2. **ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。**
3. **フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。**
4. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

本機を Mac に登録する

USB 接続で本機を追加する

1. **本機の電源を入れます。**
2. **USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。**
3. **[Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。**
4. **[プリンタ] に本機が表示されていれば、登録は完了です。**
   本機が表示されない場合は、手順 5 以降に従って本機を追加します。
5. **＋をクリックします。**
6. **[種類] 列に [USB] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。**
7. **[ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。**
8. **[追加] をクリックします。**
9. **本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。**
10. **[プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。**

LPD 接続で本機を追加する

1. **本機の電源を入れます。**
2. **本機とコンピューターが接続されていることを確認します。**
   有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
   無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. **[Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。**
4. **＋をクリックします。**
5. **をクリックします。**
6. **[プロトコル] から [LPD（Line Printer Daemon)] を選びます。**

7. **本機の IP アドレスを［アドレス］に入力します。**
8. **［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。**
9. **［追加］をクリックします。**
10. **本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。**
11. **［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。**

Bonjour 接続で本機を追加する

1. **本機の電源を入れます。**
2. **本機とコンピューターが接続されていることを確認します。**
   有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
   無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. **［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。**
4. **＋をクリックします。**
5. **［種類］列に［Bonjour］と表示されている本機の名前を、［名前］から選びます。**
6. **［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。**
7. **［追加］をクリックします。**
8. **本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。**
9. **［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。**

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。

1. **［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。**
2. **［プリンタ］から本機を選び、［オプションとサプライ］をクリックします。**
3. **［オプション］をクリックします。**
4. **本機に装着済みのオプション製品を選び、［OK］をクリックします。**

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
https://jpn.nec.com/printer/laser/support/os/linux/download/

4 本機の基本操作

4.1 ディスプレイの表示について

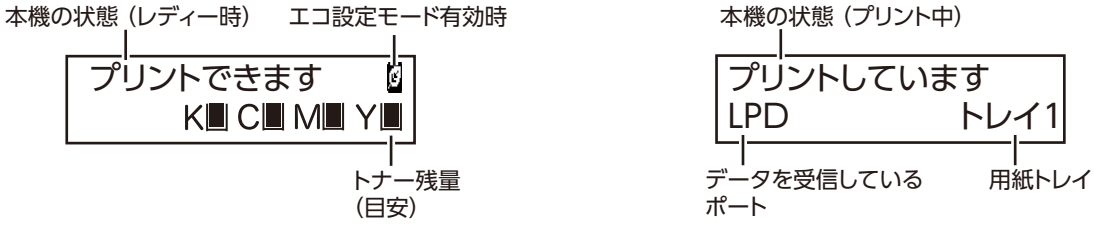
本機の状態を表す「プリント画面」と、本機の設定をするための「メニュー画面」があります。

補足

- ディスプレイにiマークが表示されているときに i〈インフォメーション〉ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

本機の状態を表示します。レディー時またはプリント中は、プリント画面に次のように表示されます。



補足

- トナー残量マークは、次のように表示されます。トナー残量 0% の場合は、エラーメッセージが表示されます。

トナー残量 100 ～ 76%	トナー残量 75 ～ 51%	トナー残量 50 ～ 26%	トナー残量 25 ～ 1%

参照

- エコ設定モードについては、「[エコ設定モード]」(P.77) を参照してください。

メニュー画面

本機の設定をする画面です。

操作パネルで、それぞれ次のボタンを押すと表示されます。

- 仕様設定メニュー：〈仕様設定〉ボタン
- プリントメニュー：〈プリントメニュー〉ボタン
- 消耗品メニュー：▼+OKボタン

参照

- 仕様設定メニューと消耗品メニューで設定できる項目については、「本体設定を変更する」(P.63) を参照してください。

4.2 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げて電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

注記

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。

- 〈電源 / 節電〉ボタンを押して、［節電モードに入る］を選ぶ
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

補足

- 紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 次のようなときは、メッセージを表示するため、また、本機の性能を発揮するために、節電状態に移行しません。
  - 操作パネルの操作をしているとき
  - トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、１つでも交換メッセージが表示されているとき
  - 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
  - エラーが発生しているとき
  - ［暖機運転モード］が［有効］に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

参照

- 節電モードに移行するまでの時間を変更する方法については、「節電機能を設定する」(P.28) を参照してください。

節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- 〈電源 / 節電〉ボタンを押したとき
- 本機がジョブを受信したとき

補足

- ディスプレイが消灯してすぐに〈電源 / 節電〉ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかることがあります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度〈電源 / 節電〉ボタンを押してください。
- 節電状態のときにジョブが実行されると、設定した時間よりも早く節電状態に移行する場合があります。

節電機能を設定する

補足

- スリープモードに移行しないように設定することはできません。
- 低電力モードに移行するには、スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間より大きくなるように指定します。
- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［音の設定］が表示されます。
6. **［低電力移行時間］または［スリープモード移行時間］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押して数値を設定します。**
8. **OKボタンを押します。**

4.3 用紙について

推奨する用紙

⚠ **警告**

- **電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。**

より鮮明にプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

用紙名	用紙質量（g/m²）	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙の画質処理
C2	70	普通紙	[B]

その他の用紙については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

各トレイの給紙性能

用紙トレイ	対応用紙質量（g/m²）	用紙サイズ	セット可能枚数 *1
トレイ 1	60 ～ 216 (A4 サイズの場合：220 まで)	幅：210 ～ 297 mm 長さ：148 ～ 431.8 mm	310 枚
トレイ 2 ～ 4（オプション）	60 ～ 175	幅：210 ～ 297 mm 長さ：148 ～ 431.8 mm	670 枚
手差しトレイ	60 ～ 216 (A4 サイズの場合：220 まで)	幅：75 ～ 297 mm 長さ：98 ～ 1200 mm	210 枚 補足 • はがき：75 枚 • 封筒：20 枚 • 長尺紙：1 枚

*1 ：C2 紙の場合

補足

- 自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。
  - 用紙サイズ
    幅：210 ～ 297 mm
    長さ：148 ～ 431.8 mm
  - 用紙質量：60 ～ 105 g/m²

使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- インクジェット用紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくはお買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

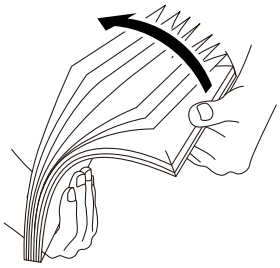
- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

4.4 用紙をセットする

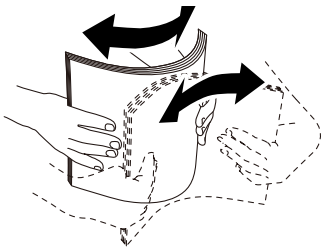
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

1. **用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。**



2. **用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。**
3. **用紙をほぐします。**



4. **上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。**

トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）に用紙をセットする

用紙サイズの設定

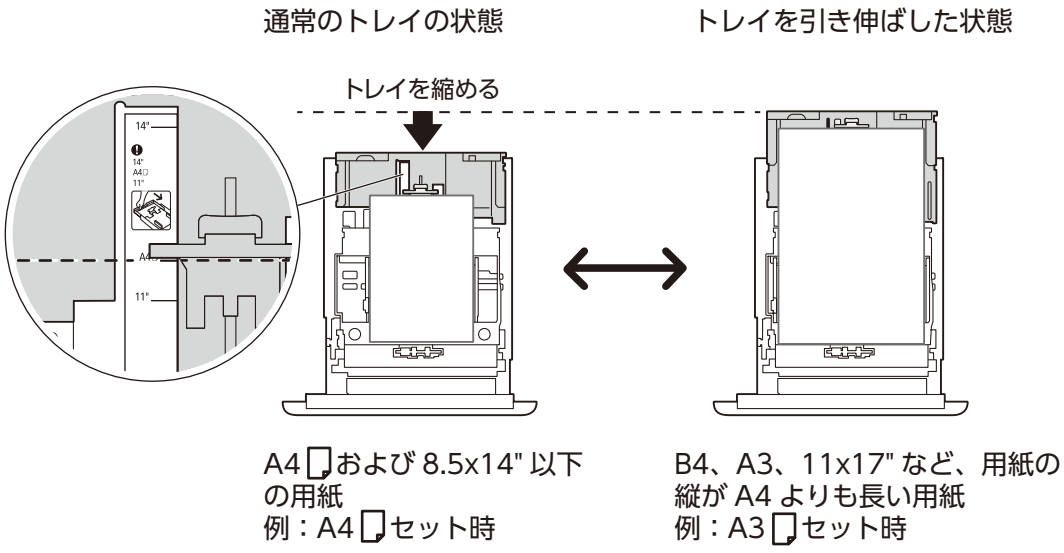
定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。

定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。

B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4（297 mm）よりも長い用紙をセットする場合は、用紙トレイを引き伸ばします。

注記

- A4 または 8.5x14" 以下の用紙をセットする場合は、トレイを縮めた状態（工場出荷時の状態）でご使用ください。トレイが伸びていると、A4 および 8.5x14" 以下の用紙サイズは、正しく検知できません。



補足

- トレイを引き伸ばすと、本体の奥行きよりもトレイの長さが長くなるため、トレイが本機の背面から突き出た状態になります。

用紙種類の設定

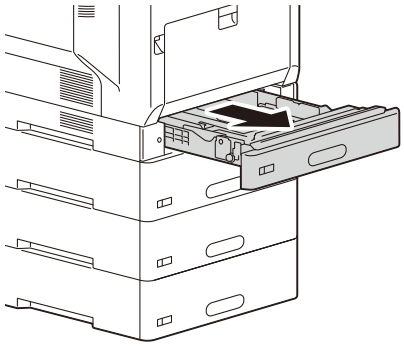
定形サイズ・定形外サイズどちらも、用紙種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定が、セットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。用紙の種類を正しく設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

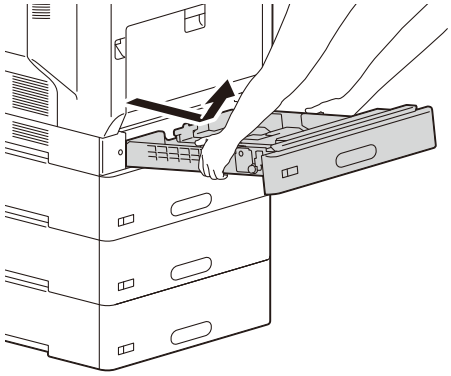
補足

- 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで［用紙の画質処理］の設定が必要なことがあります。設定については「[用紙の画質処理]」(P.83) を参照してください。
- 用紙の種類は、プリント時にプリンタードライバーで変更することもできます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. 用紙トレイを止まるまで手前に引き出します。



2. 用紙トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。

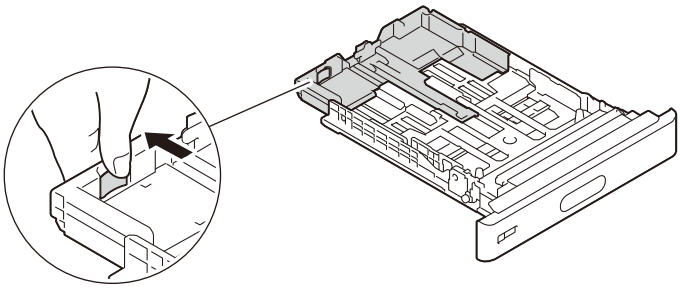


トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 3 に、変更する必要がない場合は手順 4 に進みます。

3. トレイの長さを変更する手順は、トレイ 1 とトレイ 2 ～ 4（オプション）とで異なります。

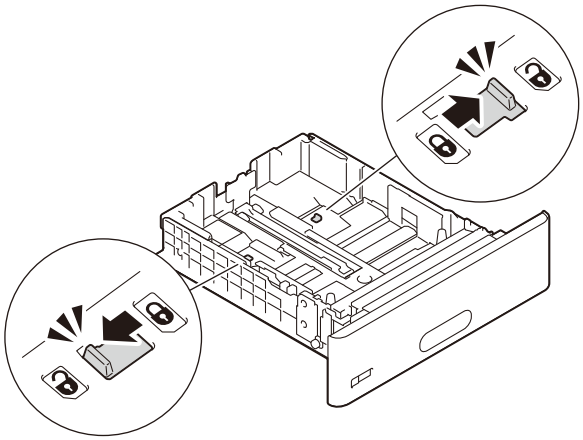
トレイ 1

トレイ奥のクリップを指でつまみ、「カチッ」となるまでトレイを伸ばし（または縮め）ます。



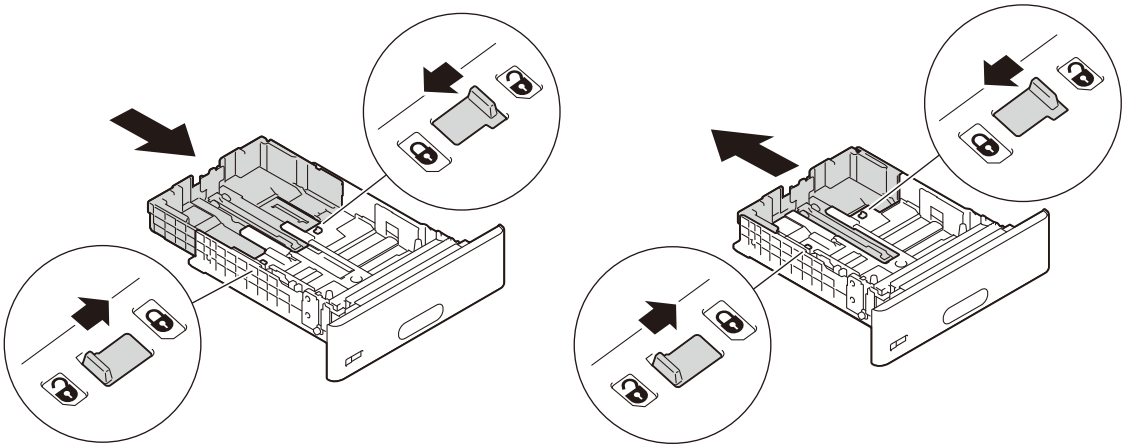
トレイ 2 ～ 4（オプション）

1) トレイの左右の突起物をロック解除マーク側 に動かしてロックを解除します。

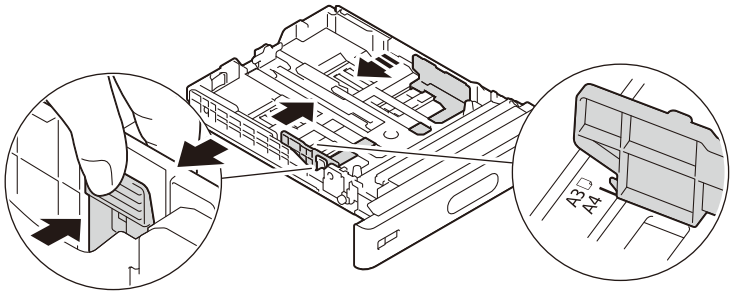


2) 用紙に合わせてトレイの長さを調節します。

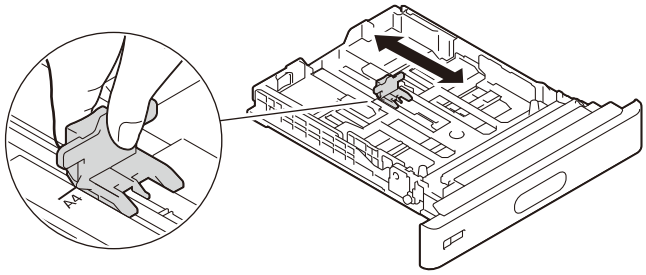
手順 1) で解除したロックがかかるまで引き伸ばす、または縮めます。



4. **左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。**

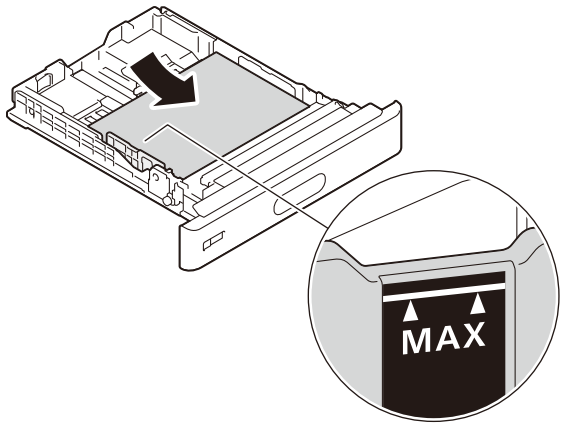


5. **たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。**
用紙サイズのマークの先端と、用紙ガイドのマークの先端を合わせます。



6. **用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で用紙の四辺を整えます。**

7. **プリントする面を上にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。**



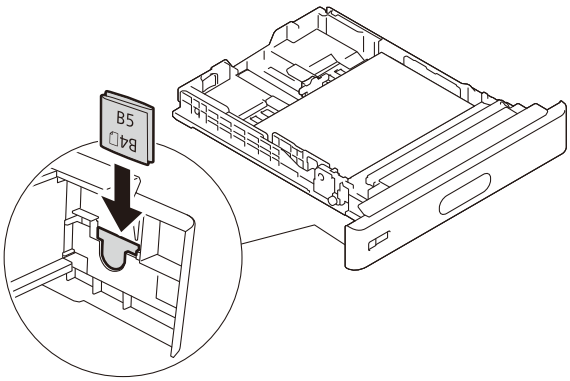
注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

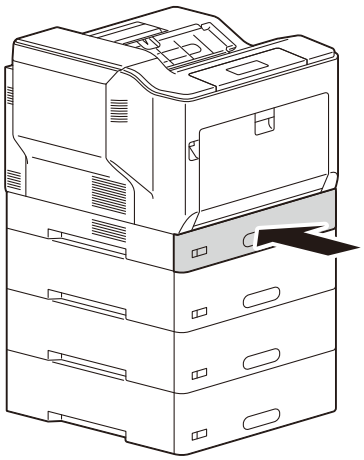
補足

- 用紙ガイドが用紙とずれていると紙詰まりの原因になります。ずれている場合は、用紙ガイドを用紙サイズに合わせ直します。

8. **セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替えます。**

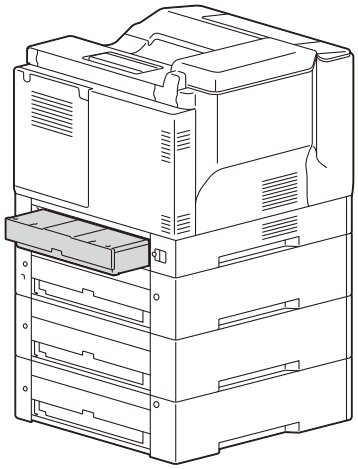


9. **用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



補足

- トレイを伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。



10. **操作パネルでトレイの設定をします。**

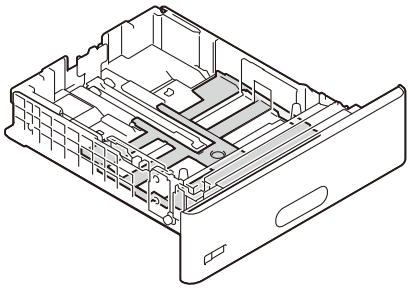
補足

- 「[トレイの用紙種類]」(P.83) を設定し、必要に応じて「[用紙の画質処理]」(P.83) を設定します。
- 定形外サイズを使用するときは、「[トレイの用紙サイズ設定]」(P.83) で［定形外］を設定します。

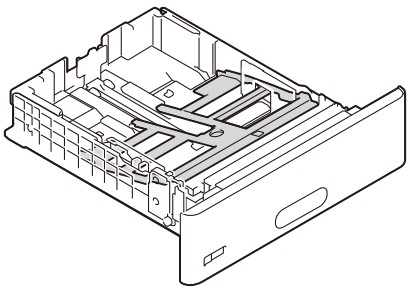
トレイ 2 ～ 4（オプション）を取り外したときに、ボトムプレートが上がってしまう場合

トレイ 2 ～ 4（オプション）を取り外したときに、通常はボトムプレートが下がりますが、上がってしまうことがあります。

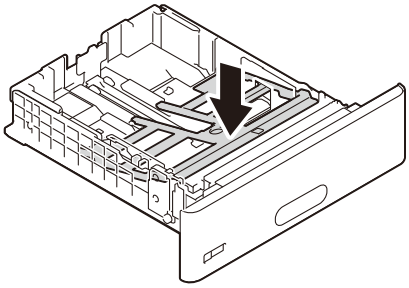
ボトムプレートが下がっている状態



ボトムプレートが上がっている状態



ボトムプレートが上がってしまった場合は、「カチッ」となるまでボトムプレートをゆっくりと押し込みます。



手差しトレイに用紙をセットする

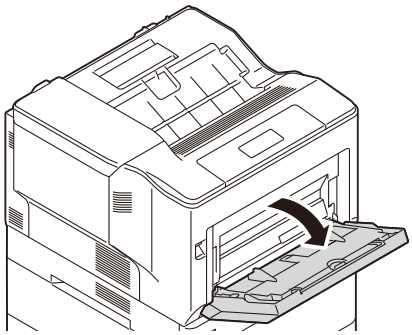
注記

- 手差しトレイからプリントをしているときに、手差しトレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。
- ラベル紙にプリントする場合は、よこ置きでセットしてください。たて置きでセットすると、故障や紙詰まりの原因になります。

補足

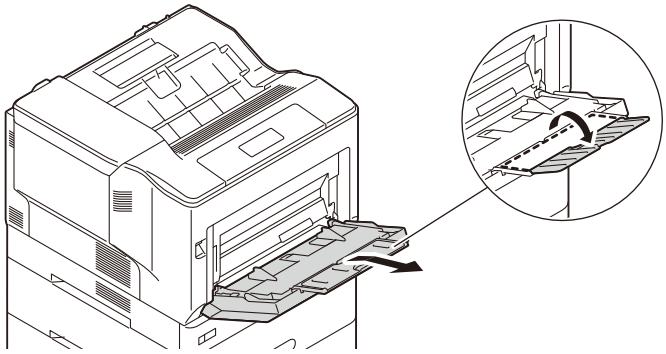
- 用紙が詰まる場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。



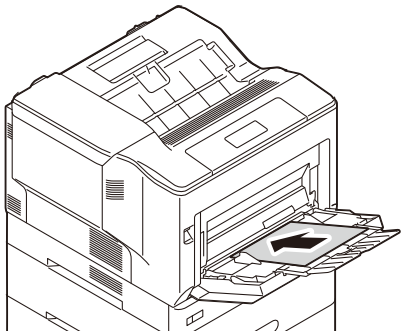
補足

- 必要に応じて、延長トレイを伸ばします。延長トレイは 2 段階に伸ばせます。



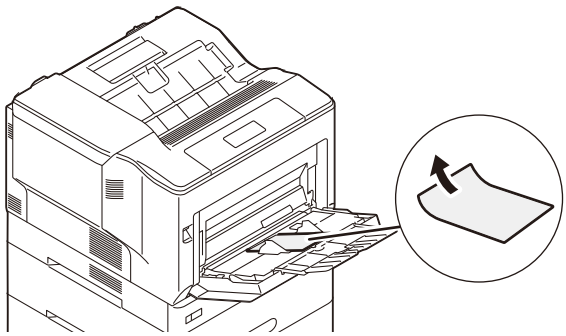
2. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で四辺を整えます。

3. プリントする面を下にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。



注記

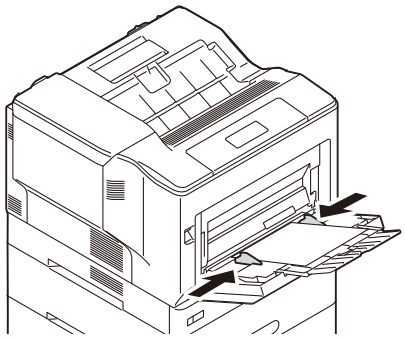
- 厚紙や、はがきなどの厚い紙にプリントする場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を次のようにカールさせてからセットしてください。用紙を曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙詰まりの原因となります。



補足

- はがき、封筒、長尺サイズの用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。詳しくは、「はがきをセットする」(P.38)、「長尺サイズの用紙をセットする」(P.40) を参照してください。

4. **用紙ガイドをつまみながら、用紙サイズに合った位置まで移動します。**



注記

- 用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因になります。
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

5. **用紙種類を設定します。**

参照

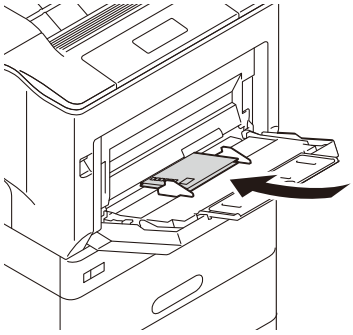
- 詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.83) を参照してください。

プリンタードライバーを使用しないでプリントするときは、操作パネルで用紙種類と用紙サイズを設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.83)、「[トレイの用紙サイズ設定]」(P.83) を参照してください。

はがきをセットする

はがきは手差しトレイにセットします。

はがきをよくさばいてから、プリントする面を下にして、よこ置きにセットします。郵便番号記入欄は、左側にします。

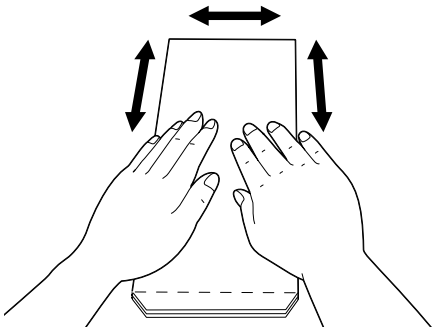


封筒をセットする

封筒は手差しトレイにセットします。

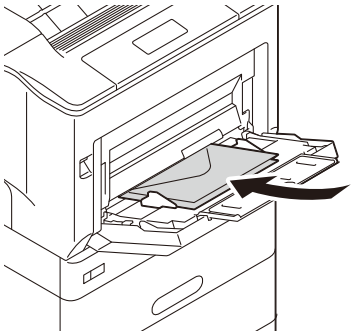
補足

- 封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反る（カールする）ことがあります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。



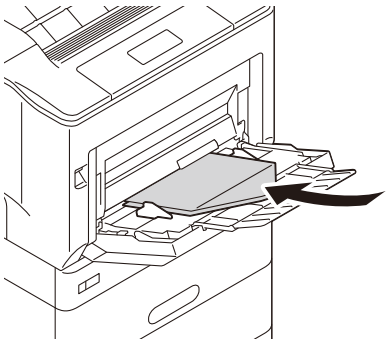
のり / シール付きの封筒の場合

フラップを閉じて、プリントする面を下にして、フラップ部分が奥側になるようにセットします。



のり / シールなしの封筒の場合

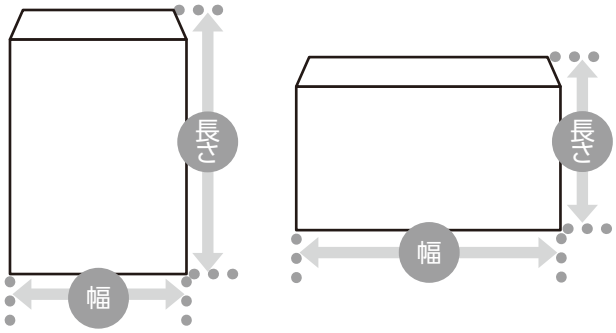
フラップを開いて、プリントする面を下にして、フラップを完全に開き、フラップ部分が手前にくるようにセットします。



補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの［基本］タブ＞［製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転］＞［原稿 180° 回転］を［たてよこ原稿（封筒など）］に設定します。

- フラップ部が用紙の長さに含まれるので、用紙サイズをあらかじめプリンタードライバーで［ユーザー定義用紙］に設定します。［ユーザー定義用紙］を設定するときは、短辺側にフラップがある封筒は［短辺］に幅を、［長辺］に長さを入力します。長辺側にフラップがある封筒は［短辺］に長さを、［長辺］に幅を入力します。



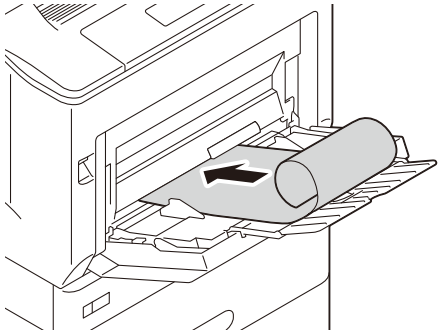
長尺サイズの用紙をセットする

長尺サイズの用紙は手差しトレイにセットします。

補足

- プリンタードライバーで設定できる用紙の定形サイズは、長尺紙 A（297 x 900 mm）、長尺紙 B（297 x 1200 mm）です。

1. 長尺サイズの用紙のプリントする面を下にして、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。



補足

- 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差し込み口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差し込み口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙の先端は、手差しトレイの差し込み口にしっかり挿入してください。用紙の先端が正しく差し込まれないと紙詰まりの原因になります。
- 用紙は、1 枚ずつセットしてください。

2. 用紙ガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。

排出される用紙は長いので、用紙が床に落ちないように、必ず 1 枚ずつ取り除いてください。

5 プリント

5.1 コンピューターからプリントする

ここでは代表的なプリント手順を説明します。

補足

- プリンタードライバーの設定内容は、操作パネルの設定より優先されます。プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows の場合

1. **プリントするファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**

   補足

   - アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。
3. **［プリンターの選択］から本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**
4. **必要に応じて設定を変更し、［OK］をクリックします。**
5. **［印刷］をクリックします。**

Mac の場合

1. **プリントするファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［プリント］を選びます。**

   補足

   - アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。
3. **［プリンタ］から本機を選び、必要に応じて設定を変更します。**
4. **［プリント］をクリックします。**

5.2 プリントを中止する

操作パネルで中止する

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの▽〈プリント中止〉ボタンを押します。プリント中のページをプリントしてプリントは中止されます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. **操作パネルで || 〈オンライン〉ボタンを押します。**
   ディスプレイに［オフライン］と表示されます。
2. **▽〈プリント中止〉ボタンを押します。**
   中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに［オフライン］と表示されます。
3. **|| 〈オンライン〉ボタンを押します。**
   プリント画面に戻ります。

コンピューターで中止する

1. **Windows のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。**
2. **中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。**

補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、操作パネルでプリントを中止してください。
- インターネットサービスの［ジョブ］タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

5.3 定形外サイズの用紙にプリントする

定形外サイズを登録する

定形外サイズの用紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4 (2 ～ 4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルで［トレイの用紙サイズ設定］を設定します。

補足

- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、［長尺紙 A (297x900mm)］、または［長尺紙 B (297x1200mm)］を選ぶこともできます。
- ［原稿サイズ］で長尺紙を選ぶと、一部のアプリケーションで原稿の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを［ユーザー定義用紙］に登録してください。
- プリンタードライバーで設定した定形外サイズと、操作パネルで設定した定形外サイズが一致していない場合は、エラーが発生します。

プリンタードライバーの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［印刷設定］をクリックします。**
3. **［基本］タブをクリックします。**
4. **［原稿サイズ］から［ユーザー定義用紙］を選びます。**
5. **［新しい用紙名で登録］にチェックマークを付け、定形外として登録する用紙名を［用紙名］に入力します。**

補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選びます。

6. **短辺と長辺の長さを指定します。**
7. **［登録］をクリックします。**
8. **［OK］をクリックします。**
9. **［OK］をクリックします。**

本機の設定

定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4（2 ～ 4 はオプション）にセットした場合は、本機の用紙サイズを定形外サイズに設定します。

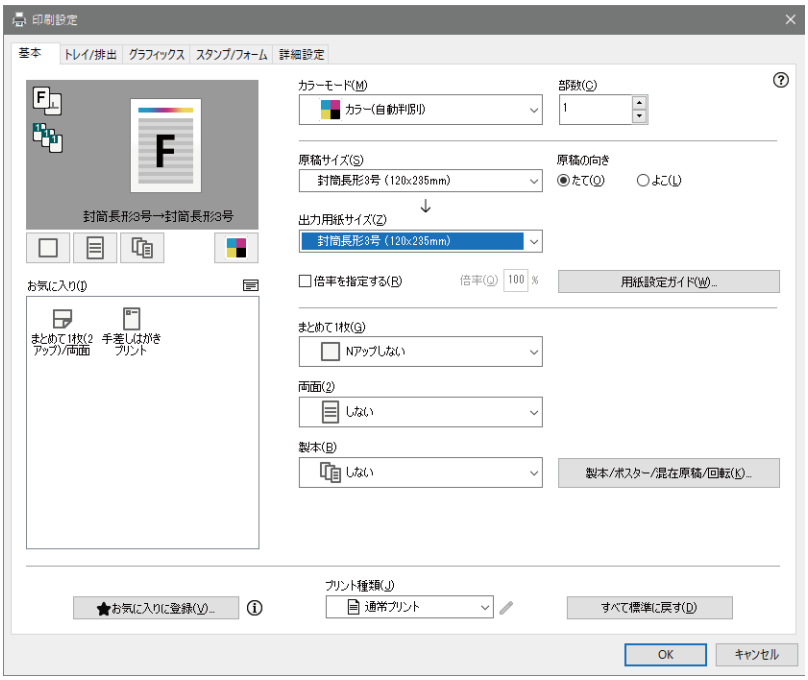
1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **［プリント設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［用紙の置き換え］が表示されます。
6. **［トレイの用紙サイズ設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［トレイ 1］が表示されます。
8. **設定したいトレイが表示されるまで、▼ボタンを押したあと、▶またはOKボタンを押します。**
   現在の設定値が表示されます。
9. **［定形外］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
10. **OKボタンを押します。**
    ［たて (Y) 方向のサイズ］が表示されます。
11. **▶またはOKボタンを押します。**
    現在の設定値が表示されます。
12. **▲▼ボタンで、たて方向のサイズを入力し、OKボタンを押します。**
13. **◀または〈戻る〉ボタンで、［たて (Y) 方向のサイズ］に戻ります。**
14. **▼ボタンを押します。**
    ［よこ (X) 方向のサイズ］が表示されます。
15. **▶またはOKボタンを押します。**
    現在の設定値が表示されます。
16. **▲▼ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、OKボタンを押します。**
17. **ほかのトレイも設定する場合は、◀または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。**
    設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

定形外サイズの用紙にプリントする

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブをクリックします。
4. ［原稿サイズ］から、任意の原稿のサイズを選びます。
5. ［出力用紙サイズ］から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選びます。
6. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。
7. ［用紙トレイ選択］から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選びます。
8. ［用紙トレイ選択］で［トレイ 5(手差し)］を選んだ場合は、［手差し用紙種類］と［手差し用紙の給紙方向］を設定します。
9. ［OK］をクリックします。
10. ［印刷］をクリックします。

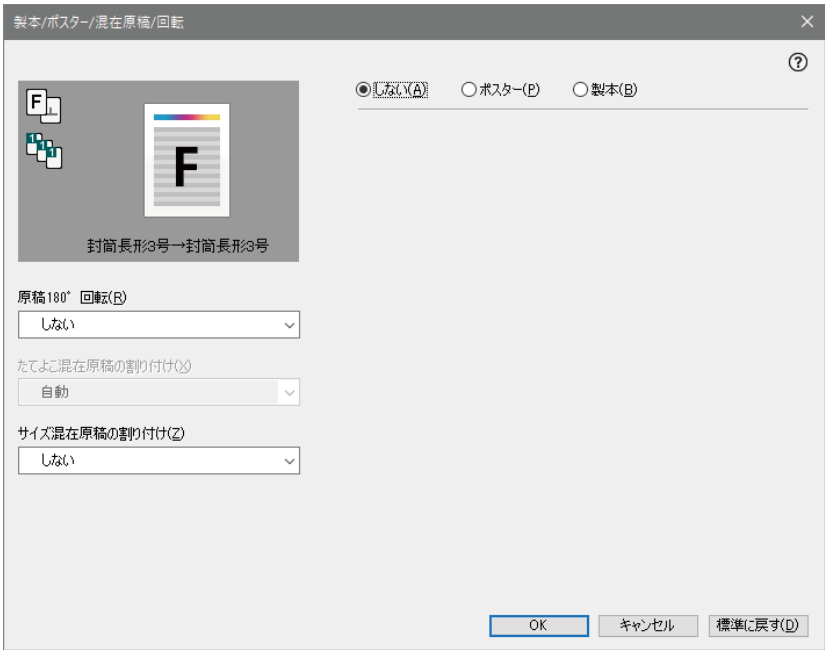
5.4 はがき / 封筒にプリントする

1. ［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブをクリックします。
4. ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］を設定します。



5. 封筒の場合は、必要に応じて［製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転］をクリックします。

6. ［原稿 180° 回転］を設定し、［OK］をクリックします。



補足

- 封筒をユーザー定義用紙として登録した場合は、［たてよこ原稿（封筒など）］を選んでください。

7. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。
8. ［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し）］を選びます。
9. ［手差し用紙種類］から使用する用紙の種類を選びます。

補足

- 一度プリントしたはがきや封筒の反対面にプリントする場合は、［はがきうら面］または［封筒うら面］を選んでください。

10. ［手差し用紙の給紙方向］から任意の用紙送り方向を選びます。
11. ［OK］をクリックします。
12. ［印刷］をクリックします。

5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

サンプルプリントについて

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを保存し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。

サンプルプリントをする

コンピューターでの操作

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

2. **［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**
3. **［基本］タブで、［部数］を 2 部以上に設定します。**
4. **［プリント種類］から［サンプル］を選び、をクリックします。**
5. **［ユーザー ID］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。**
6. **［基本］タブで［OK］をクリックします。**
7. **［印刷］をクリックします。**

操作パネルでの操作

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**
2. **［サンプルプリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ユーザー ID が表示されます。
4. **対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   文書名が表示されます。
6. **対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

   補足

   - プリントをしないで削除する場合は、▼ボタンを押して、［削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。
8. **蓄積したデータをプリントする場合は、▶またはOKボタンを押します。**
   部数を入力する画面が表示されます。
9. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶またはOKボタンを押します。**
   プリントを開始する画面が表示されます。
10. **OKボタンを押します。**
    プリントが開始されます。
11. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを保存しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

保存できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

補足

- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。
- 指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

時刻指定プリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**
2. **［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**
3. **［基本］タブで、［プリント種類］から［時刻指定］を選び、をクリックします。**
4. **［プリント開始時刻］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。**

   補足

   - ［プリント開始時刻］は 24 時間制で設定します。
5. **［基本］タブで［OK］をクリックします。**
6. **［印刷］をクリックします。**

   指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする

時刻指定プリントを中止する場合や、指定した時刻より前にプリントする場合は、操作パネルで操作します。

操作パネルでの操作

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**
2. **［時刻指定プリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**

   文書名が表示されます。
4. **対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**

   すぐにプリントするか、プリントしないで削除するかを選ぶ画面が表示されます。

   補足

   - 蓄積したデータをプリントしないで削除する場合は、▼ボタンを押して、［削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。
6. **すぐにプリントする場合は、▶またはOKボタンを押します。**

   プリントを開始させる画面が表示されます。
7. **OKボタンを押します。**

   プリントが開始されます。
8. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティープリントについて

プリンタードライバーでユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示したデータを本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントします。プリンタードライバーで［セキュリティー］を選んだプリントジョブだけ本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで任意のユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機でユーザー ID を選び、暗証番号を入力してプリントする文書を選びます。

セキュリティープリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**
2. **［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**
3. **［基本］タブで、［プリント種類］から［セキュリティー］を選び、をクリックします。**
4. **［ユーザー ID］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。**

   補足
   - 必要に応じて［暗証番号］を設定します。
5. **［基本］タブで［OK］をクリックします。**
6. **［印刷］をクリックします。**

操作パネルでの操作

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**
   ［セキュリティープリント］が表示されます。
2. **▶またはOKボタンを押します。**
   ユーザー ID が表示されます。
3. **対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 6 に進みます。
5. **暗証番号を入力します。**

   補足
   - 暗証番号は、プリンタードライバーの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［暗証番号］を入力します。

6. **OKボタンを押します。**
   文書名が表示されます。
7. **対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶またはOKボタンを押します。**
   プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

   補足
   - プリント後にデータを本機から自動で削除したい場合は、▼ボタンを押して、［プリント後削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。
   - プリント後も、データを本機に残しておく場合は、▼ボタンを押して、［プリント後削除しない］を表示し、手順 9 に進みます。
9. **▶またはOKボタンを押します。**
   部数を入力する画面が表示されます。
10. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶またはOKボタンを押します。**
    プリントを開始する画面が表示されます。
11. **OKボタンを押します。**
    プリントが開始されます。
12. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント -

プライベートプリントについて

プライベートプリントとは、プリントを指示するときにユーザー ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。

プリンタードライバーで設定したユーザー ID と、本機や外部認証サーバーで登録した認証情報が一致した場合に、コンピューターでプリントを指示したデータは本機に蓄積され、IC カードで認証したあとに、本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーでユーザー ID を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機で IC カードを認証してプリントします。

補足
- プライベートプリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。
- 本機能は、IC カード読み取り装置が取り付けられている場合に表示されます。IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

参照
- 詳しくは、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

プライベートプリントの設定をする

操作パネルでの設定

認証機能を有効にする

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
4. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
6. **［認証 / 集計の設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［認証 / 集計の設定］が表示されます。
8. **［本体認証 / 集計］、［ネット認証 / 集計］、または［外部認証 / 集計］を選びます。**
9. **OKボタンを押します。**
10. **〈仕様設定〉を押し、プリント画面に戻ります。**
    本機が再起動します。

プライベートプリントを有効にする

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
4. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
6. **［認証の設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
8. **［認証プリントの設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
9. **▶またはOKボタンを押します。**
10. **［受信制御］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
11. **▶またはOKボタンを押します。**
12. **［プライベートプリント保存］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
13. **OKボタンを押します。**
14. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**
    本機が再起動します。

コンピューターでの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
3. **［プリンター構成］タブで［認証設定］をクリックします。**
4. **［使用する認証情報］から［User ID と Account ID］を選びます。**
5. **［常に同じ認証情報を使用する］を選び、プライベートプリントをするユーザーの認証情報を設定します。**

   補足
   - ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

6. **［OK］をクリックします。**
7. **［プリンター構成］タブで［OK］をクリックします。**

プライベートプリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**
2. **［プリンターの選択］から、プライベートプリントの設定をした本機を選びます。**
3. **［印刷］をクリックします。**

操作パネルでの操作

1. **操作パネルに［プリントできます］が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。**
   認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント -

認証プリントについて

コンピューターでプリントを指示したデータを蓄積用ユーザー ID ごとに本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID と暗証番号を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機に蓄積用ユーザー ID ごとに蓄積されます。ユーザー ID なしのジョブは［7001.(no userID)］に保存されます。
出力方法	本機で蓄積用ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブ、ContentsBridge やインターネットサービスを使用したプリント、メール受信プリントなど）も本機に蓄積してプリントできます。
- 認証プリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。
- 本機能は、IC カード読み取り装置が取り付けられている場合に使用できます。IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。

認証プリントの設定をする

操作パネルでの設定

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
4. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
6. **［認証の設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
8. **［認証プリントの設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
9. **▶またはOKボタンを押します。**
10. **［受信制御］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
11. **▶またはOKボタンを押します。**
12. **［認証プリントに保存］を選びます。**
13. **OKボタンを押します。**
14. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**
    本機が再起動します。

コンピューターでの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
3. **［プリンター構成］タブで［認証設定］をクリックします。**
4. **［使用する認証情報］から［蓄積用ユーザー ID］を選びます。**
5. **［常に同じ認証情報を使用する］を選び、［蓄積用ユーザー ID］を設定します。**

補足

- 必要に応じて［暗証番号］を設定します。

- [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときに蓄積用ユーザー ID を設定します。

6. **[OK] をクリックします。**

7. **[プリンター構成] タブで [OK] をクリックします。**

認証プリントをする

コンピューターでの操作

1. **[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。**

2. **[プリンターの選択] から、認証プリントの設定をした本機を選びます。**

3. **[印刷] をクリックします。**

操作パネルでの操作

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**

2. **[認証プリント] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**
[IC カードで認証してください] と表示されます。

4. **IC カードをタッチして認証します。**
認証に成功すると、[ユーザー ID を選択] と表示されます。

5. **対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

補足
- 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書をプリントする場合は、[ユーザー ID を選択] 画面で [7001.(no userID)] を選びます。

6. **▶または OK ボタンを押します。**
暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 8 に進みます。

7. **暗証番号を入力します。**

補足
- 暗証番号は、プリンタードライバーで設定した [暗証番号] を入力します。

8. **OK ボタンを押します。**
文書名が表示されます。

9. **対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

10. **▶または OK ボタンを押します。**
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

補足
- プリントをしないで削除する場合は、▼ボタンを押して [削除する] を表示し、▶ボタン、OK ボタンの順に押します。
- プリント後もデータを本機に残しておく場合は、▼ボタンを押して [プリント後削除しない] を表示し、手順 11 に進みます。

11. **▶または OK ボタンを押します。**

12. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶またはOKボタンを押します。**
プリントを開始する画面が表示されます。

13. **OKボタンを押します。**
プリントが開始されます。

14. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.10　オンデマンドプリントを使う

オンデマンドプリントについて

コンピューターからプリントを指示したデータをいったんプリントサーバーに蓄積したあと、空いているプリンターで IC カードで認証してプリントできます。この機能をオンデマンドプリントといいます。

特定のプリンターが混雑しているときや故障時などに活用できます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーでユーザー ID を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書はサーバーにユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機で IC カードを認証してプリントします。

補足

- この機能は、IC カード読み取り装置が取り付けられている場合に使用できます。IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。
- 認証方式には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サービス窓口にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリントまたは削除してください。
- 複製管理またはペーパーセキュリティーを使用したジョブでも、操作パネルの［プリントメニュー］＞［強制印字解除プリント］を選択すると、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。
  ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連付け」(P.102) を参照してください。

オンデマンドプリントの設定をする

インターネットサービスでの設定

プリント指示をしたデータを蓄積するためのサーバーを、インターネットサービスの［アプリ］＞［外部アクセス］＞［接続先設定］で設定します。

参照

- 詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

プリンタードライバーでの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

3. **［プリンター構成］タブで［認証設定］をクリックします。**
4. **［使用する認証情報］から［User ID と Account ID］を選びます。**
5. **［常に同じ認証情報を使用する］を選び、オンデマンドプリントをするユーザーの認証情報を設定します。**

   補足
   - ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

6. **［OK］をクリックします。**
7. **［プリンター構成］タブで［OK］をクリックします。**

オンデマンドプリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**
2. **［プリンターの選択］から、オンデマンドプリントの設定をした本機を選びます。**
3. **［印刷］をクリックします。**

操作パネルでの操作

1. **操作パネルに［プリントできます］が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。**
   認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

5.11 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

メール受信プリントについて

ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

この機能を「メール受信プリント」といいます。

メール受信プリントをするための設定

メール受信プリントを設定するためには、インターネットサービスの POP3/SMTP でサーバーアドレスと本体のメールアドレスを設定する必要があります。

参照
- 設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

メールを受信してプリントする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. **お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。**

補足

- メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。
- 添付文書の拡張子は、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- 31 文書まで添付できます。
  なお、本機でプリントできない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- Web メールの場合、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。

2. **宛先に本機のメールアドレスを入力します。**
3. **メールを送信します。**

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up*1*2 （まとめて一枚）	1 アップ*3	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター（8.5×11"）	letter
	リーガル	legal

*1 :添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの［PDF］>［プリント処理モード］を［PS］に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。
*2 :メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。
*3 :1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. **お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。**
2. **メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。**
3. **ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ（,）で区切り、「@@ ジョブ属性（, ジョブ属性）（, ジョブ属性）@@」と入力します。**

   指定例

   メールの件名に次のように入力します。

   例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

   @@mono,dup,2up@@ 参考資料

   補足

   - ジョブ属性を指定するときに、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
   - ジョブ属性、カンマ（,）、およびアットマーク（@）は、半角を使用してください。

   参照

   - メール本文のプリントは、インターネットサービスの［受信メールシートのプリント］でも設定できます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
4. **メールの件名を確認し、送信します。**

   補足

   - ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定でプリントされます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定でプリントされます。
     - TIFF または JPEG 形式の添付文書：インターネットサービスの［エミュレーション設定］にある、［TIFF/JPEG］の［使用するメモリー設定］で設定されている論理プリンターの設定値。
     - PDF 形式の添付文書：操作パネルの［PDF］の設定値。操作パネルの［PDF］の［プリント処理モード］を［PS］に設定していて、インターネットサービスの［エミュレーション設定］にある［PostScript3］のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの［PDF］の設定値に優先して適用されます。
     - XPS（XML Paper Specification）ファイルの添付文書：XPS（XML Paper Specification）に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの［XPS］の設定によって動作は異なります）
     - XDW または XBD 形式の添付文書：操作パネルの［XDW(DocuWorks)］で設定されている設定値。

メールを手動で受信してプリントする

メールを受信すると自動的にプリントされますが、操作パネルから手動でメールを受信し、プリントすることもできます。この機能は、POP メール受信時のみ使用できます。

補足

- この機能は、インターネットサービスの［ネットワーク］＞［プロトコル設定］＞［POP3］が有効になっている場合に使用できます。

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**
2. **［メール受信プリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**

   受信を開始させる画面が表示されます。

4. **OKボタンを押します。**

メールの受信が始まります。受信後、文書がプリントされます。プリントが終わると、自動的にプリント画面に戻ります。

6 モバイル機器からのプリント

6.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する

スマートフォン / タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、Web ページやメールなどをプリントできます。

本機能は、無線 LAN アダプタ（オプション）が本機に取り付けられている場合に利用できます。

次のどちらかの方法で、本機をモバイル機器と接続します。

- Wi-Fi 接続
  本機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
  無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. **本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。**

参照

- 接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.18) を参照してください。

モバイル機器の設定

補足

- 操作方法はモバイル機器の機種によって異なります。詳しくは、お使いのモバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. **モバイル機器の Wi-Fi 機能を有効にします。**
2. **本機が接続しているネットワーク（SSID）を選びます。**
3. **画面の指示に従って、接続を完了します。**

補足

- 接続に必要な暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、はじめに本機の操作パネルで Wi-Fi Direct を設定します。次に本機の SSID をモバイル機器上の画面で選び、該当するパスフレーズを入力すると、Wi-Fi Direct 経由で本機に接続できます。

本機の設定をする

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi Direct］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ポートの起動］が表示されます。
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［停止］が表示されます。
8. **［起動］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
9. **OKボタンを押します。**
10. **これで、設定は終了です。**
    〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
    設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。
11. **本機の再起動後、手順 1 ～ 6 の操作をします。**
    ［ポートの起動］が表示されます。
12. **［グループロール］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
13. **▶またはOKボタンを押します。**
    ［グループオーナー］が表示されます。
14. **OKボタンを押します。**
15. **◀または↩〈戻る〉ボタンで［グループロール］に戻ります。**
16. **［SSID］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
17. **▶またはOKボタンを押します。**
18. **無線ネットワーク名を入力し、OKボタンを押します。**
19. **↩〈戻る〉ボタンで［SSID］に戻ります。**
20. **［パスコード入力］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
21. **▶またはOKボタンを押します。**

[ASCII で入力] が表示されます。

22. **▶または OK ボタンを押します。**

23. **パスコードを入力し、OK ボタンを押します。**

24. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

本機とモバイル機器を接続する

参照

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. **モバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。**

2. **本機の SSID を選びます。**

3. **パスフレーズを入力します。**

Wi-Fi Direct を停止する

本機で Wi-Fi Direct を停止すると、モバイル機器との接続が切断されます。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **[機械管理者メニュー] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. **▶または OK ボタンを押します。**
[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. **[Wi-Fi Direct] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

6. **▶または OK ボタンを押します。**
[ポートの起動] が表示されます。

7. **▶または OK ボタンを押します。**
[起動] が表示されます。

8. **[停止] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

9. **OK ボタンを押します。**

10. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**
本機が再起動します。

補足

- 接続中のモバイル機器からも、そのモバイル機器と本機との Wi-Fi Direct の接続を切断できます。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

6.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン / タブレット用のアプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントできます。NFC 機能を搭載する機器をお使いの場合は、本機の NFC タッチエリアに機器をかざすだけでプリントを開始できます。App Store や Google Play からダウンロードできます。

6.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や macOS のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。

補足

- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、インターネットサービスの［認証 / 集計 / 権限］＞［権限設定］＞［アクセス制限設定］＞［ユーザー指定なしプリント］を［制限しない］に設定する必要があります。

参照

- AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

AirPrint の設定を有効にする

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。
   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **画面上部の［ネットワーク］をクリックします。**
5. **［モバイルプリント設定］の［AirPrint ™］をクリックします。**
6. **［有効］にチェックマークを付けます。**

   補足

   - USB で接続しているときは、［AirPrint ™］の［USB 接続］にもチェックマークを付けます。

7. **［保存］をクリックします。**

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を使った手順を例に説明します。

1. **プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。**
2. **のアイコンをタップします。**
3. **［プリント］をタップします。**
4. **本機を選び、プリント設定をします。**
5. **［プリント］をタップします。**

7 本体設定を変更する

7.1 仕様設定について

ここでは、操作パネル上の〈仕様設定〉ボタンを押すと表示される項目について説明します。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストをプリントします。

補足

- レポート / リストは、[プリント設定] > [基本の用紙サイズ] に設定されている用紙サイズでプリントされます。設定したサイズが用紙トレイにセットされていない場合は、一番近い用紙サイズでプリントされます。

参照

- レポート / リストをプリントする方法については、「レポート / リストをプリントする」(P.121) を参照してください。

[機能設定リスト]

ネットワーク設定や搭載オプションなど、本機の設定情報や構成情報の一覧をプリントします。

[ジョブ履歴レポート]

本機で実行されたプリントのジョブ履歴をプリントします。リストには最新の 50 件のジョブが記載されます。

[エラー履歴レポート]

紙詰まりや重大なエラーなどの詳細なリストをプリントします。

[集計レポート] (プリンター集計レポート)

コンピューター別 (ジョブオーナー別) に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。

集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

補足

- [集計レポート] (プリンター集計レポート) は、[認証 / 集計の設定] が [認証しない] に設定されている場合にプリントされます。

[集計レポート] (プリンター集計管理レポート)

認証 / 集計管理機能を使用している場合は、登録ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

補足

- [集計レポート] (プリンター集計管理レポート) は、[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計]、[外部認証 / 集計] に設定されている場合にプリントされます。

参照

- 集計機能については、「ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P.100) を参照してください。

[フォントリスト]

本機で使用できるフォントがプリントされます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[PS フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ユーザー定義リスト]

ART IV、ESC/P および PC-PR201H で登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

[プリント言語]

[ART EX フォームリスト]

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書がプリントされます。

[PS 登録リスト]

登録されている PostScript 論理プリンターの設定がプリントされます。

補足

- 論理プリンターの設定は、インターネットサービスで行います。各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[201H 設定リスト]

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[201H 登録リスト]

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[ESC/P 設定リスト]

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[ESC/P 登録リスト]

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 設定リスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 パレットリスト]

カラーパレットの設定値がプリントされます。

[TIFF/JPEG 設定リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 登録リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターがプリントされます。

[PDF 設定リスト]

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[PCL 設定リスト]

PCL の各設定がプリントされます。

[PCL マクロリスト]

PCL 用に登録したフォームがプリントされます。

[DocuWorks 設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[蓄積文書リスト]

セキュリティープリント / サンプルプリント / 時刻指定プリントで、本機に蓄積された文書の一覧がプリントされます。

参照

- セキュリティープリントについては、「機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P.48) を参照してください。
- サンプルプリントについては、「出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P.45) を参照してください。
- 時刻指定プリントについては、「指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P.46) を参照してください。

[ドメイン制限リスト]

送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況がプリントされます。

補足

- 送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

[機能別カウンターレポート]

機能別、用紙サイズ別の出力枚数や、レディー時間、低電力モード時間、スリープモード時間などの累計がプリントされます。

[隠し印刷サンプル]

複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルがプリントされます。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。セキュリティ拡張キット（オプション）を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

[ペーパーセキュリティーサンプル]

複製管理機能のペーパーセキュリティーで作成するデータのサンプルがプリントされます。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。セキュリティ拡張キット（オプション）を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

[バーコードサンプル]

GS1-128 バーコードのサンプルがプリントされます。

[ネットワークプロトコルレポート]

ネットワークプロトコルの設定がプリントされます。

[メーター確認]

これまでにプリントした総ページ数を確認できます。

白紙ページがプリントされた場合、メーターはカウントされます。

補足

- プリンタードライバーで白紙節約を設定すると、描画のない白紙ページはプリントされません。
  ただし、次の場合は、白紙ページがプリントされることがあります。
  - ページ内に改行だけが存在する場合
  - ページ内にスペース（空白）だけが存在する場合
  - ページ内に改行およびスペースだけが存在する場合
  - その他、アプリケーションから白い背景描画命令などが渡された場合

[現在のカウント]

補足

- 両面プリントで出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。
- アプリケーション側で ICC プロファイルなどを使って色変換したプリントデータを、[カラー (自動)] でプリントした場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーでプリントされ、メーター 3（カラープリント）でカウントされます。

[メーター 1]

白黒プリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次のときに、白黒プリントと認識されます。
  - カラーモードで「白黒」や「グレースケール」を選択したとき
  - カラーモードを指定しなかったときは、データが黒 1 色と判断されたとき

[メーター 2]

通常は使用されません。

[メーター 3]

カラープリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次のときに、カラープリントと認識されます。

- カラーモードで「フルカラー」を選択したとき
- カラーモードを指定しなかったときは、データに黒以外の色が使用されていると判断されたとき

[機械管理者メニュー]

[ネットワーク / ポート設定]

[TCP/IP 設定]

補足

- [Ethernet1] と [Ethernet2] は、セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi に関する項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[IP 動作モード]**

IP 動作モードを設定します。

補足

- [IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Direct を使用できません。

■ **[Ethernet]、[Ethernet1]、[Ethernet2]、[Wi-Fi]**

- **[IP アドレス取得方法]**
  IP アドレスを取得する方法を設定します。
- **[IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]**
  自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。

■ **[Wi-Fi Direct]**

- **[IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]**
  自動で取得されたアドレスを確認する場合に使用します。

■ **[Ping 接続確認 -IPv4]**

設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。

[Wi-Fi 有効 / 無効]

Wi-Fi 通信を設定します。

補足

- [有効] / [無効] の設定後、再起動する必要があります。

[Wi-Fi 設定]

補足

- この項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi 通信を [有効] に設定後、再起動する必要があります。

■ **[Wi-Fi 接続状態]**

Wi-Fi 通信の状態を表示します。

■ **[リンクチャネル]**

Wi-Fi 通信で使用するチャネルが表示されます。

■ **[帯域]**

周波数帯域を設定します。

■ **[アクセスポイント検索]**

無線 LAN アクセスポイントを検索し、電波強度の強い順に SSID を表示します。最大 5 台まで表示します。

■ **[SSID 直接入力]**

無線 LAN アクセスポイントの識別名称を入力します。

■ **[WPS セットアップ]**

WPS を使用して無線 LAN の設定をします。

■ **[設定解除]**

- **[接続一時解除]**

  無線 LAN アクセスポイントへの接続を一時的に解除します。

- **[ネットワーク設定を消去]**

  設定した接続情報を消去します。

[Wi-Fi Direct]

補足

- この項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi 通信を［有効］に設定後、再起動する必要があります。

■ **[ポートの起動]**

電源を入れたときに、Wi-Fi Direct ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。

補足

- 次のどれかの設定になっている場合は、［ポートの起動］を［起動］に設定できません。
  - ［帯域］が［5GHz］
  - ［IP 動作モード］が［IPv6］

■ **[接続数]**

現在接続されている Wi-Fi モバイル端末の数を表示します。

■ **[グループロール]**

本機のグループロールを設定します。

- ［自動］

  本機のグループロールを自動的に設定します。

- ［グループオーナー］

  本機を Wi-Fi Direct ネットワークのグループオーナーに設定します。

  グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できます。

補足

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、［グループオーナー］に設定する必要があります。

■ **[デバイス名]**

Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

■ **[SSID]**

Wi-Fi Direct ネットワークで識別するネットワークの名称を「DIRECT-**」に続く部分について入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

■ **[パスコード入力]**

パスフレーズを入力します。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

■ **[接続メニュー]**

モバイル機器からの接続要求があった場合に設定します。

PBC 方式で接続要求があった場合は、接続許可の可否を設定します。PIN コード方式で接続要求があった場合は、PIN コードを確認してから[OK]ボタンを押して接続します。

[LPD]

■ **[ポートの起動]**

LPD を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **[プリントモード指定]**

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- ［PS］は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[PJL]**

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ **[コネクションタイムアウト]**

プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ **[TBCP フィルター]**

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[ポート番号]**

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ **[セッション数]**

本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

■ **[プリント順序]**

プリントデータの順序について設定します。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[IPP]

■ **[ポートの起動]**

IPP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **［プリントモード指定］**

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- ［PS］は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **［PJL］**

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ **［アクセス権制御］**

プリントジョブの中止や削除、本機を一時停止状態にするときや一時停止状態の解除をするときに、アクセス権で制御する場合は［有効］に設定します。

■ **［追加ポート番号］**

追加ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices）ポートは、同じポート番号を共有できます。

■ **［タイムアウト］**

プリントデータの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ **［TBCP フィルター］**

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［Bonjour］

■ **［ポートの起動］**

Bonjour を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。
- Multicast DNS 機能を使う場合は［起動］にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートも起動します。

［USB］

■ **［ポートの起動］**

USB を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **［プリントモード指定］**

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- [PS] は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PJL]

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ [自動排出時間]

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的にプリントして排出する時間を設定します。

また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ [Adobe 通信プロトコル]

PostScript の通信プロトコルを設定します。

- [標準]
  通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
- [バイナリー]
  データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによってはプリント処理が［標準］に比べて速くなることがあります。
- [TBCP]
  通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。
- [RAW]
  通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しくプリントできない場合に選びます。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- ここでの設定は、PostScript でプリントされる場合にだけ有効です。
- 通常は、初期値の［標準］で使用してください。

■ [PS 印刷待ちタイムアウト]

PostScript のプリント待ち時間を設定します。

- [無効]
  [USB] の［自動排出時間］を使用します。
- [有効]
  PostScript プリンタードライバーの［印刷待ちタイムアウト］を使用します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [ポートの固定]

USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするか、お使いのプリンター固有のシリアルナンバーにするかを設定します。

- [無効]
  USB デバイスに通知するシリアルナンバーをお使いのプリンター固有の値にするときに設定します。
- [有効]
  USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするときに設定します。

[Port9100]

■ [ポートの起動]

Port9100 を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード指定]

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- ［PS］は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PJL]

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ [コネクションタイムアウト]

プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[UPnP]

■ [ポートの起動]

UPnP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

[WSD]

■ [ポートの起動]

WSD（Web Services on Devices）プリントを使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **[ポート番号]**

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]

■ **[ポートの起動]**

SOAP ポートを使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **[ポート番号]**

ポート番号を設定します。

[ThinPrint]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ThinPrint 機能を使用する場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

■ **[ポートの起動]**

ThinPrint を使用するときは［起動］に設定します。

■ **[ポート番号]**

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ **[SSL/TLS 通信]**

SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。

補足

- SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

補足

- SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

■ **[ポートの起動]**

SNMP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

[DNS サーバー]

補足

- ［DNS サーバー設定 -1］と［DNS サーバー設定 -2］は、セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

- [DNS サーバー設定 Wi-Fi] は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[DNS サーバー設定]、[DNS サーバー設定 -1]、[DNS サーバー設定 -2]、[DNS サーバー設定 Wi-Fi]**

- **[DHCP からアドレス取得]**

  DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

  補足

  - [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
  - IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。

- **[DNS サーバー IP アドレス]**

  この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。

[インターネットサービス]

■ **[ポートの起動]**

インターネットサービスを使用するときは [起動] に設定します。[起動] に設定すると、インターネットサービスを利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ **[ポート番号]**

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

[EP プロキシサーバー設定]

■ **[サーバー指定方法]**

EP プロキシサーバーの指定方法を設定します。

■ **[HTTPS サーバー名]、[HTTP サーバー名]**

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのサーバー名を入力します。

■ **[HTTPS ポート番号]、[HTTP ポート番号]**

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのポート番号を設定します。

■ **[HTTPS 認証]、[HTTP 認証]**

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーの認証機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

■ **[HTTPS ログイン名]、[HTTP ログイン名]**

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ **[HTTPS パスワード]、[HTTP パスワード]**

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

■ **[プロキシ設定ファイル URL]**

[サーバー指定方法] を [設定ファイル URL を設定] に設定した場合に、URL を指定します。

[Ethernet]

補足

- [Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [Ethernet 設定]、[Ethernet 設定 -1]、[Ethernet 設定 -2]

Ethernet インターフェイスの通信速度やコネクターの種類を設定します。

[受付制限設定]

補足

- [受付制限 (IPv4)-1] と [受付制限 (IPv4)-2] は、セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。[Wi-Fi(IPv4)] は無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi Direct 経由の通信には適用されません。

■ [受付制限 (IPv4)]、[受付制限 (IPv4)-1]、[受付制限 (IPv4)-2]、[Wi-Fi(IPv4)]

ネットワークまたはデバイスから受信する情報を制限するかどうかを設定します。

- **[受付 IP アドレス制限]**

  IP アドレスを使って受付制限をするかどうかを設定します。

- **[受付 IP アドレス設定]**

  プリントを受け付ける IP アドレスを制限する場合に、受け付ける IP アドレスを登録します。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。

  たとえば、[IP アドレス]：192.0.2.1、[フィルターアドレス]：255.255.255.0 と設定した場合、プリントを受け付ける IP アドレスは、192.0.2.xxx です。xxx は 1 ～ 254 までの数値です。

[SNTP 設定]

■ [NTP サーバーとの同期]

NTP サーバーと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。

■ [接続間隔]

NTP サーバーに接続する間隔を設定します。

■ [NTP サーバー IP アドレス]

NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

[HTTP-SSL/TLS 通信]

補足

- SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- HTTP の通信の暗号化および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.96) を参照してください。

■ [HTTPS/HTTP の設定]

HTTPS/HTTP、HTTPS のみを使用するかどうかを設定します。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

コンピューターからネットワーク上の本機にデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。

参照

- IPsec の設定方法については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P.97) を参照してください。

[IEEE 802.1x]

補足

- [IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[IEEE 802.1x 設定]、[IEEE 802.1x 設定 -1]、[IEEE 802.1x 設定 -2]**

- **[802.1x 認証の使用]、[802.1x 認証使用 -1]、[802.1x 認証使用 -2]**

  IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。

- **[認証方式]、[認証方式 -1]、[認証方式 -2]**

  IEEE 802.1x の認証方式を設定します。

  補足

  - [EAP-TLS] は、クライアント証明書が必要です。

- **[サーバー証明書の検証]、[サーバー証明書検証 -1]、[サーバー証明書検証 -2]**

  サーバー証明書の検証をするかどうかを設定します。

[プライマリネット選択]

優先して接続するネットワーク接続の種類を設定します。

補足

- 無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[システム設定]

[音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音の設定をします。

[操作パネル設定]

■ **[操作パネル制限]**

暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。

■ **[暗証番号設定]**

操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。

■ **[認証エラーアクセス拒否]**

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。

■ **[認証回数]**

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を設定します。

補足

- [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを設定します。

[暖機運転モード]

本機内の結露を防止または軽減する［暖機運転モード］に移行するかどうかを設定します。

注記

- ［暖機運転モード］を［有効］に設定したときは、定着ユニットの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［暖機運転モード］終了後は、自動的に［スリープモード］に移行します。

[エコ設定モード]

エコ設定モードを有効にするかどうかを設定します。エコ設定モードを有効にすると、消費電力を節約できます。

補足

- 有効にすると操作パネルのバックライトが消灯します。

[節電移行時間短縮]

他の設定に関わらず、30 秒後に、スリープモードに移行するかどうかを設定します。スリープに移行できない場合は、低電力モードに移行します。

参照

- 低電力モードとスリープモードの設定については、「節電機能を設定する」(P.28) を参照してください。

[低電力移行時間]

低電力モードに移行するまでの時間を設定します。

参照

- 低電力移行時間については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。

注記

- 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。低電力モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［節電移行時間短縮］の設定が［有効］になっている場合は、［低電力移行時間］を設定できません。

[スリープモード移行時間]

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

参照

- スリープモード移行時間については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。

注記

- 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。スリープモードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［節電移行時間短縮］の設定が［有効］になっている場合は、［スリープモード移行時間］を設定できません。

[電源自動オフ設定]

設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。

補足

- 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合は、電源は自動的に切れません。

[自動ジョブ履歴]

50 件のジョブが終了するごとに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[ジョブの表示設定]

■ **[実行中 / 待ちジョブ]**

プリントを実行中またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。

■ **[完了ジョブ]**

完了ジョブの情報表示について設定します。

- **[ジョブの表示]**

  完了したジョブの表示方法について設定します。

- **[認証中の表示対象]**

  完了したジョブについて、すべてのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。

- **[表示情報の制限]**

  完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。

[レポート両面プリント]

レポート / リストをプリントするときに、片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

[プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション（HP-GL/2、ESC/P、PCL）やPostScript でプリントする場合に有効です。

■ **[標準]**

用紙の上下左右の端から余白（4.1 mm）を除いた領域にプリントします。

■ **[拡張]**

印字領域を広げてプリントします。

A3 以下	用紙の前後上下の端から画像欠け幅を除いた領域
長尺用紙	最大：293.0 mm × 1194.0 mm

参照

- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

[バナーシート設定]

■ **[バナーシート出力]**

バナーシートを出力するかどうかを設定します。

■ **[バナーシートトレイ]**

バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。

■ **[ドライバーの設定]**

プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。

[セキュリティープリント操作]

セキュリティープリントのプリントを、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。

[選択文書のプリント順]

セキュリティープリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使ってプリントする場合に、選択文書のプリント順を設定します。

[システム時計]

日付や時刻、日付と時刻の表示切り替え、タイムゾーン、サマータイムを設定します。

[カラーモード自動の動作]

カラープリントの自動判別機能について設定します。

■ **[標準 (スピード優先)]**

1 ページ目で、カラー、白黒を判定します。1 ページ目がカラーのときはすべてのページをカラーでプリントします。

また 1 ページ目が白黒のときは、途中でカラーページが出てきたところで、カラーでのプリントに切り替えます。その後のページは白黒ページでも、カラーでプリントします。

プリントスピードを優先させます。

■ **[ページ切り替え]**

ページごとに、カラー、白黒を判定して、プリントします。

プリントスピードよりも、消耗品の使用を低減させることを優先させます。

[紙づまり時の処理]

プリント中に紙詰まりが発生した場合に、紙詰まりの処置を終了したあと、正常に排出された次のページから自動的にプリントを再開するか、プリントを中止して、そのプリントジョブを削除するかを設定します。

[ドラム寿命動作]

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。プリントを停止しない場合、しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。

[画質調整時間延長]

電源投入時の画質調整時間を延長するかどうかを設定します。

[ミリ / インチ切り替え]

操作パネルに表示される数値の単位を設定します。

[データ暗号化]

注記

- [データ暗号化] の設定を変更した場合、ストレージが初期化されます。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ストレージにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。

■ **[暗号化処理]**

システム内部（ストレージ）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。

[プリントジョブの追越]

本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するか、禁止するかを設定します。

補足

- この項目は、[異常終了プリント処理] が [自動的に再開] に設定されている場合に表示されます。
- セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。
- [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

プリント中にエラーが発生した場合に、エラージョブをキャンセルして後続ジョブのプリントを自動的に継続するか、エラーを確認する画面を表示してユーザー操作で後続ジョブのプリントを再開するかを設定します。

補足

- この項目は、[プリントジョブの追越] が [許可] の場合は設定できません。

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）のダウンロードを許可するかどうかを設定します。

[認証 / 集計の設定]

認証と集計の方式を設定します。

■ [認証しない]

認証や集計機能を利用しません。

■ [本体認証 / 集計]

本機に登録されたユーザー情報を、認証と集計に使用します。

補足

- [本体認証 / 集計] から、[認証しない]、または [外部認証 / 集計] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。

■ [ネット認証 / 集計]

外部サービスで管理されているユーザー情報を本機に登録して認証と集計に使用します。

■ [外部認証 / 集計]

外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を認証に使用します。

補足

- この項目を使用する場合は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション）が必要です。
- 外部認証に使用したユーザー情報は、本機に保存されます。外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させない場合は、[外部認証情報保存] を [しない] に設定してください。[外部認証情報保存] については、「[認証の設定]」(P.80) を参照してください。
- インターネットサービスで、[認証システム] が [Authentication Agent] の場合、認証サーバーで集計管理ができます。

[認証の設定]

■ [認証情報設定]

- **[認証失敗の記録]**

  不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10 分）以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。

- **[外部認証情報保存]**

  外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

  補足

  - この項目は、[認証 / 集計の設定] で [外部認証 / 集計] が設定されている場合に表示されます。この項目を使用する場合は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション）が必要です。

- **[外部認証情報削除]**

  本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

補足

- この項目は、[認証 / 集計の設定] で [外部認証 / 集計] が設定されている場合に表示されます。この項目を使用する場合は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション）が必要です。

- **[IC カードの使用]**

  IC カードを使用するかどうかを設定します。

- **[非接触型 IC カード]**

  非接触型 IC カードを使った認証について設定します。

■ **[認証プリントの設定]**

認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。

- **[受信時の PJL 命令]**

  PJL 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない] を選んだときまたは PJL 命令がないときは、[受信制御] の設定を使用します。

- **[出力時の PJL 命令]**

  PJL 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。

- **[受信制御]**

  受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

  補足

  - この項目は、IC カード読み取り装置が取り付けられている場合に表示されます。IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。
  - [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

  - [プリントの認証に従う]
  - [プライベートプリント保存]

    認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。
  - [認証プリントに保存]

    認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。

  注記

  - [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P.81) を参照してください。

- **[ジョブ認証時の処理]**

  プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。

  補足

  - この項目は、IC カード読み取り装置が取り付けられている場合に表示されます。IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

[保存文書設定]

■ **[文書の保存期間]**

蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。

■ **[保存期間 (日数)]**

保存期間（日数）を設定します。

■ **[経過後の削除時刻]**

文書を削除する時刻を設定します。

補足

- ［システム設定］＞［システム時計］＞［時刻表示切り替え］の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。

■ **［保存期間 (時間)］**

保存期間（時間）を設定します。

■ **［電源切 / 入時に削除］**

電源を切って再度入れたとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。

［ソフトウェア オプション］

機械に取り付けたソフトウェアオプションを有効にします。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）を有効にするときに表示されます。
- セキュリティ拡張キット（オプション）の機能を利用するには、ストレージ（オプション）が必要です。
- 一度、［有効化］に設定すると、取り付けているソフトウェアオプションは、ほかの機械で使用できません。
- 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

［ソフトウェア手動更新］

インターネットに接続され通信が行える場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。

［ソフトウェア日時更新］

インターネットを使った EP システムを利用している場合、設定した日時に自動的に、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。

補足

- 本機能を利用するには、別途保守契約が必要です。

［WEP 設定］

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。
- 本機能を利用するには、別途保守契約が必要です。

■ **［EP 通信確認］**

EP システムを利用したときの通信状態を確認できます。

■ **［EP 設置］**

- **［BB 設置］**

EP-BB に関する設定をします。

［プリント設定］

［プリント設定］では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

補足

- 自動トレイ選択とは、プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合、原稿のサイズや用紙種類によって自動的にトレイが選択されることです。

[用紙の置き換え]

■ [給紙モード]

自動トレイ選択でプリントしたとき、指定した用紙サイズの用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかのサイズの用紙に置き換えてプリントするかどうかを設定します。

補足

- プリンタードライバー側から指定があった場合は、プリンタードライバー側の指定が優先されます。

■ [ページレイアウト]

用紙を置き換える場合のレイアウトを指定します。

[用紙種類エラーの処理]

プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

[トレイの用紙種類]

用紙種類を設定します。

[トレイの用紙色]

用紙の色を設定します。

[用紙の優先順位]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合の、用紙種類の優先順位を設定します。優先順位が高い用紙がセットされているトレイが選択されます。

［設定しない］を設定した種類の用紙がセットされたトレイは、自動トレイ選択の対象になりません。

補足

- 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、［トレイの優先順位］によって決定します。

[トレイの優先順位]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合の、トレイの優先順位を設定します。

補足

- 手差しトレイには最も低い優先順位だけが設定できます。手差しトレイを最優先したい場合は、［手差し優先］を設定します。

[手差し優先]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合、手差しトレイを最優先で選ぶかどうかを設定します。

- ［トレイの優先順位］で［手差しトレイ］が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致するとき、手差しトレイから給紙されます。
- ［トレイの優先順位］で［手差しトレイ］が［自動トレイ切替対象外］に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致していなくても手差しトレイから給紙されます。

[トレイの用紙サイズ設定]

用紙サイズを設定します。

[用紙の画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法を設定します。

本機は、プリントをするとき、[用紙の画質処理] で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

- [A]
  カラー専用の上質紙に適しています。
- [A(うら面)]
  カラー専用の上質紙のうら面に適しています。
- [B]
  一般的に使われているオフィス用紙に適しています。
- [B(うら面)]
  一般的に使われているオフィス用紙のうら面に適しています。
- [C]
  再生紙に適しています。
- [C(うら面)]
  再生紙のうら面に適しています。
- [D]
  地合が悪い用紙で、プリント時に画質のムラが発生する場合に選びます。
- [D(うら面)]
  地合が悪い用紙で、うら面にプリント時に画質のムラが発生する場合に選びます。
- [S]
  105 g/m² 以下のコート紙に適しています。
- [S(うら面)]
  105 g/m² 以下のコート紙のうら面に適しています。

補足

- 地合が悪い用紙とは、光に透かして見たときに、表面の透過度にムラが目立つ用紙です。

[用紙種類名称設定]

[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。

[用紙色名称設定]

[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を任意の名称に変更できます。

[ID 印字機能]

特定の位置に、ユーザー ID をプリントします。

[奇数ページの両面]

両面プリント時の、奇数ページ原稿の最終ページに対するプリント方法を設定します。

- [両面]
  最終ページは片面のみのデータですが、両面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作を行います。用紙に上下または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）にプリントする場合は、プリントの向きをそろえることができます。
- [片面]
  片面分の最終ページを、片面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作をしないでプリントします。両面のプリント動作をしないため、高速にプリントできます。

[未登録フォームへ印字]

プリント時に指定されたフォームが未登録だった場合に、プリントを中止するか、データのみプリントするかを設定します。

[基本の用紙サイズ]

レポート / リストなどの出力用紙サイズ指定のないプリントデータの用紙サイズの初期値を設定します。

[サイズ検知切り替え]

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

[OCR フォントのグリフ]

ART IV または ESC/P での OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。

[サイズ不一致時処理]

手差しトレイを使用してプリントする場合に、プリンタードライバーで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズが異なる場合の処理を設定します。

- [プリントする]
  設定が異なっても中止せずプリントします。
- [確認画面を表示する]
  プリントを中止し、エラーを表示します。

補足

- 本設定を［プリントする］に設定した場合は、次の現象が発生する可能性があります。
  - 用紙サイズが原稿サイズより小さいときに用紙の裏面が汚れる。
  - プリントに時間がかかる。
  - 両面印刷したときに印字がずれる。
  - 設定した用紙サイズと、セットした用紙のサイズが大きく異なる場合、紙詰まりが発生する。

[メモリー設定]

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。

■ [PS 使用メモリー]

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [ART EX フォームメモリー]

ART EX でフォームを使用するときの作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV フォームメモリー]

ART IV、ESC/P でフォームを使用するときの作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV ユーザ定義メモリ]

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

■ [HPGL オートレイアウトメモリー]

HP-GL および HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ **[ジョブチケット用メモリー]**

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

■ **[受信バッファ容量]**

インターフェイスごとに、コンピューターから送信されるデータをスプールするかしないかを指定します。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。

- **[LPD スプール]**

  スプールするかしないかを設定します。

- **[IPP スプール]**

  スプールするかしないかを設定します。

[画質補正]

[階調補正]

参照

- 階調補正の操作手順については、「階調を補正する」(P.121) を参照してください。

■ **[解像度]**

解像度優先の階調補正チャートをプリントし、本機の階調を補正します。

- **[階調補正チャート]**

  階調補正チャートをプリントし、イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）の色階調がずれていないかを確認し、補正値を読み取ります。

- **[補正セット]**

  補正値を設定します。

■ **[階調]**

階調優先の階調補正チャートをプリントし、本機の階調を補正します。

- **[階調補正チャート]**

  階調補正チャートをプリントし、イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）の色階調がずれていないかを確認し、補正値を読み取ります。

- **[補正セット]**

  補正値を設定します。

[カラーレジ補正]

■ **[自動カラーレジ補正]**

プリント結果に色版のずれが発生する場合に、カラーレジを自動で調整します。

■ **[手動カラーレジ補正]**

プリント結果に色版のずれが発生する場合に、カラーレジを手動で調整します。

- **[カラーレジ補正チャート]**

  A4 サイズの用紙にカラーレジ補正チャートをプリントします。

- **[カラーレジ補正]**

  イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）の補正値を設定します。

[ペーパーレジ補正]

補足

- [おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力 (片面)]、[チャート出力 (両面)] は、トレイ 1 ～手差しトレイの各々のトレイに対応して表示されます。
- おもて面 / うら面の水平方向（サイドレジ）の補正はトレイごとに設定できますが、垂直方向（リードレジ）の補正はすべて同一の値になります。

参照

- ペーパーレジ補正については、「印字位置を調整する（[ペーパーレジ補正]）」(P.126) を参照してください。

■ [おもて面の補正]

おもて面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を補正します。

■ [うら面の補正]

うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を補正します。

■ [チャート出力 (片面)]

おもて面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を補正するときに使用するチャートを出力します。

■ [チャート出力 (両面)]

うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を補正するときに使用するチャートを出力します。

[転写電圧オフセット調整]

次のような症状が頻繁に発生する場合は、プリントする用紙に合った用紙種類が正しく設定されているかを確認してください。正しい用紙種類が設定されていても症状が発生するときは、転写電圧の設定が適切でないことがあります。その場合に調整します。

- 画像の一部が白点になる（転写電圧をマイナス方向に変更する）
- 画像周辺にトナーが飛び散る（転写電圧をプラス方向に変更する）

[定着温度調整]

次のような症状が頻繁に発生する場合は、定着温度の設定が適切でないことがあります。次のように調整します。

- 指でこするとかすれる（定着温度をプラス方向に変更する）
- トナーが定着しない（定着温度をプラス方向に変更する）
- トナーで用紙が汚れる（定着温度をマイナス方向に変更する）
- 用紙がカールする（定着温度をマイナス方向に変更する）

[高地使用設定]

本機の設置場所の高度を設定します。高度を正しく設定することで、印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

[初期化 / データ削除]

■ [NV メモリー初期化]

NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

補足

- NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。

■ [ストレージ初期化]

ストレージ（オプション）を初期化します。

初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PC-PR201H、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。

補足

- ストレージを初期化しても、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。
- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[証明書初期化]**

証明書を一括削除し、初期化します。

登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。

■ **[データー括削除]**

NV メモリー、ストレージ（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ストレージを初期化すると、追加フォント、PC-PR201H、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウト、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。

注記

- ストレージが取り付けられている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。

■ **[集計レポート初期化]**

集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。

■ **[機能別カウンター初期化]**

機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。

■ **[フォーム / マクロの削除]**

登録されているフォームやマクロを削除します。

■ **[フォント削除]**

登録されているフォントを削除します。

■ **[セキュリティー文書削除] / [プライベート文書削除]**

セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。

[プリント言語の設定]

使用するページ記述言語、エミュレーションモードで使用する言語の設定をします。

[201H]

このメニューで設定できる項目については、「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.225) を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.220) を参照してください。

[HPGL]

このメニューで設定できる項目については、「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.230) を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

補足

- [部数]、[両面]、[印刷モード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト]、[カラーモード] の設定は、ContentsBridge Utility（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社製のソフトウェア）を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合に有効になります。

[プリント処理モード]

PDF ファイルのプリント処理モードを設定します。

- [PDF Bridge]
  PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。
- [PS]
  PDF ファイルを PostScript の機能を使用して処理します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- [PDF Bridge] を選んだ場合と [PS] を選んだ場合では、プリント結果が異なることがあります。

[部数]

プリントする部数を設定します。

[両面]

両面プリントについて設定します。

[印刷モード]

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。

[パスワード]

PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。
プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

[ソート]

複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。

[用紙サイズ]

プリントする用紙サイズを設定します。

[レイアウト]

プリントするときのレイアウトについて設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられていて、[プリント処理モード] を [PS] に設定している場合は表示されません。

[カラーモード]

カラーでプリントするか、白黒でプリントするかを設定します。

補足

- 詳しくは、「[カラーモード自動の動作]」(P.79) を参照してください。

[PCL]

このメニューで設定できる項目については、「PCL エミュレーションについて」(P.235) を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[用紙選択モード]

PostScript の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。

- [トレイから選択]
  DMS（Deferred Media Selection）機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。
- [自動]
  DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にします。

[カラーモード]

PostScript 動作時、PDF 用のカラーモードの初期値を設定します。

[フォント未搭載時処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。

- [プリントを中止]
  プリントを中止します。
- [フォントを置き換え]
  ジョブで指定されたフォントを置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは Courier です。
  置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は［フォントを置き換え］で［ATCx を使用する］を選んでください。
  ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

[フォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATC x 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

[XPS]

XPS（XML Paper Specification）に関する設定をします。

[PrintTicket 処理]

XPS PrintTicket を読み込んだ時の本機の動作を設定します。

- [無効]
  PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS(XML Paper Specification) 文書を処理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できます。
- [標準モード]
  PrintTicket を処理します。本機用のほかのプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。
- [準拠モード]

指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft の仕様に準拠した処理を行います。
本機以外の機種で XPS(XML Paper Specification) 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。

補足

- PrintTicket とは、Microsoft 社が規定した XPS(XML Paper Specification) 文書内部に格納されているプリント設定です。

[XDW(DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

[部数]

プリントする部数を設定します。

補足

- ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

[両面]

両面プリントについて設定します。

[印刷モード]

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。

[パスワード]

DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

[ソート]

複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。

[レイアウト]

プリントするときのレイアウトについて設定します。

補足

- [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。

[用紙サイズ]

プリントする用紙サイズを設定します。

[カラーモード]

カラーでプリントするか、白黒でプリントするかを設定します。

[言語切り替え]

操作パネルの表示言語を設定します。

7.2 消耗品メニューについて

ここでは、操作パネル上の▼+OKボタンを同時に押すと表示される項目について説明します。

[シリアル番号]

本機の製造工程での管理番号を確認できます。

[カスタムモード]

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。

対応したトナー / ドラムでご使用ください。

注記

- カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P.79) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

補足

- カスタムモードを一度でもオンにしたことがある場合は、カスタムモードを［オフ］にすると［機能設定リスト］の［カスタムモード］の項目に［*］が表示されます。

8 便利な使い方

8.1 インターネットサービスを使う

インターネットサービスは、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。

補足

- 操作パネルの操作中は、インターネットサービスで設定を変更できません。
- 各画面で設定できる項目の詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。?をクリックすると表示されます。

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。**

補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、［機能設定リスト］で確認できます。
- ユーザー ID とパスワードを一定回数以上間違えるとログインできなくなります。その場合は本機を再起動してから、正しいユーザー ID とパスワードを入力してください。
- 機械管理者でログインする場合は、画面右上の［ログイン］をクリックし、機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力してください。機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。
- 機械管理者のユーザーID とパスワードを忘れた場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

参照

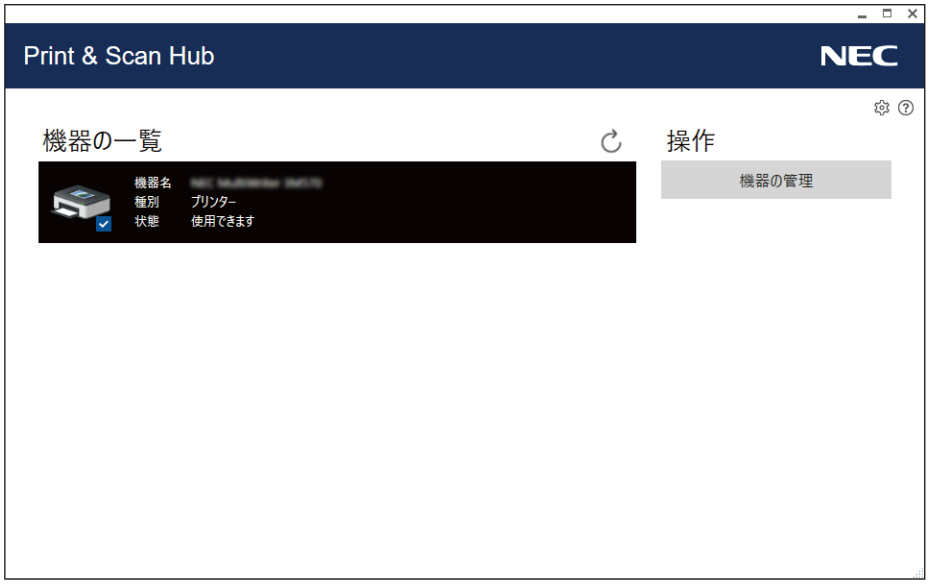
- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

8.2 本機のソフトウェアを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使ってインストールしてください。
最新版の Windows 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
https://jpn.nec.com/printer/laser/download/

Print & Scan Hub（Windows）

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。
Print & Scan Hub を起動するには、［スタート］＞［NEC Print & Scan Hub］＞［Print & Scan Hub］をクリックします。



ContentsBridge Utility（Windows）

コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS（XML Paper Specification）ファイルをプリントすることができます。
ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの［ContentsBridge］ショートカットをダブルクリックします。

8.3 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。
使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- インターネットサービスを使用して作成した自己証明書
- 認証局（CA）によって署名された証明書

参照

- 証明書のインポートについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可　×：使用不可

暗号化の種類	自己証明書	認証局（CA）によって署名された証明書
コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）	×	○
IPsec を使用して暗号化する	×	○*1

*1 :［IKE 認証方式］が［デジタル署名］の場合に使用します。

暗号化機能について

コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

通信を暗号化するには、自己証明書または認証局（CA）によって署名された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用します。

補足

- HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに通信データを暗号化（SSL 暗号化通信）できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）

外部サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、認証局（CA）によって署名された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書をインターネットサービスを使用して本機にインポートする必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。

IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

インターネットサービスの［IKE 認証方式］が［デジタル署名］の場合は、認証局（CA）によって署名されたデバイス証明書が必要です。［IKE 認証方式］が［事前共有鍵］の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書（上位の CA 証明書）を本機にインポートしておく必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。

HTTP の通信を暗号化するための設定

証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書（SSL サーバー用）を生成する方法と、認証局（CA）によって署名された証明書をインポートする方法があります。

補足

- ［デバイス証明書］または［その他の証明書］のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書（SSL サーバー用）を生成する場合

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**
5. **［新規作成］＞［自己署名証明書の作成］をクリックします。**
6. **［デジタル署名の方式］を必要に応じて設定します。**
7. **［公開鍵のサイズ］を必要に応じて設定します。**
8. **［発行者］を設定します。**
9. **［有効期間（日数）］を必要に応じて設定します。**
10. **［実行］をクリックします。**
11. **生成が終了したら、［閉じる］をクリックします。**

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする場合

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するよう設定します。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**
5. **［インポート］をクリックします。**

6. **［選択］をクリックし、インポートするファイルを指定します。**
7. **［パスワード］にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。**
8. **［パスワードの再入力］に同じパスワードを入力します。**
9. **［実行］をクリックします。**
10. **インポートが終了したら、［閉じる］をクリックします。**

証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

補足

- 本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［SSL/TLS 設定］をクリックします。**
5. **［本体の証明書 - サーバー］で証明書を選びます。**

補足

- 証明書を選べないときは、［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

6. **［HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号］を必要に応じて設定します。**

注記

- ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

7. **［保存］をクリックします。**
8. **［今すぐ再起動］をクリックします。**

コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を［デジタル署名］にするときは、本機に証明書を設定します。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、「証明書の準備」(P.98) は不要です。「IPsec の設定」(P.98) を行ってください。

補足

- ［デバイス証明書］または［その他の証明書］のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

証明書の準備

インターネットサービスで証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどちらかとなります。
- IPsec 用には、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。

参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.96) を参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**
5. **［インポート］をクリックします。**
6. **［選択］をクリックし、インポートするファイル名を指定します。**

   補足

   - インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

7. **［パスワード］にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。**
8. **［パスワードの再入力］に同じパスワードを入力します。**
9. **［実行］をクリックします。**
10. **インポートが終了したら、［閉じる］をクリックします。**

IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**

5. **[IPsec 通信] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶または OK ボタンを押します。**
7. **[有効] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **OK ボタンを押します。**
9. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**
   本機が再起動します。

通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。
通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

参照

- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

インターネットサービスで HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.96) を参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の [ログイン] をクリックします。**
3. **機械管理者の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **証明書をインポートします。**

   1) **[システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] をクリックします。**
   2) **[インポート] をクリックします。**
   3) **[選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。**
   4) **[パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。**
   5) **[パスワードの再入力] に、同じパスワードを入力します。**
   6) **[実行] をクリックします。**
   7) **Web ブラウザーの再読み込みを行います。**

5. **Wi-Fi 接続の設定をします。**

   1) **[ネットワーク] をクリックします。**

2) **[Wi-Fi] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。**

3) **[SSID] に接続先の SSID を入力します。**

6. **セキュリティーの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。**

ここでは、Enterprise 向けのデータ暗号化の説明をします。

1) **[セキュリティー設定] の [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] または [WPA/WPA2 Enterprise] を選びます。**

2) **[認証方式] を選びます。**

3) **選択した認証方式を設定します。**

認証方式が EAP-TLS の場合

[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選びます。

認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAPTTLS/MS-CHAPv2 の場合

[ユーザー名]、[パスワード] および [パスワードの再入力] に WPAEnterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを入力します。

4) **[ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選びます。**

5) **[Identity] に EAP-Identity の値を入力します。**

補足

- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

6) **必要に応じて他の項目を設定します。**

7) **[保存] をクリックします。**

8) **[今すぐ再起動] をクリックします。**

8.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

注記

- 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
  集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべてプリントまたは削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

インターネットサービスへのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要です。本機に登録されているユーザーまたは機械管理者以外は、インターネットサービスを使用できません。

コンピューターからのプリント

ジョブの種類によって、次のようにプリントが制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用したプリント	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、プリントできます。また、本機でカラープリントが禁止されている場合は白黒プリントしかできません。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降のプリントはできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（メール受信プリントなど）	ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合だけ、プリントできます。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、「プリンター集計レポート」に代わって、「プリンター集計管理レポート」が出力されます。

ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

- データの初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.87) を参照してください。

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの［機械管理者メニュー］で、次の設定をします。

- ［システム設定］ > ［認証 / 集計の設定］ > ［本体認証 / 集計］に設定します。

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで［本体認証 / 集計］の設定をすると、インターネットサービスで、利用ユーザーを登録できるようになります。

参照

- 各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **画面上部の［認証 / 集計 / 権限］をクリックします。**
5. **［ユーザーアカウント一覧］ > ［設定］をクリックします。**
6. **［ユーザーの登録］をクリックし、［ユーザー ID］、［パスワード］および［パスワードの再入力］を入力します。**

7. **［登録］をクリックします。**

権限グループの登録とユーザーとの関連付け

操作パネルで［本体認証 / 集計］の設定をすると、インターネットサービスで、権限グループを登録し、ユーザーと関連付けることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連付けることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

参照

- 各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.22) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**

3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

4. **画面上部の［認証 / 集計 / 権限］をクリックします。**

5. **［権限設定］＞［権限グループ設定］をクリックします。**

6. **登録する権限グループ No. をクリックします。**

補足

- 次のユーザーは、No.00 の「DefaultGroup（標準）」（デフォルト権限グループ）に属します。
  - 新規作成したユーザー
  - 認証する前のユーザー
- デフォルト権限グループもほかの権限グループと同様に変更できます。

7. **［グループ名］にグループの名称を入力します。**

8. **必要に応じて、［強制印字の一時解除］を設定します。**

9. **［保存］＞［OK］をクリックします。**

10. **［ユーザーアカウント一覧］で登録するユーザーをクリックします。**

11. **［ユーザーの権限］＞［設定］をクリックします。**

12. **［権限グループ］をクリックします。**

13. **登録されている権限グループ No. をクリックします。**

14. **必要に応じて他の項目を設定します。**

15. **［保存］をクリックします。**

補足

- 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ～ 15 を繰り返します。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが、本機に登録されている認証情報と一致しないとプリントできません。

参照

- プリンタードライバーの各項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
3. **［プリンター構成］タブで、［認証設定］をクリックします。**
4. **［認証管理］ダイアログボックスで各項目を設定し、［OK］をクリックします。**
5. **プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

IC カード読み取り装置を利用するための設定

オプションの IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理することができます。

補足

- IC カード読み取り装置を使用する場合は、ストレージ（オプション）が必要です。

参照

- 詳しくは、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

9 日常管理

9.1 消耗品を交換する

次の消耗品を交換品として用意しています。

- トナーカートリッジ
- ドラムカートリッジ
- トナー回収ボトル

消耗品の交換時期が近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されます。

交換手順については新しい消耗品が入っていた箱を参照してください。

トナーカートリッジ

メッセージ	処置
[プリントできます iトナー予備用意：X] *1	すぐに交換する必要はありませんが、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、次のとおりです。*3 Color MultiWriter 3C550 • お買い上げ時のトナーカートリッジ、トナーカートリッジ標準 ブラック：約 1750 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 1500 ページ • トナーカートリッジ大容量 ブラック：約 3750 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 2500 ページ Color MultiWriter 3C530 • お買い上げ時のトナーカートリッジ、トナーカートリッジ標準 ブラック：約 1500 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 1250 ページ • トナーカートリッジ大容量 ブラック：約 2500 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 1250 ページ
[iトナーを交換してください：X] *1*2	トナーがなくなりました。本機は停止し、プリントできなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

*1 :X にはイエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）のどれか、またはその組み合わせが表示されます。
*2 :トナーカートリッジ ブラック（K）を含む複数色のトナーが表示された場合、トナーカートリッジ ブラック（K）だけでなく指定されたトナーカートリッジをすべて交換しないと、プリンタードライバーのカラーモードで白黒を選んでもプリントできません。
*3 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.211) を参照してください。

注記

- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをおすすめします。

- 「トナー予備用意：X」が表示された場合、トナーが片寄っていることがあります。トナーカバーを開けて、ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを上から「トントン」と 5 ～ 6 回軽く叩いてください（トナーカートリッジを外す必要はありません）。トナーカバーを閉め、メッセージが消えない場合は、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。

ドラムカートリッジ

補足

- 「ドラムカートリッジカラー（CMY）」はカラー各色共通で、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）すべてのドラムカートリッジを交換する場合は 3 本必要です。

メッセージ	処置
[プリントできます ドラム予備用意：X]	すぐに交換する必要はありませんが、表示されたドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、約 1200 ページ *2 です。
[プリントできます ドラム交換時期：X] *1	まもなく表示されたドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数は、約 500 ページ *2 です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
[ドラムカードリッジ (X) を交換してください] *1*3	表示されたドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、プリントできなくなります。新しいドラムカートリッジに交換してください。
[プリントできます ドラムカートリッジ交換：X] *1	操作パネルで、[ドラム寿命動作] を [プリント停止しない] *4 に設定しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。

*1 :X には、Y、M、C、K のどれかが表示されます。ドラムカートリッジには、ドラムカートリッジ カラー（CMY）とドラムカートリッジ ブラック（K）の 2 種類があります。本機に向かって奥側からイエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）です。

*2 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.211) を参照してください。

*3 :機械のディスプレイに、カラー（シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y））のドラムカートリッジ交換のメッセージが表示がされた場合は、表示された色（C、M、Y）ごとに、「ドラムカートリッジカラー（CMY）」が必要です。

*4 :この場合は、[プリントできます ドラムカートリッジ交換：X] のまま、メッセージは移行しません。設定については、「[ドラム寿命動作]」(P.79) を参照してください。

ドラムカートリッジには、光路（レーザー）部清掃用の交換パッドが同梱されています。ドラムカートリッジを交換するときに、光路（レーザー）部を清掃し、清掃用パッドも交換してください。

注記

- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ドラムカートリッジの交換直後に濃い横帯や濃度のムラが発生したときは、1 日程度、本機を休ませてください。

参照

- 清掃用パッドで清掃する手順については、「光路（レーザー）部の清掃」(P.107) を参照してください。

トナー回収ボトル

プリント後のドラムに残ったトナーは、集められてトナー回収ボトルにたまります。

メッセージ	処置
[プリントできます回収ボトル 予備用意]	すぐに交換する必要はありませんが、トナー回収ボトルの予備を用意してください。残りのプリント可能ページ数は、約 1200 ページ *1 です。

メッセージ	処置
[プリントできますi回収ボトル 交換時期]	まもなくトナー回収ボトルの交換時期になります。残りのプリント可能ページ数は、約 500 ページ*1 です。
[トナー回収ボトルを交換してください]	本機は停止し、プリントできなくなります。トナー回収ボトルを交換してください。

*1 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.211) を参照してください。

注記

- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業してください。

⚠ 警告

- **トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、必ずお買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお渡しください。弊社にて処理いたします。**
- **床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。**
- **消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。**

⚠ 注意

- **トナーカートリッジや、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。**
- **トナーカートリッジや、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。**
- **次の事項に従って、応急処置をしてください。**
  - **トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。**
  - **トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。**
  - **トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。**
  - **トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。**

9.2 清掃する

本体外部を清掃する

注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあるので注意してください。

1. **水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。**

注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

光路（レーザー）部の清掃

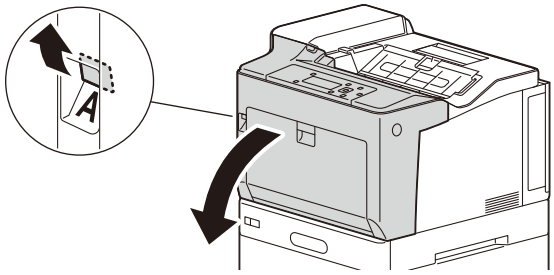
プリント画質が悪くなった場合は、次の手順に従って、本機内部の光路（レーザー）部を清掃してください。

補足

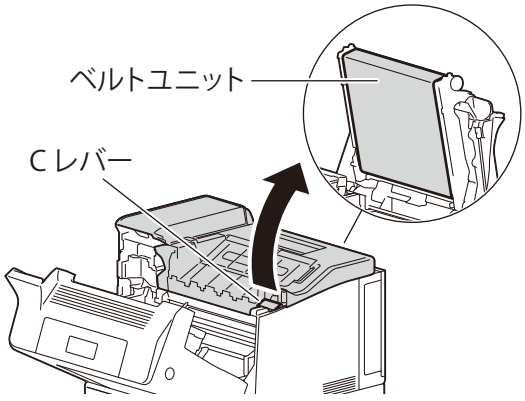
- 光路（レーザー）部の清掃には、本機内部に収納している清掃用パッドを使用します。ドラムカートリッジを購入すると、交換用の清掃パッドが同梱されています。ドラムカートリッジ交換の際には、光路（レーザー）部を清掃してパッドも交換してください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



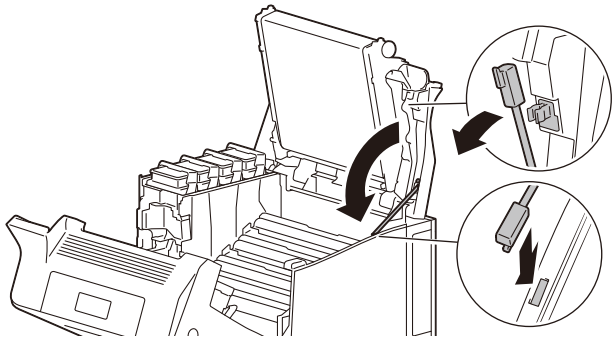
3. トップカバーの右手前の C レバーを持ち、静かにカバーを開けます。



注記

- ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

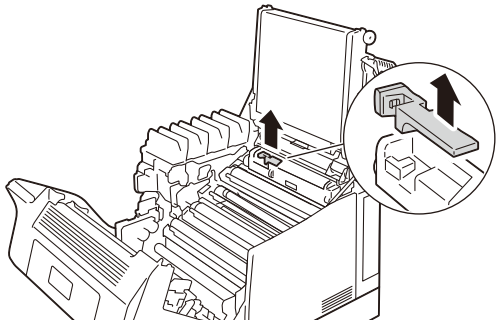
4. **C レバーを持ったまま、トップカバーの右側に付いている支え棒の上先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。**



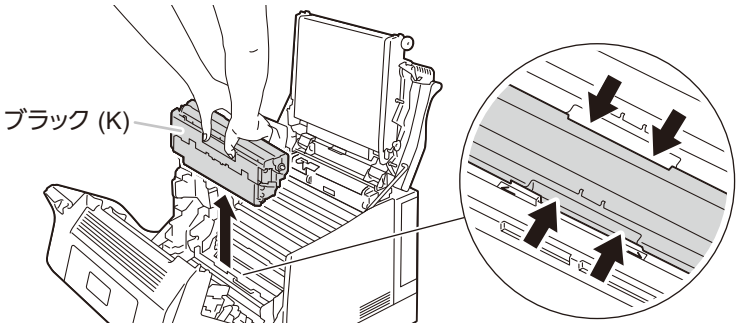
注記

- 長時間カバーを開けたままにすると、ドラムカートリッジが光で劣化することがあります。10 分以内を目安にカバーを閉めるようにしてください。

5. **本機内部の図の位置にある清掃用パッドを取り外します。**



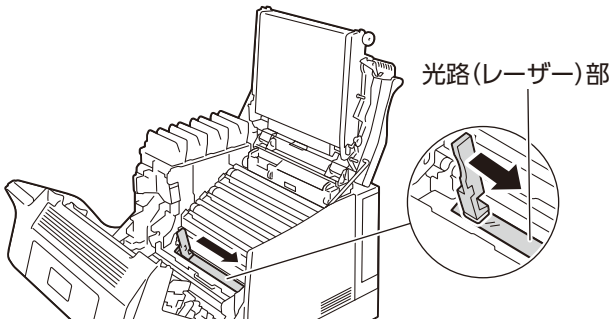
6. **一番手前のブラック（K) のドラムカートリッジを両手で持ち上げて、取り出します。**



注記

- 取り外したドラムカートリッジは、強い光に当たらないように、箱やアルミ袋の中に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ドラムカートリッジを床や机に置く場合は、つかむ部分が上になるように置いてください。
- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

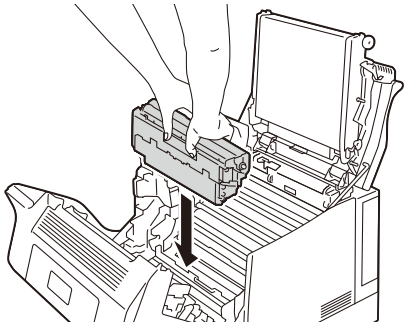
7. **ドラムカートリッジがセットされていた溝に清掃用パッドを差し込み、左右どちらか一方向から 1 回だけガラス面（光路（レーザー）部）の汚れを取り除きます。**



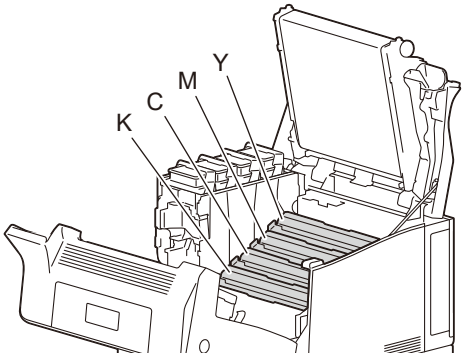
注記

- 指示した場所以外、機械の内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。

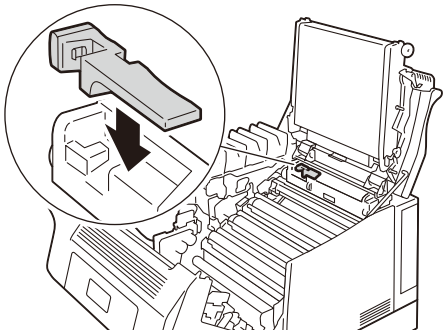
8. **清掃後、手順 6 で取り出したドラムカートリッジを左右の溝に合わせて挿入し、元の場所に取り付けます。**



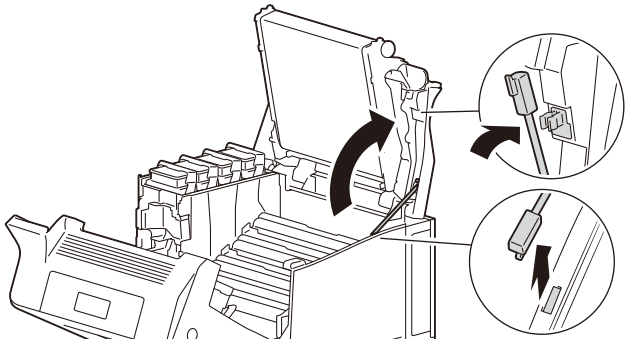
9. **残りのドラムカートリッジをシアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y) の順に手順 6 ～ 8 に従って取り外し、ガラス面を清掃後に元に戻します。ドラムカートリッジの各色の位置は、図を参照してください。**



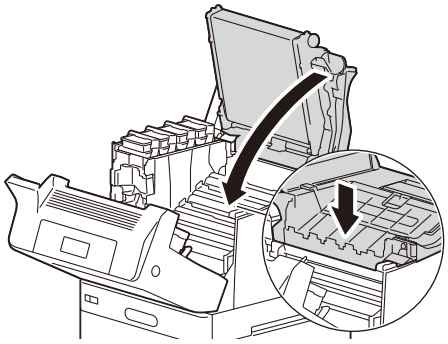
10. **清掃用パッドを元の場所に戻します。**



11. **支え棒を元に戻します。**



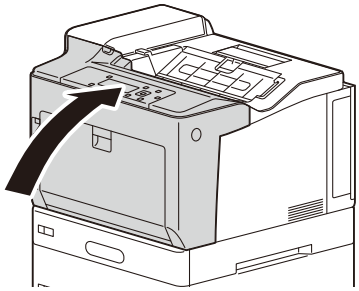
12. **トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。**



注記

- トップカバーを閉じるとき、ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
- トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

13. **フロントカバーを閉じます。**

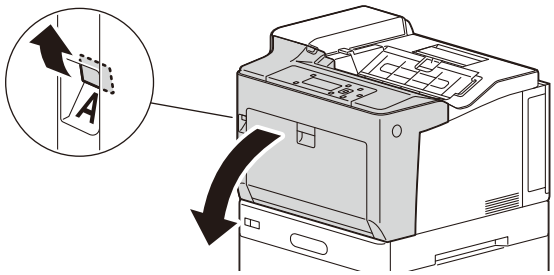


ADC センサーの清掃（[094-310] 表示時）

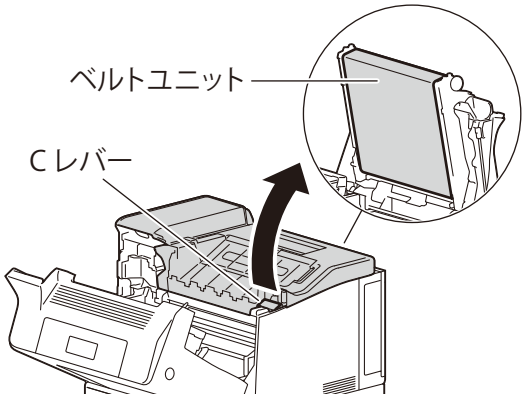
操作パネルに［094-310］のエラーコードが表示されたときは、次の手順に従って、本機内部の ADC センサーを清掃してください。清掃には綿棒が必要です。

1. **手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。**

2. **A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。**



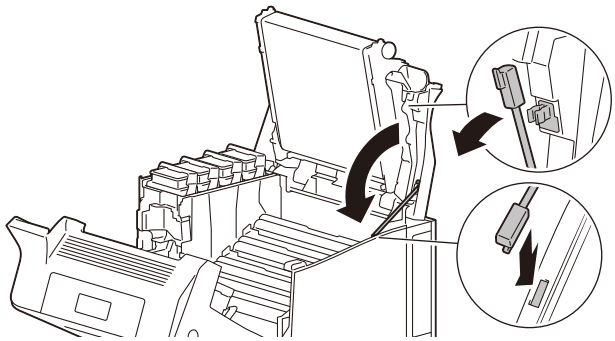
3. **トップカバーの右手前の C レバーを持ち、静かにカバーを開けます。**



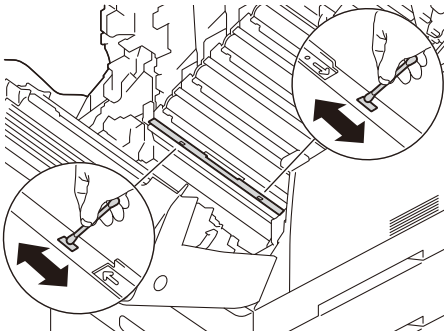
注記

- ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

4. **C レバーを持ったまま、トップカバーの右側に付いている支え棒の上先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。**



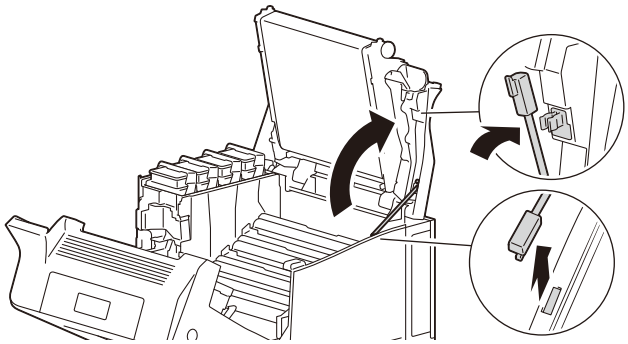
5. **矢印の先にある 2 か所の透明部分を汚れのない綿棒で左右に 5 往復拭きます。**



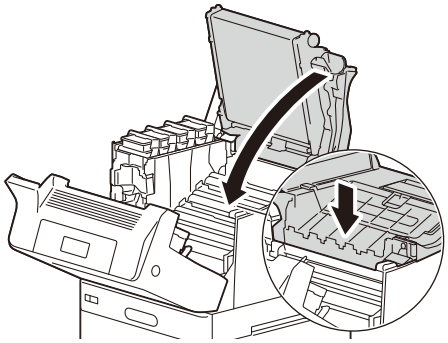
注記

- 指示した場所以外、プリンターの内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。
- 布やティッシュペーパーなどを使用すると、清掃するときに機械内部の部品に触れる場合があり、危険です。清掃には必ず綿棒を使用してください。

6. **支え棒を元に戻します。**



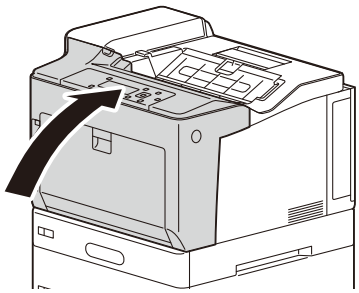
7. **トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。**



注記

- トップカバーを閉じるとき、ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
- トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

8. **フロントカバーを閉じます。**



用紙搬送ロールの清掃

絵入りのはがきを使用すると、絵柄裏写り防止用の粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。また、紙粉の多い用紙を使用すると、紙粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。給紙できなくなった場合には、用紙搬送ロールを水でぬらして固く絞った柔らかい布で、丁寧に拭きます。

清掃手順は用紙搬送ロールの場所により異なります。それぞれの場所に応じた手順に従って、清掃してください。

参照

- フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃については、「フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃」(P.113) を参照してください。
- トレイ１～４の用紙搬送ロールの清掃については、「トレイ１～４の用紙搬送ロールの清掃」(P.114) を参照してください。
- 手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃については、「手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃」(P.117) を参照してください。

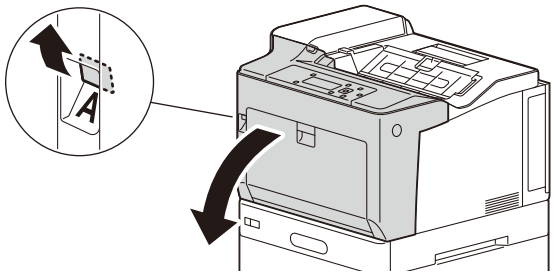
フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃

1. **手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。**

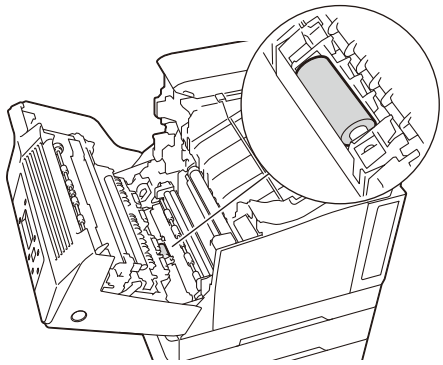
注記

- 手差しトレイを閉じるときは、手差しトレイ（左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

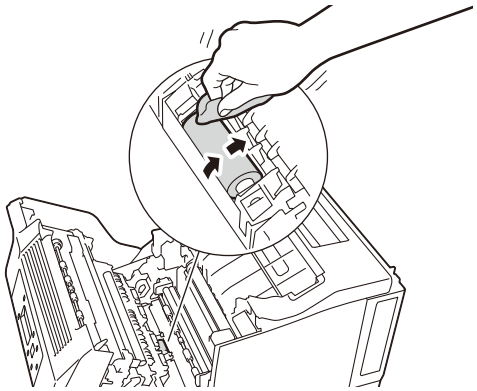
2. **A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。**



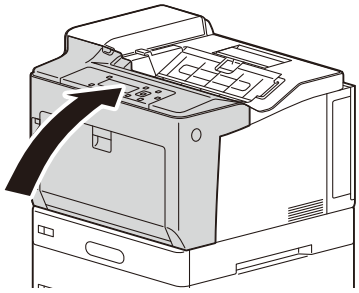
3. **用紙搬送ロールの位置を確認します。**



4. **水でぬらして固く絞った柔らかい布で、用紙搬送ロールを回転させながら、ゴム製の部分を拭きます。**



5. **フロントカバーを閉じます。**



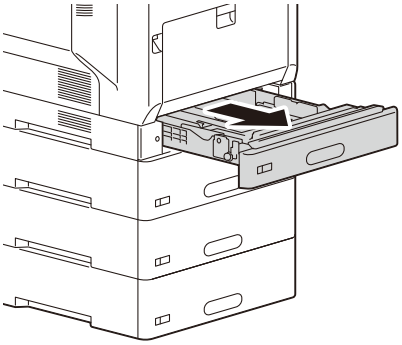
注記

- フロントカバーを閉じるときは、フロントカバー（上下および左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

トレイ１～４の用紙搬送ロールの清掃

ここでは、トレイ 1 の用紙搬送ロールを清掃する場合を例に説明します。清掃手順は、どのトレイでも同じです。

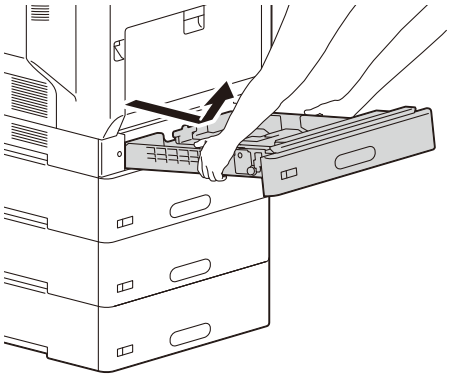
1. **トレイを止まるまで手前に引き出します。**



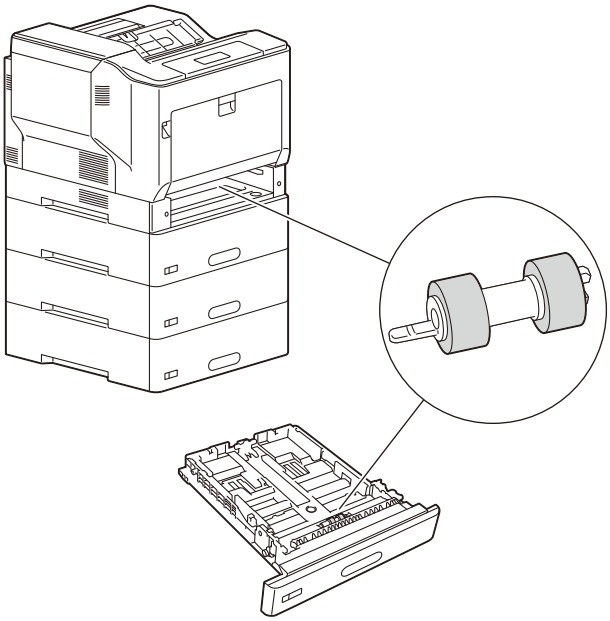
2. **トレイの両側を両手で支え、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。**

注記

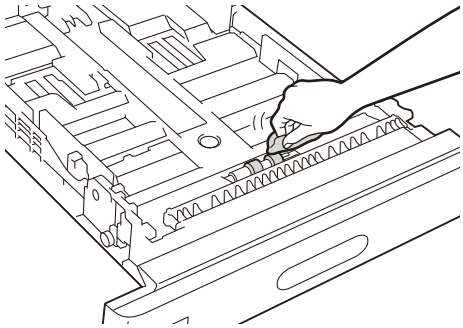
- 用紙トレイは完全に引き抜いてください。



3. **トレイ側と本体側の用紙搬送ロールの位置を確認します。**



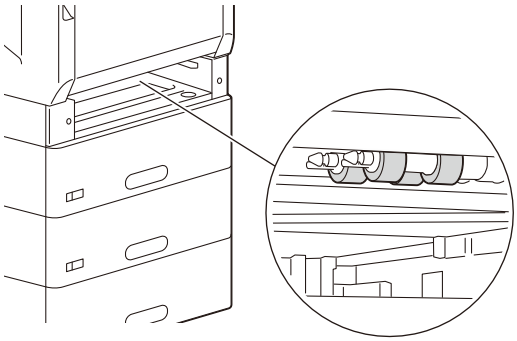
4. **水でぬらして固く絞った柔らかい布で、トレイ側の用紙搬送ロールを回転させながら、ゴム製の部分を拭きます。**



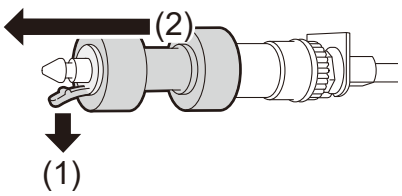
5. **本体側の用紙搬送ロールの場所を確認します。**

補足

- 本体側の用紙搬送ロールは図の位置に 2 本あります。

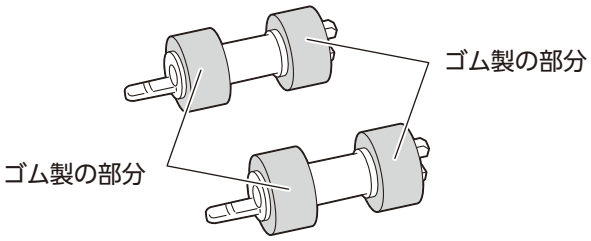


6. 手前の用紙搬送ロールのツメを広げてロックを外し（1）、軸から引き抜きます（2）。

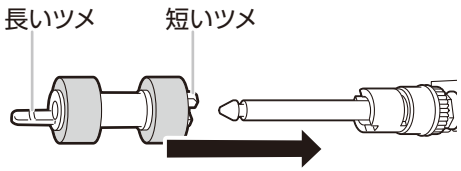


7. 奥にある用紙搬送ロールも同様に取り外します。

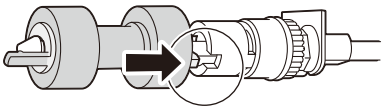
8. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、取り外した用紙搬送ロールのゴム製の部分を拭きます。



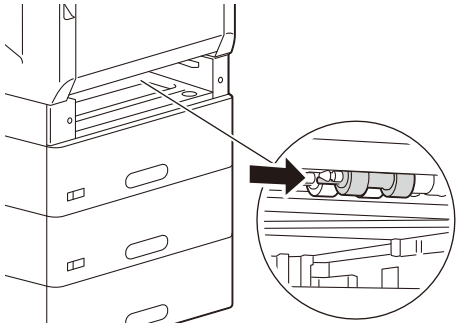
9. 清掃後、用紙搬送ロールを短いツメのほうから、本体内部の奥側の軸に通して、はめ込みます。



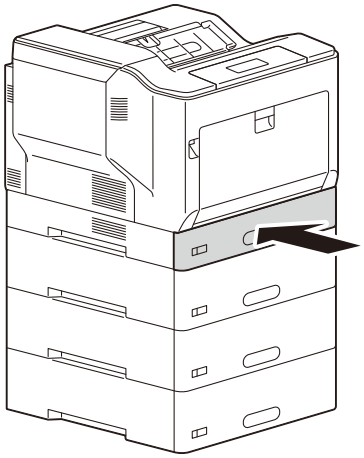
10. 用紙搬送ロールの短いツメを軸の溝に合わせて、しっかり奥まで押し込みます。



11. **同様にして、手前の用紙搬送ロールも取り付けます。**



12. **トレイをゆっくりと、奥に突き当たるところまで押し込みます。**



注記

- トレイを押し込むときは、トレイと本体の間や、トレイとトレイの間（オプションのトレイモジュール装着時）に指を挟まないように注意してください。

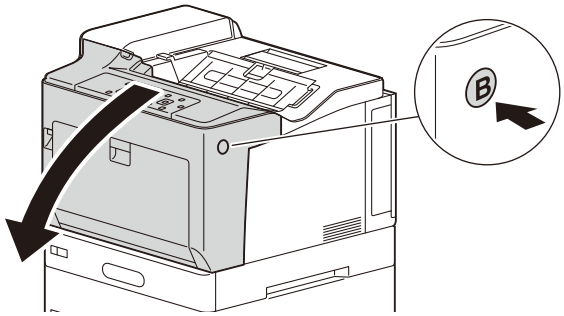
手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃

1. **手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。**

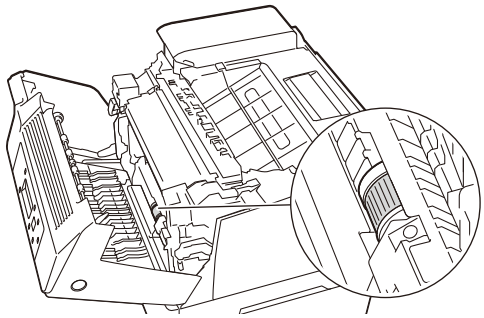
注記

- 手差しトレイを閉じるときは、手差しトレイ（左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

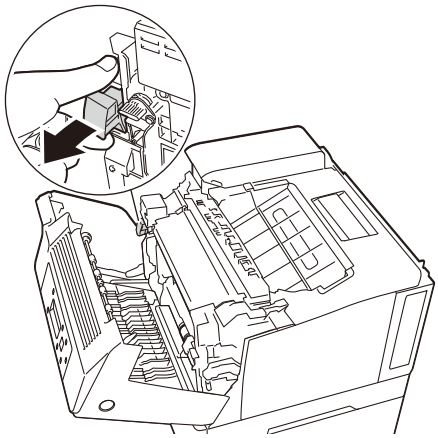
2. **B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。**



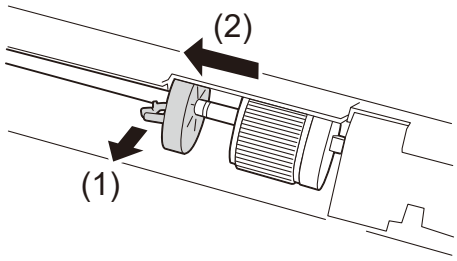
3. 本体内部にある用紙搬送ロールを確認します。



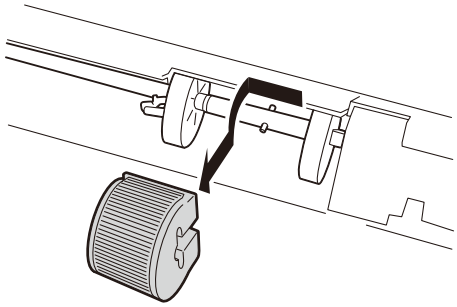
4. 白いレバーを持ち上げて手前に引きます。



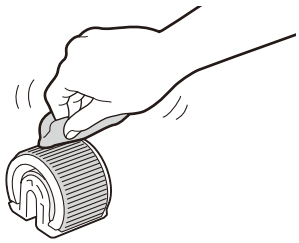
5. 用紙搬送ロールのストッパーを回転させてツメを手前側にし、ツメを広げてロックを外します（1）。ストッパーだけを左に止まるところまでずらします（2）。



6. 用紙搬送ロールをストッパーのところまで左にずらしてから、手前に 90° 回転させて引き抜きます。



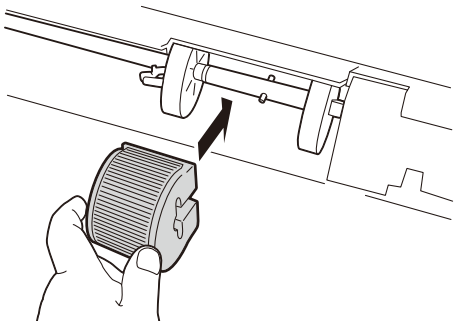
7. **水でぬらして固く絞った柔らかい布で、用紙搬送ロールを拭きます。**



8. **清掃後、用紙搬送ロールの側面が平らになっているほうを右側にして、水平に軸に押し込みます。**

補足

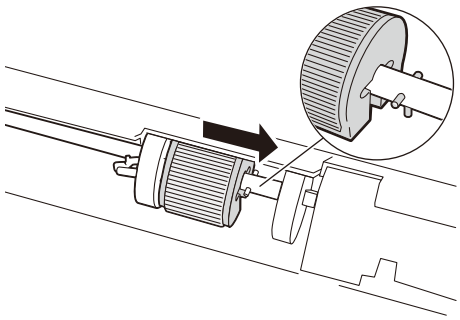
- 用紙搬送ロールの側面は、片方が平らで、もう片方には溝があります。軸に押し込むときには、用紙搬送ロールの向きに注意してください。



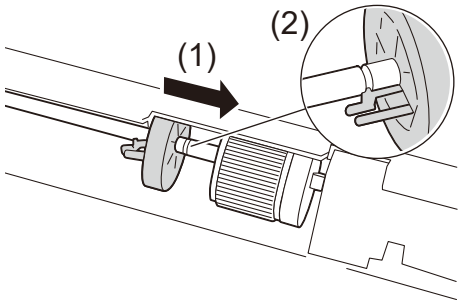
9. **用紙搬送ロールの凹部（溝）に軸のピンがはまるように、用紙搬送ロールを奥側に 90° 回転させ、右にずらします。**

補足

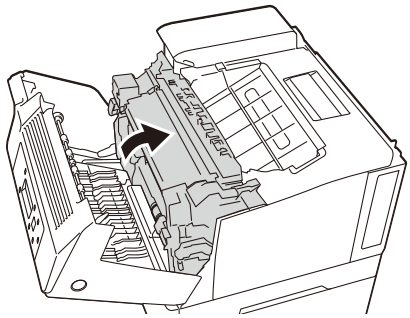
- 3 本のピンの位置と、用紙搬送ロールの凹部（溝）の位置を確認し、作業してください。



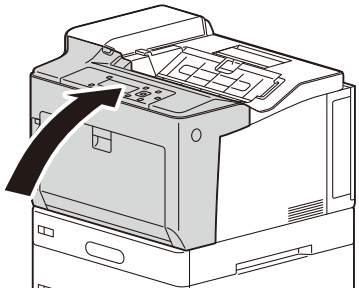
10. **ストッパーを右にずらして用紙搬送ロールに寄せ（1）、ストッパーのツメを軸の溝にはめます（2）。**



11. 手順 4 で開けた部分を元に戻します。



12. フロントカバーを閉じます。



注記

- フロントカバーを閉じるときは、フロントカバー（上下および左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

9.3 出力したプリントページ数を確認する

これまでにプリントしたページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総プリントページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、プリントしたページ数を確認できます。

参照

- 詳しくは、「[メーター確認]」(P.66) を参照してください。

コンピューター別にプリントページ数を確認する（[集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[集計レポート] で確認できます。[集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[集計レポート] のプリントやデータの初期化は、操作パネルから行います。

補足

- 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[集計レポート]（プリンター集計レポート）はプリントできません。代わりに、[集計レポート]（プリンター集計管理レポート）がプリントされます。[集計レポート]（プリンター集計管理レポート）に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。

参照

- 集計レポートについては、「[レポート / リスト]」(P.63) を参照してください。

- 初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.87) を参照してください。

機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]）

両面プリントなどの機能別、および用紙サイズ別に、プリントページ数やプリント枚数を確認できます。

参照

- 機能別カウンターレポートについては、「[レポート / リスト]」(P.63) を参照してください。

9.4 レポート / リストをプリントする

レポート / リストは、操作パネルからプリントを指示します。ここでは、[機能設定リスト] をプリントする場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順でプリントできます。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
   [レポート / リスト] が表示されます。
2. **▶またはOKボタンを押します。**
   [機能設定リスト] が表示されます。

   補足

   - ほかのレポート / リストをプリントする場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、▼ボタンを押します。
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   プリントを開始させる画面が表示されます。
4. **OKボタンでプリントします。**
   レポートがプリントされます。
5. **プリントが終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

9.5 階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートをプリントして、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）各色の、低濃度（Low）/ 中濃度（Mid）/ 高濃度（High）を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を［0］に設定してください。［0］にするとプリント時に階調補正は働きません。

補足

- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サービス窓口にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて［0］）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、機械の経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。

解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **［画質補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［階調補正］が表示されます。
6. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［解像度］が表示されます。
7. **▲または▼ボタンを押して、プリントしたい階調補正チャート（［解像度］または［階調］）を選びます。**
   （例：［階調］）
8. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［階調補正チャート］が表示されます。
9. **▶またはOKボタンを押します。**
10. **［プリント設定］＞［基本の用紙サイズ］で設定したサイズ（A4 または 8.5x11"）の用紙を、手差しトレイによこ置きにセットし、OKボタンでプリントします。**

注記

- ［プリント設定］＞［基本の用紙サイズ］で選択した用紙サイズをセットする必要があります。

濃度設定値を決める

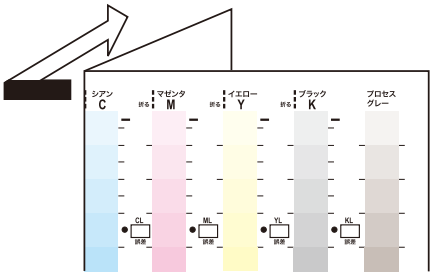
濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの中間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

補足

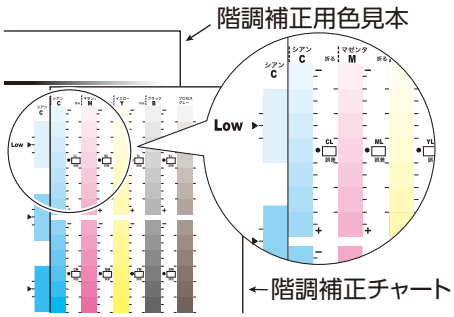
- 工場出荷時の濃度設定値はすべて［0］です。

1. **プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。**



2. **階調補正チャートの補正する濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。**

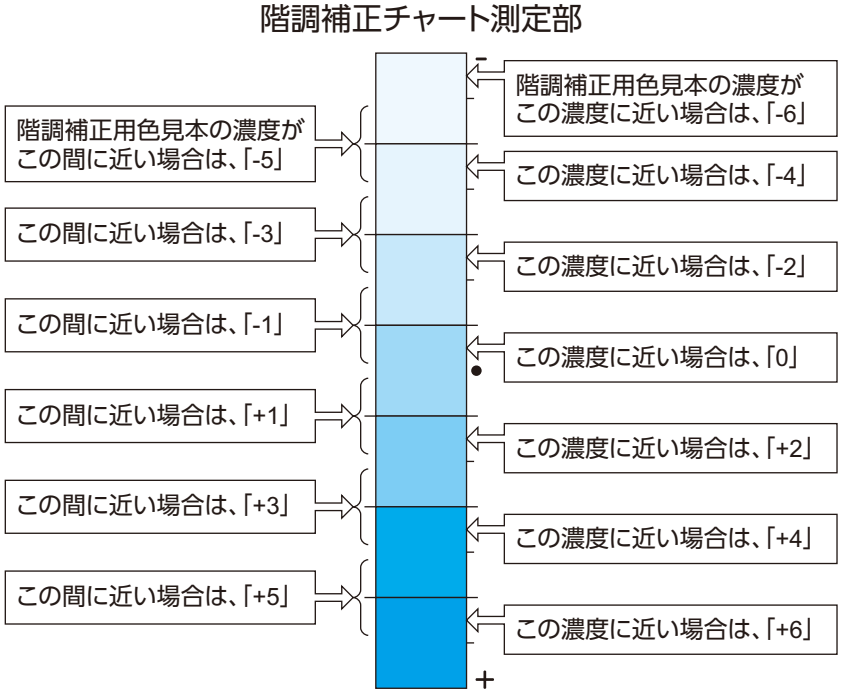
（例：低濃度（L)。低濃度（L）の補正をする場合は、Low と Low を合わせます。）

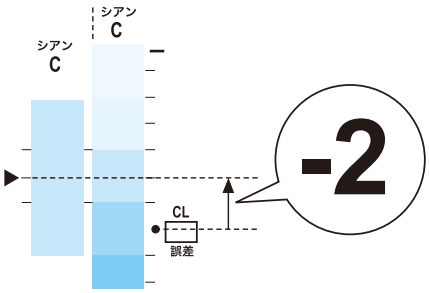


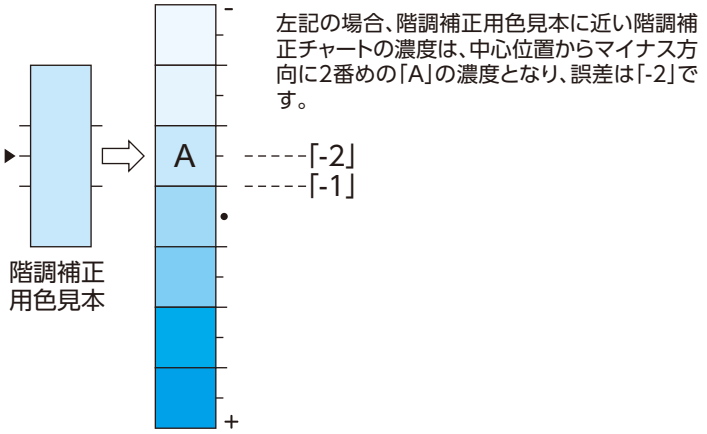
3. 階調補正チャートの・印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

注記

- マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。

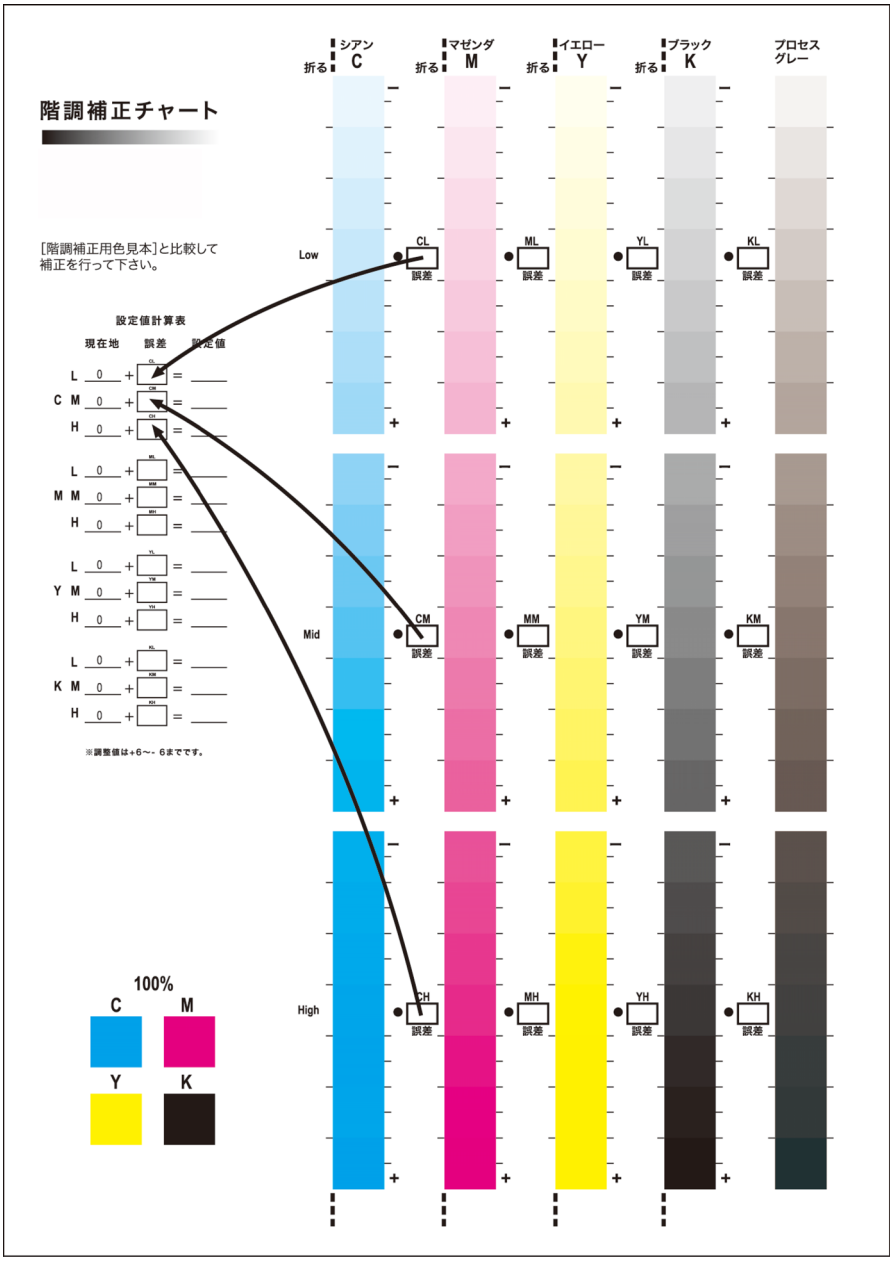






4. **該当する［誤差］ボックスに、誤差を記入します。**
5. **同じ色の、ほかの 2 つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。**
6. **同様に YMCK の残りの色に対して手順 1 ～ 5 を繰り返して、誤差を読み取ります。**

7. **すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある［設定値計算表］の［誤差］の該当する箇所に書き写します。（例：シアン）**



8. **設定値計算表の式に従って設定値を求め、［設定値］に記入します。**

補足

- ［現在値］には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

濃度設定値を入力する

［階調補正チャート］の設定値計算表の［設定値］に記入した濃度設定値を本機に設定します。
ここでは、シアンの高濃度を「-2」に設定する例で説明します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**

2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶またはOKボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **［画質補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶または㊎ボタンを押します。**
［階調補正］が表示されます。
6. **▶または㊎ボタンを押します。**
［解像度］が表示されます。
7. **▲または▼ボタンを押して、濃度設定値を決めるためにプリントした階調補正チャート（［解像度］または［階調］）を選びます。**
（例：［階調］）
8. **▶または㊎ボタンを押します。**
［階調補正チャート］が表示されます。
9. **▼ボタンを押して、［補正セット］を表示します。**
10. **▶または㊎ボタンを押します。**
［シアン (C)］が表示されます。
11. **▶または㊎ボタンを押します。**
補正値を入力する画面が表示されます。
12. **▶ボタンでフィールド（L：低濃度 /M：中濃度 /H：高濃度）を移動しながら、▲▼ボタンで補正値を入力します。**
（例：H=-2）
13. **補正値を入力したら、㊎ボタンを押します。**
14. **ほかのカラー濃度も補正する場合は、手順 9 の画面が表示されるまで↩〈戻る〉ボタンを押して戻り、同様に指定します。**
15. **すべての補正値が指定できたら、🖷〈仕様設定〉ボタンでプリント画面に戻ります。**
補正の結果を確認するには、「階調補正チャートをプリントする」(P.122) を参照して、該当する階調補正チャートをプリントします。
結果に満足できないときは、再度補正をします。
［プロセスグレー］は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックの色味に近づきます。
プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

9.6 印字位置を調整する（［ペーパーレジ補正］）

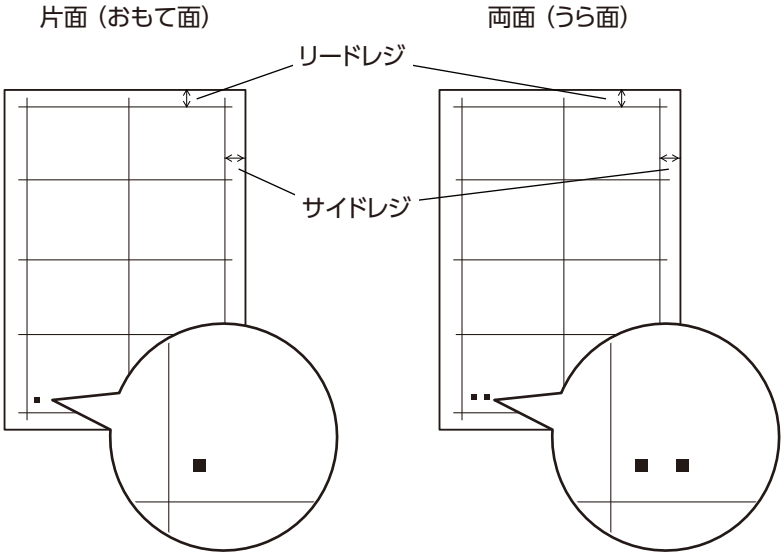
プリント位置がずれる場合、垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を操作パネルから補正します。

補足
- 垂直方向（リードレジ）の補正については、トレイごとの調整はできません。

ここでは、トレイ 1 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正をする例で説明します。

1. **操作パネルの🖷〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または㊎ボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **［画質補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶または OK ボタンを押します。**
［階調補正］が表示されます。
6. **［ペーパーレジ補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶または OK ボタンを押します。**
［トレイ 1］が表示されます。
8. **補正するトレイを▼ボタンで選びます。**
9. **▶または OK ボタンを押します。**
［おもて面の補正］が表示されます。
10. **［チャート出力 (片面)］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
11. **OK ボタンを押します。**
部数を入力する画面が表示されます。
12. **▲または▼ボタンを押して部数を設定し、▶または OK ボタンを押します。**
プリントを開始する画面が表示されます。
13. **OK ボタンを押します。**
プリントが開始されます。
14. **出力されたチャートには■（黒い四角のマーク）がプリントされます（表面は■が 1 か所、うら面は■が 2 か所）。**
用紙に対するプリント位置のずれ（垂直方向 / 水平方向）を確認します。



15. **［チャート出力 (片面)］が表示されるまで、◀または〈戻る〉ボタンを押します。**
16. **［おもて面の補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
17. **▶または OK ボタンを押します。**
［リードレジ補正］が表示されます。
18. **▶または OK ボタンを押します。**
現在の垂直方向の補正値（リードレジ）が表示されます。
19. **現在の設定値に、手順 14 で確認した垂直方向にずれた量を加えた値を設定し、OK ボタンを押します。**

プリント画像を下方向に移動する場合は＋（プラス）の値を設定し、上方向に移動する場合はー（マイナス）の値を設定します。

20. ◀または↩〈戻る〉ボタンを押します。

21. ［サイドレジ補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。

22. ▶またはOKボタンを押します。

現在の水平方向の補正値（サイドレジ）が表示されます。

23. 現在の設定値に、手順 14 で確認した水平方向にずれた量を加えた値を設定し、OKボタンを押します。

プリント画像を左方向に移動する場合は＋（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合はー（マイナス）の値を設定します。

24. 必要に応じて、チャートを再度プリントして、正しく設定されているかを確認します。

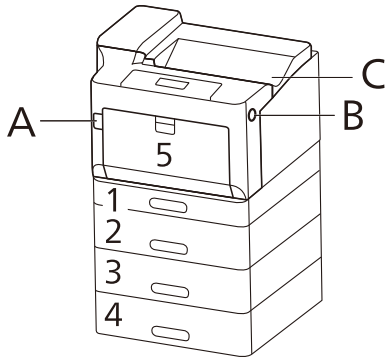
25. 設定が終わったら、i〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

10 困ったときには

10.1 紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの[!]〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙詰まりの位置を操作パネルの左上にある外観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。



紙詰まり位置	外観図の表示	紙詰まりの処置参照ページ
手差しトレイ	5	「手差しトレイでの紙詰まり」(P.130) を参照してください。
トレイ 1 ～ 4	1 ～ 4	「トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり」(P.131) を参照してください。
フロントカバー（A レバー）	A	「フロントカバー内での紙詰まり（A レバー）」(P.132) を参照してください。
フロントカバー（B ボタン）	B	「フロントカバー内での紙詰まり（B ボタン）」(P.133) を参照してください。 「レバー E 内での紙詰まり」(P.134) を参照してください。

⚠ 警告

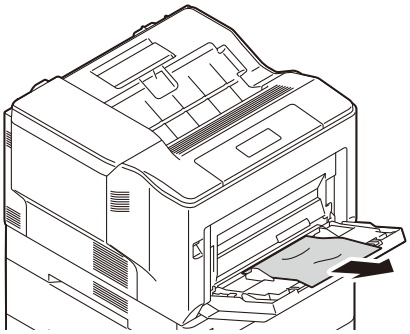
- **定着ユニットの安全性**
  定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内部に残っていると、紙詰まりの表示は消えません。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

手差しトレイでの紙詰まり

1. 手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。



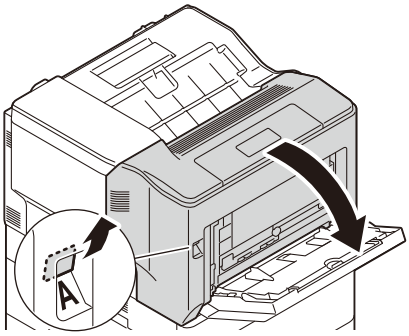
注記

- 手差しトレイに用紙を複数枚セットしている場合は、いったんすべての用紙を取り除いてください。

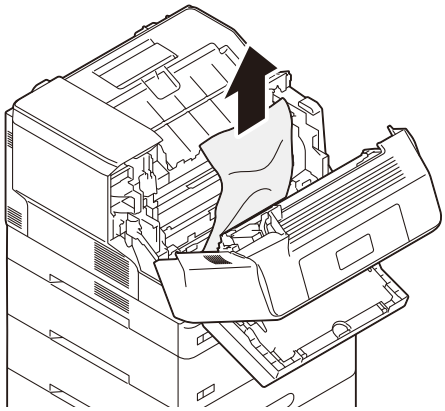
補足

- 用紙が破れた場合は、内部に紙片が残っていないかを確認します。

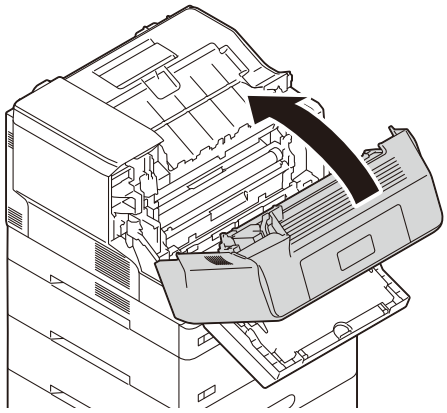
2. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. フロントカバーを閉じます。



トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり

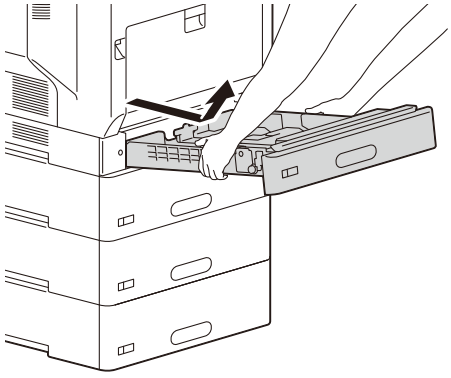
注記

- 紙詰まりの位置を確認しないでトレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルの左にある表示部で紙詰まりの位置を確認してから処置してください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. ディスプレイに表示されている用紙トレイをゆっくりと引き出し、取り外します。

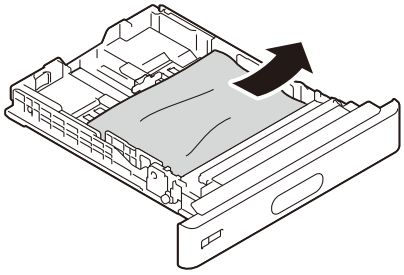
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから先に確認します。



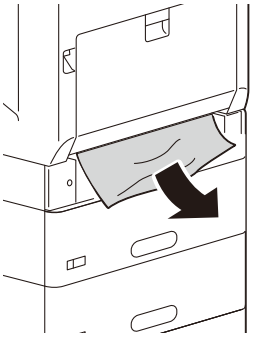
注記

- トレイにセットされた用紙は、トレイの手前側を経由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下のトレイから順に引き出さないと上段のトレイが引き出せないことがあります。

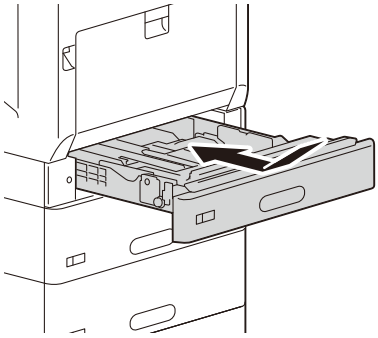
3. **詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。**



4. **内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。**



5. **奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。**

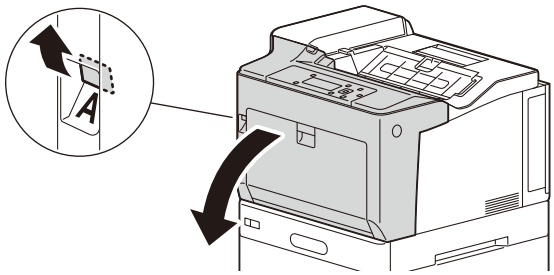


フロントカバー内での紙詰まり（A レバー）

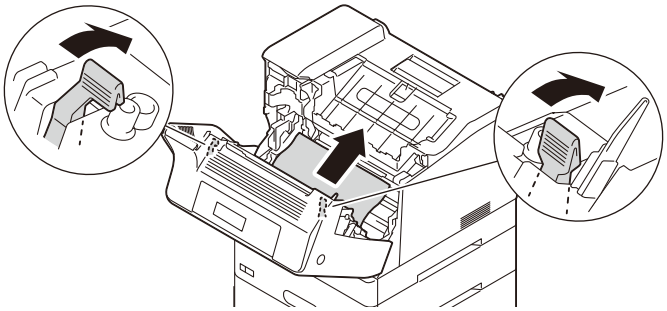
注記

- 用紙を取り除くとき、ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触れないようにしてください。ベルトユニットの表面に引っかき傷、汚れまたは手の脂が付くと印字品質が低下します。
- 転写ローラーの一部にトナーの汚れが付着している場合がありますが、画質には影響ありません。

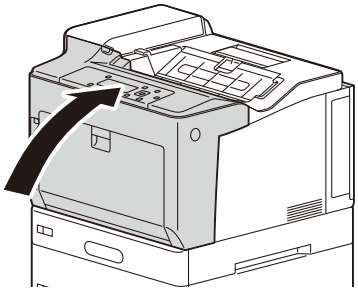
1. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



2. 図の位置にあるレバーを押し下げ、詰まった用紙がある場合は取り除き、内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

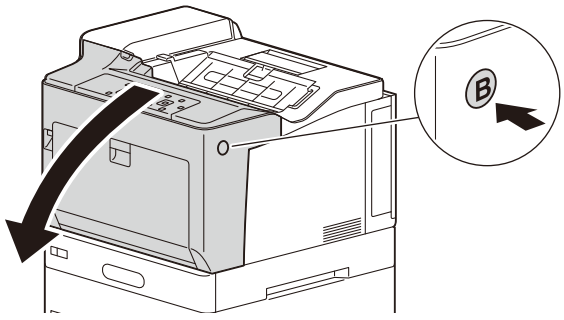


3. フロントカバーを閉じます。

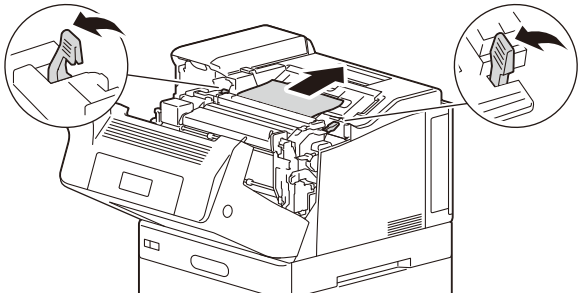


フロントカバー内での紙詰まり（B ボタン）

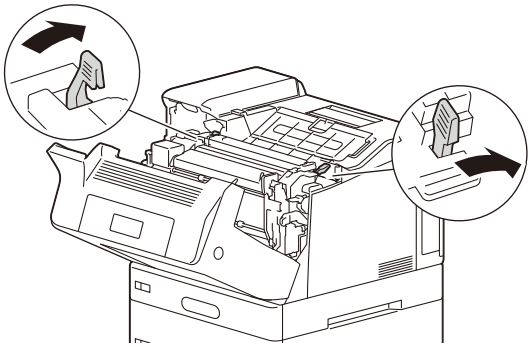
1. B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



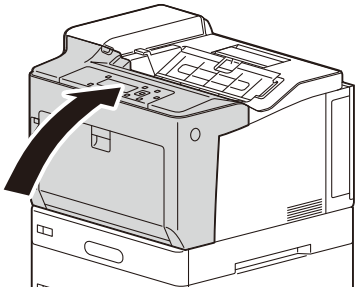
2. 図の位置にあるレバーをフロントカバー側に引いて起こし、詰まった用紙がある場合は取り除きます。



3. 内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

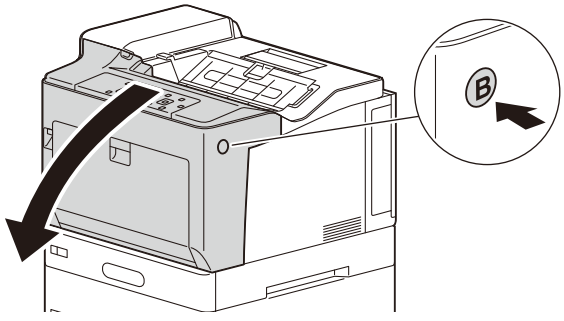


4. フロントカバーを閉じます。

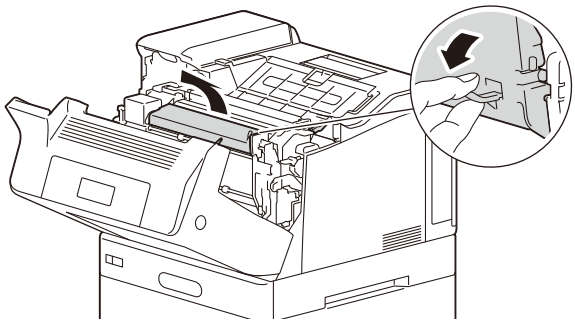


レバー E 内での紙詰まり

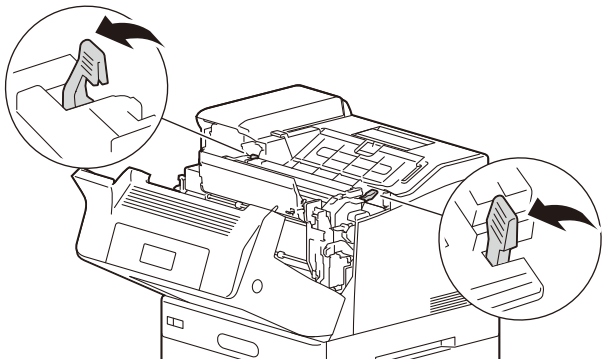
1. B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



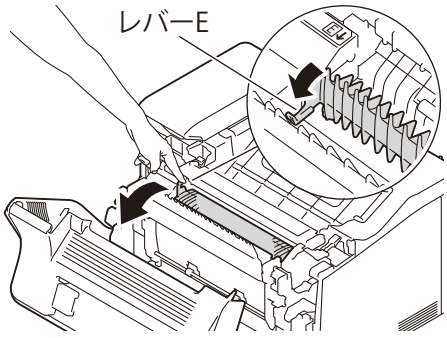
2. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを手前に引いて開けます。



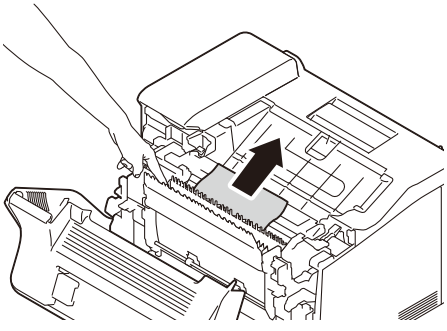
3. 定着ユニット両端奥の、図の位置にあるレバーを、手前に引いて起こします。



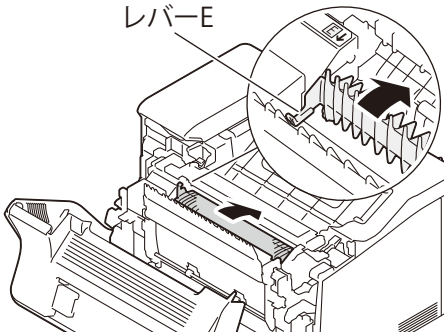
4. レバー E を手前に倒します。



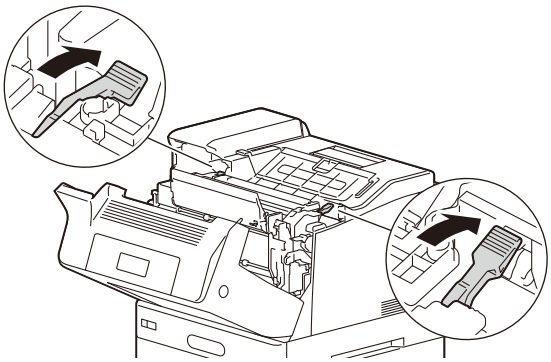
5. レバー E を倒したまま、詰まっている用紙を上方向に取り除きます。



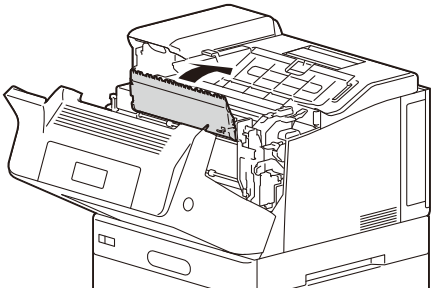
6. **レバー E から手を離します。**



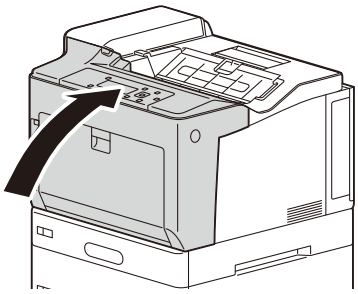
7. **手順 3 で起こした、定着ユニット両端奥のレバーを、奥に倒します。**



8. **両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを使って、カバーを閉じます。**



9. **フロントカバーを閉じます。**



紙詰まりが解決しない場合は、A レバーでフロントカバーを開けて内部に紙片が残っていないか確認してください。詳しくは、「フロントカバー内での紙詰まり（A レバー）」(P.132) を参照してください。

10.2　トラブルを解決する

本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

機器本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。
	本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。
パネルに何も表示されない	節電状態になっている可能性があります。操作パネルの⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。
異常な音がする	本機を安定した平面の上に移動してください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機内部に異物が入っている可能性があります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店またはMultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
本機内部に結露が発生する	スリープモードに移行する時間を 60 分に設定し、電源を入れたまま約 60 分間放置してください。本機内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • スリープモードに移行する時間については、「[スリープモード移行時間]」(P.77) を参照してください。 • 暖機運転モードについては、「[暖機運転モード]」(P.77) を参照してください。
節電状態に移行しない	次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 • 操作パネルで何らかの操作をしているとき • 消耗品や定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき • 紙詰まり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき • 故障などによりエラーが発生しているとき • ［暖機運転モード］が［有効］に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

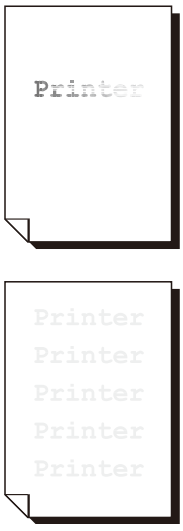
プリントのトラブル

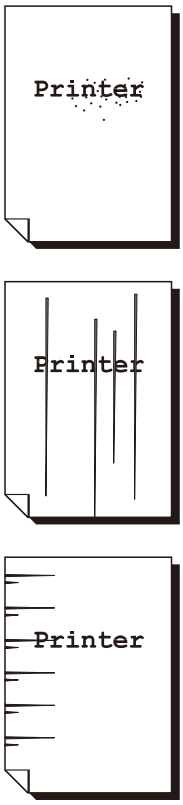
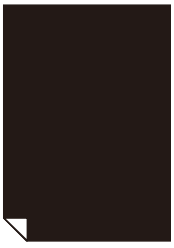
症状	原因 / 処置
[!]〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。 参照 • 詳しくは、「エラーコードが表示されたら」(P.147) を参照してください。
[!]〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 参照 • 詳しくは、「エラーコードが表示されたら」(P.147) を参照してください。
プリントを指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けている可能性があります。いったん電源を切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	本機がオフライン状態になっている可能性があります。 ||〈オンライン〉ボタンを押してください。
	メニューを設定している状態になっている可能性があります。 〈仕様設定〉ボタンを押してプリント画面を表示してください。
	使用するポートが起動されているかを確認してください。また、インターネットサービスでプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。 参照 • ポートについては、「[ネットワーク / ポート設定]」(P.67) を参照してください。 • プロトコルについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。プリントの中止、または残っているデータの強制排出をします。 ||〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、プリントを中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、[OK]ボタンを押してください。中止または強制排出が終わったら、もう一度||〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。 補足 • USB ポートを使用している場合、||〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによっては、ジョブデータの受信が途切れることがあります。ジョブデータの受信が途切れた場合、それ以降のプリントデータは[OK]ボタンを押したあとに新しいプリントジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとにプリントされます。またそのとき、正常にプリントされないことがあります。

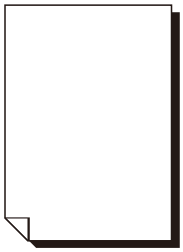
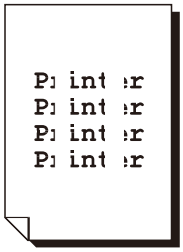
症状	原因 / 処置
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されているかを確認してください。 参照 • 詳しくは、「IP アドレスを設定 / 確認する」(P.21) を参照してください。
	受信制限の設定を確認してください。 参照 • 詳しくは、「[受付制限設定]」(P.75) を参照してください。
	1 度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。 受信バッファ容量の設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。 プリントデータが複数ある場合は、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの［メモリー設定］で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。 プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをおすすめします。 参照 • 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.85) を参照してください。
	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	用紙種類の設定で、［厚紙 1］、［厚紙 2］、［ラベル紙］、［コート紙 2］、［コート紙 3］、［はがき］、［封筒］を選択した場合や、プリンタードライバーの［印刷モード］で［高精細（文字 / 線）］を選択した場合は、通常の約半分のプリント速度になります。 また、連続運転をしていて、機械内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。 そのまま、連続運転をし続けたり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。 そのときは、電源を切って、しばらく待って本機内部の温度を下げてから、電源を入れ直してください。

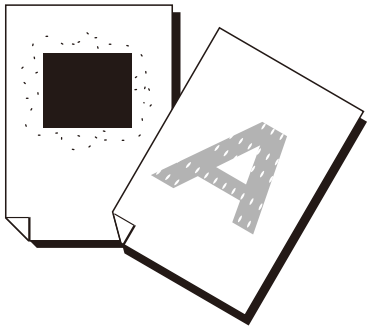
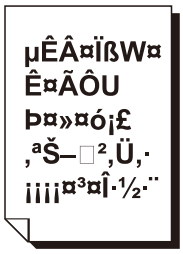
症状	原因 / 処置
プリントを指示していないのに、[プリントしています] が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、〈プリント中止〉ボタンを押して、プリントを中止してください。 補足 • 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.30) を参照してください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

画質のトラブル

症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	正しい用紙がセットされていることを確認してください。 参照 • 詳しくは、「用紙について」(P.29) を参照してください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 参照 • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.87) を参照してください。
	トナーセーブ機能が有効になっています。プリンタードライバーの [グラフィックス] タブの [トナー節約] で、[しない] を選んでください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

症状	原因 / 処置
黑点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する 	用紙搬送路に汚れが付着している場合があります。数枚プリントしてください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	たて方向の短い色筋の場合は、電源投入時の画質調整時間を延長するように設定すると、改善される可能性があります。操作パネルで設定を変更してください。この設定をすると、ウォームアップ時間が通常よりも長くなり、ドラムカートリッジの寿命が若干短くなります。 参照 • 詳しくは、「[画質調整時間延長]」(P.79) を参照してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	定着ユニットが劣化または損傷しています。 定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 参照 • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.87) を参照してください。
用紙全体がぬりつぶされてプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
白抜けや白筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。
	本機内部の光路（レーザー）部が汚れている可能性があります。 光路（レーザー）部を清掃してください。 参照 • 詳しくは、「光路（レーザー）部の清掃」(P.107) を参照してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • 詳しくは、「[暖機運転モード]」(P.77)、「[スリープモード移行時間]」(P.77) を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。 お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	現像器が劣化または損傷しています。現像器の状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	転写電圧を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。 参照 • 詳しくは、「[転写電圧オフセット調整]」(P.87) を参照してください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 参照 • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.87) を参照してください。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • 詳しくは、「[暖機運転モード]」(P.77)、「[スリープモード移行時間]」(P.77) を参照してください。
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を［常に TrueType フォントを使う］に設定してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.30) を参照してください。

症状	原因 / 処置
プリントの濃度や色味の再現性が悪くなった	操作パネルから階調補正チャートをプリントして、本機に付属の階調補正用色見本と比較し、必要に応じて、補正をしてください。 参照 • 詳しくは、「階調を補正する」(P.121) を参照してください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 • 詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.83) を参照してください。

トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいる可能性があります。 新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。 参照 • 詳しくは、「推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.30) を参照してください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイ 1 ～ 4 からトレイが正しく選択されない	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

症状	原因 / 処置
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 • 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 • 用紙を裏返してください。 • トレイ 1 ～ 4 を使用している場合は、手差しトレイを使用してください。
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブで［用紙トレイ選択］を［自動］にしていませんか。［トレイ 5(手差し)］を選択するか、［自動］の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 詳しくは、「[プリント設定]」(P.82) を参照してください。
手差しトレイから用紙を送った際、用紙の先端が折れる	用紙が湿気を含んでいる可能性があります。新しい用紙と交換してください。 • 手差しトレイの用紙セット枚数を 30 枚以下に減らしてください。 • 用紙のセット方向を変更してください。 • 用紙トレイ 1 ～ 4 から用紙を送ってください。

ネットワーク関連のトラブル

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN 接続が設定できない	［Wi-Fi 設定］が有効になっていることを確認してください。 参照 • 詳しくは、「[Wi-Fi 設定]」(P.67) を参照してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
WPS で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティー設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC（プッシュボタン方式）で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。 参照 • 無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください
WPS-PIN（PIN コード方式）で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。 参照 • PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の［グループロール］を［グループオーナー］にしてください。 参照 • 詳しくは、「[Wi-Fi Direct]」(P.68) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。 Wi-Fi Direct のパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断してください。
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。
	［IP 動作モード］が［IPv6］以外のモードに設定されていることを確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティーが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティーは正しく動作しません。

10.3　エラーコードが表示されたら

エラーが発生して操作が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

補足

- 次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合は、操作パネルに表示されたメッセージの説明に従ってください。表の記載や操作パネルに表示されたメッセージの説明に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
010-311 010-319 010-328 010-330 010-331 010-332 010-333 010-334 010-335 010-338 010-339 010-340 010-344 010-345 010-346 010-347 010-355	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-210 016-211 016-212 016-213 016-214 016-215 016-217 016-218 016-219 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	本機の認証機能でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-242	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-244	自己署名証明書が自動更新できませんでした。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
016-248 016-310 016-311 016-315 016-316 016-317 016-318 016-319 016-321 016-324 016-325 016-326 016-327 016-335 016-336 016-337 016-345 016-346 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351 016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-359 016-361 016-362 016-364 016-365 016-366 016-367 016-369 016-370 016-371 016-372 016-383 016-384	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-400	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なっています。	Ethernet1 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。	Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	Ethernet1 で、認証接続がタイムアウトになりました。	本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	Ethernet1 側のルート証明書が一致しませんでした。	認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の［IEEE 802.1x 設定］の［サーバー証明書検証］を［しない］にしてください。

エラーコード	原因	処置
016-404	Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を実行してください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。	証明書の初期化を実行してください。
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。	次のどれかの方法で処置してください。 • 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 • SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。	カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-421	本機から用紙トレイが取り外されました。	取り外した用紙トレイを本機に装着してください。
016-422 016-423	オフライン状態です。	次のどれかの方法で処置してください。 • ほかのメッセージが表示されている場合は、その処置をしてください。 • メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまでお待ちください。 それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-424 016-425	節電モード中です。	節電モードを解除してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なっています。	Ethernet2 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。	Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 で、認証接続がタイムアウトになりました。	本機の Ethernet2 と接続されている認証サーバーの設定や接続が正しいかを確認してください。
016-430	Ethernet2 側のルート証明書が一致しませんでした。	認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の［IEEE 802.1x 設定］の［サーバー証明書検証］を［しない］にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。	本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライント証明書として設定してください。SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選んでください。
016-438	エラーが発生しました。	ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-439	アップデート可能なファームウェアがあります。	対処は不要です。
016-443	結露が発生している可能性があります。	表示されたメッセージに従って、操作を行ってください。
016-450	SMB のホスト名が重複しています。	ホスト名を変更してください。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているかを確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。	ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。	SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-500 016-501	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-514	XPS 文書の処理中にエラーが発生しました。	XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバーを使用して印刷してください。 XPS 文書をダイレクトプリント（ContentsBridge Utility、E メールプリント、文書プリントなど）した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバーを使用して印刷してください。
016-515	XPS 文書の処理中にメモリーが不足しました。	次のどちらかの方法で処置してください。 • プリンタードライバーの［印刷モード］を［標準］にする • XPS Document Viewer からプリンタードライバー（ARTEX、PCL など）を使用して印刷する
016-516	XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。	プリントジョブを送信したアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。
016-517	PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。	PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-518	PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。	PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。

エラーコード	原因	処置
016-519	設定された印字可能な面数に達したため、終了しました。	機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。	LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。	本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。	LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機のインターネットサービスの［システム］＞［セキュリティー］＞［SSL/TLS 設定］の［LDAP-SSL/TLS 通信］を［無効］に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。	LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機のインターネットサービスの［システム］＞［セキュリティー］＞［SSL/TLS 設定］の［LDAP-SSL/TLS 通信］を［無効］に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。	本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機のインターネットサービスの［システム］＞［セキュリティー］＞［SSL/TLS 設定］の［LDAP-SSL/TLS 通信］を［無効］に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証内部エラーです。	ソフトウェアにエラーが発生しました。 お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-529	Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間（45 秒内）にサーバーから応答がありませんでした。	ネットワーク接続を確認してください。Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。Windows Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。	ファイルを確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。	DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。 接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。	ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	Remote Download ファイルをストレージへ書き込む際に、エラーが発生しました。 Remote Download サーバーから取得したファイルをストレージに書き込めません。	ストレージの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ストレージを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	ソフトウェアにエラーが発生しました。 お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）から削除されました。	認証先画面で認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。 ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）がインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとしました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-548	本機が ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）に登録されていません。	本機を ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）に登録してください。
016-553	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のバージョンを上げる必要があります。また、上げたバージョンに本機が対応していることを確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-554	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。
016-556	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。	サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を行ってください。 それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）を確認してください。
016-557	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の内部エラーです。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）を確認してください。
016-558	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）から不明なエラーを受信しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。	必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）間で通信エラーが発生しました。	ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、ApeosWare Authentication Agent の「サーバー名 / IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-562	アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の一時ユーザー用データベースに、同じ IC カードの情報を持つエントリーが複数見つかりました。	アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の一時ユーザーエントリーを、同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
016-564	Remote Download Server の認証に失敗しました。	Remote Download Server にアクセスしたときの、ユーザー名とパスワードを確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-567	バックアップ先の容量不足、またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリー不足です。	バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。
016-568	ストレージアクセスエラー、またはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。	バックアップファイルを削除してください。
016-569	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のエラーです。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-613	不正なアクセスを検知しました。	システム管理者に連絡し、監査ログで不正なアクセスが発生した時間を確認してください。 ネットワークケーブルを外してから本機を再起動し、正常に起動することを確認してください。
016-700	プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリント、または認証プリントの暗証番号の桁数が、本機に設定してある［蓄積時の暗証番号最小桁数］よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。	プリンタードライバーで設定する暗証番号は、本機に設定してある［蓄積時の暗証番号最小桁数］よりも大きい桁数を設定してください。
016-701	メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。	プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面や N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-702	プリントページバッファが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。	次のどちらかの方法で処置してください。 • プリンタードライバーで［印刷モード］を［標準］にする • プリンタードライバーで［ページ印刷モード］を利用する（ART EX のみ）
016-704	蓄積文書の最大文書数を超えました。	蓄積されている不要な文書を削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-705	本機用のプリンタードライバーを使用していません。	本機用のプリンタードライバーを使用してください。
016-706	セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えました。	蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーを削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-707	ストレージ（オプション）が故障しているため、サンプルプリントができませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-708	ストレージ（オプション）の領域が不足しているため、アノテーションができませんでした。	ストレージ（オプション）内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART EX 処理でエラーが発生しました。	プリントジョブを一度削除して、プリントし直してください。
016-710	ストレージ（オプション）が故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。	ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。
016-716	本機に蓄積できる容量を超えたため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。	本機内に蓄積されている不要な文書や登録ユーザーを削除するか、ストレージ（オプション）を装着してください。
016-718 016-719	メモリーが不足したため、PCL プリントデータを処理できませんでした。	解像度を低くしたり、両面や N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-720	PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-721	プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 (1) 操作パネルで［仕様設定］＞［機械管理者メニュー］＞［プリント設定］＞［用紙の優先順位］が、すべての用紙で［設定しない］に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している (2) ESC/P のコマンドエラー	• (1) の処置 自動トレイ選択でプリントする場合は、［用紙の優先順位］で、用紙のどれかを［設定しない］以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選ぶと、自動的に［用紙の優先順位］が［設定しない］に設定されてしまうので、注意してください。 • (2) の処置 プリントデータを確認してください。 参照 • 用紙の優先順位の設定については、「[用紙の優先順位]」(P.83) を参照してください。
016-726	プリントモード指定が［自動］の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）が取り付けられていない状態で、PostScript データを送信した可能性があります。	PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-727	プリント指示した結果、0 ページの文書になったため、蓄積できず、ジョブがキャンセルされました。	プリントオプションで、白紙節約をしないに設定して再度プリントするか、原稿が白紙でないかを確認し、白紙であれば文字を入れてプリントしてください。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。	プリントデータを確認してください。
016-729	TIFF ファイルの色数 / 解像度が有効範囲の上限を超えているためプリントできませんでした。	TIFF ファイルの色数 / 解像度を変更して、もう一度プリントデータを指示してください。
016-730	ART IV でサポートされていないコマンドを検知しました。	プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	TIFF データが途切れてプリントできませんでした。	もう一度プリントを指示してください。
016-732	エミュレーションで指定したフォームが、プリンター側に登録されていません。	フォームを再登録して、もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因	処置
016-738	PostScript で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。	製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-739	PostScript で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていません。	製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-740	PostScript で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。	製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-746	受信した PDF に、本機では対応していない機能が含まれています。	PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使ってプリントしてください。
016-748	ストレージ（オプション）の領域が不足しているため、プリントできません。	プリントデータを分割する、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなどで、プリントデータのページ数を少なくしてください。
016-749	本機でプリントできないプリント言語データを受信しました。	本機用のプリンタードライバーを使用してプリントしてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。 補足 • PostScript などプリントしたいプリント言語によっては、オプションが必要です。
016-750	ContentsBridge Utility などのファイルを直接送信してプリントするアプリケーションを使用している場合、PDF、XPS（XML Paper Specification）、DocuWorks とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していないプリント指示が含まれていました。	ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト（共通項目）、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-751	次の原因が考えられます。 (1) PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、または PDF ファイルの破損が発生しました。 (2) PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 (3) PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。	• (1) の処置 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 • (2) の処置 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。または、PostScript 使用メモリーを増やしてください。 • (3) の処置 OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。 参照 • 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.85) を参照してください。 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-752	メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。	PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で、印刷モードが［高画質］になっている場合は［標準］に、［標準］の場合は［高速］に変更してください。
016-753	パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。	ContentsBridge で、正しいパスワードを指定してください。
016-755	印刷禁止指定された PDF ファイルを処理しようとしました。	Adobe Acrobat を使用して、印刷禁止指定を解除して再プリントしてください。
016-756	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機にプリントできるユーザーとして登録されていません。	機械管理者に確認してください。
016-757	アカウント情報が間違っています。	入力したアカウント情報、または登録されているアカウント情報を確認して、やり直してください。
016-758	サービスを利用できる部門として登録されていません。	集計管理者にご相談ください。
016-759	サービスを利用できる上限ページ数に達しました。	集計管理者にご相談ください。
016-760	PostScript の処理中にエラーが発生しました。	次のどちらかの方法で処置してください。 • PostScript プリンタードライバーで、［印刷モード］を［標準］に設定する • PostScript 使用メモリーを増やす 補足 • PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。	本機用のプリンタードライバーで、［印刷モード］を［標準］にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、ページ印刷モードでプリントしてください。 参照 • ［印刷モード］/［ページ印刷モード］：プリンタードライバーのヘルプ
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。	ポート設定で、使用するポートのプリントモードに正しいプリント言語を指定してください。

エラーコード	原因	処置
016-792	「ジョブ別集計レポート」をプリントする場合に、指定したジョブの履歴が取得できませんでした。	指定されたジョブの履歴は存在しません。
016-798	ストレージ（オプション）が取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。	ストレージ（オプション）が必要です。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、用紙トレイ、両面指定などが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。	アプリケーション側のプリントデータとプリント設定を確認し、もう一度プリントを指示してください。また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。
017-501	プリントが許可されていません。	機械管理者に相談して、権限を変更してください。
017-531 017-532 017-533 017-534 017-535	本体の更新処理にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-546	ジョブが実行できません。	機械管理者がインターネットサービスを使用し、[システム] > [初期設定] > [PJL ファイルシステムコマンド] が [禁止] になっているかを確認してください。
017-552 017-553 017-554	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。	ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。	ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。	ThinPrint .print Engine のエラーの可能性があります。再度プリントすると成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信されたプリントデータが本機で扱える最大サイズを超えました。	ジョブを分割して、再度プリントしてください。
017-704	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。	ThinPrint .print Engine に登録しているサーバー証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。	本機の設定を確認してください。

エラーコード	原因	処置
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。	DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART-EX など）を使用してプリントしてください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。	強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名を確認してください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか • ネットワークケーブルが接続されているか
017-734	AirPrint などの処理中に、内部エラーが発生しました。	プリンタードライバーやほかのソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。	機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。	インターネットサービスの［システム］＞［ソフトウェアバージョンアップ設定］＞［ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード］で、［許可］が選択されているかを確認してください。
017-756	エラーが発生しました。	本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
017-760	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 （1）TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 （2）それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。	• （1）の処置 POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 • （2）の処置 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-761	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。	本機に正しい POP3 サーバーのサーバー証明書を登録してください。
017-762	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-763	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-764	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。	正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-765	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。

エラーコード	原因	処置
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 (1) TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 (2) それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。	• (1) の処置 POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 • (2) の処置 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。	本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。	正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。
017-780	プリントジョブの追い越しを［許可］に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。	特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、操作パネルで［仕様設定］＞［機械管理者メニュー］＞［システム設定］＞［プリントジョブの追越］を［禁止］にしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。	認証方式を［事前共有鍵］に設定した場合はパスワード、［デジタル署名による認証］に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。	認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止の設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	各インターフェイスを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。	各インターフェイスに別々の IP アドレスを設定し直してください。
018-407	各インターフェイスを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。	各インターフェイスに別々の IP アドレスを設定し直してください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因	処置
018-409	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412 018-413	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-424	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。	本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-425	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。	証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-426	WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。	• サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 • 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。	Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	無線 LAN アダプタ（オプション）が正しく接続されていません。	本機の電源を切り、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられていることを確認してください。
018-429	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。

エラーコード	原因	処置
018-431	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-433	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-435	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。	本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-439	[Wi-Fi 設定] の SSID が［アドホック］に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。	操作パネルで［仕様設定］＞［機械管理者メニュー］＞［システム設定］＞［ネットワーク / ポート設定］＞［Wi-Fi 設定］の SSID を［インフラストラクチャ］に変更してください。
018-440	[IP 動作モード] が［IPv6 モード］に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。	[IP 動作モード] を［デュアルスタック］または［IPv4 モード］に変更してください。
018-441	[Wi-Fi 設定] の［帯域］が［5GHz］に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。	操作パネルで［仕様設定］＞［機械管理者メニュー］＞［システム設定］＞［ネットワーク / ポート設定］＞［Wi-Fi 設定］＞［帯域］を［自動］または［2.4GHz］に変更してください。
018-443	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-444	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-452	POP 受信中にエラーが発生しました。	インターネットサービスから、POP 設定をやり直してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。	サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。	ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。

エラーコード	原因	処置
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。	もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。	ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。	認証サーバーの状態を確認してください。
018-533	不正な形式のメールを受信しました。	メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメールが残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受信するか、削除してください。
018-534	LDAP サーバーのデータベースから取得した認証用ユーザー名の属性または IC カード認証に使用する属性が、32 文字を超えました。	LDAP サーバーのデータベース上に定義されている、認証用ユーザー名の属性値または IC カード認証に使用する属性値が、32 文字を超えないよう修正してください。
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。	LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。	もう一度、認証操作を行ってください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。	しばらくしてから、もう一度同じ操作を行ってください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。	環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 • 本機の IPv4 アドレスを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認する • DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 • 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているかを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認する • IPv6 ルーターが正しく設定されているかを確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で使用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで使用できる認証方式と一致するものがありません。	次のどれかの方法で処置してください。 • Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。 • 本機の FIPS 認証モードを解除してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。	パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。	IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。

エラーコード	原因	処置
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。	IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないかを確認してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。	次のどれかの方法で処置してください。 • KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録する • KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新する • 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認する
021-210 021-211 021-212	IC カード読み取り装置（オプション）にエラーが発生しました。	IC カード読み取り装置（オプション）の接続を確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、IC カード読み取り装置（オプション）が故障している可能性があります。壊れていない IC カード読み取り装置（オプション）を取り付けて、もう一度電源を入れなおしてください。
021-213	インターネットを使用する関連商品の単価テーブルの設定に問題があります。	機械管理者がインターネットサービスを使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ～ 9999999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。
021-214 021-360 021-361	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-401	設定した数より多い IC カード読み取り装置（オプション）などの認証機器が差し込まれました。	差し込んだ認証機器を抜いてください。
021-402	プロキシサーバー名のアドレス解決に失敗しています。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-403	EP 運用センター、または EP 通信集約サーバーソフトウェアのアドレス解決に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-404	サーバーの電源が切れていたなどの理由により、サーバーまたはプロキシサーバーに接続できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定（BB-Direct 構成の場合） 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-405	外部サーバーとの SSL 通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-406	外部サーバーの SSL 証明書が正しくありません。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-407	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシサーバーの認証に失敗しました。(HTTP ステータスコード 407 を受信)	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバーの認証ユーザーを確認する • EP プロキシサーバーの認証パスワードを確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-408	インターネットを使用する EP システムとの通信で通信タイムアウトが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定（BB-Direct 構成の場合） 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-409	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-410 021-411	インターネットを使用する EP システムとの通信で認証局 (CA) との通信時 (EP 証明書取得時) に通信エラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定（BB-Direct 構成の場合） 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-412	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー URL 設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-413	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-414	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP クライアント証明書発行局または EP プロキシサーバーから応答を受信できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-415	インターネットを使用する EP システムとの SSL/TLS 通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-416	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-417	インターネットを使用する EP システムとの通信で EP プロキシサーバーの認証に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバー URL 設定 • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-418	プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。	HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-419	EP システムとの通信に使用する、プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。	HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-420	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイル取得通信時に通信タイムアウトが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • サブネットマスク設定を確認する • インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認する • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシーサーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-421	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの取得通信時にエラーが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • DNS サーバーアドレス設定を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認する • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシーサーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-422	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルが見つかりませんでした。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、HTTP サーバーにプロキシ設定ファイルが登録されていない可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-423	プロキシ設定ファイルのサイズが大きすぎたため、プロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、プロキシ設定ファイルのサイズを確認してください。64 KB を超えている場合は、この大きさに収まるように修正します。
021-424	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシサーバーと通信するための、プロキシ設定ファイルの URL 情報が間違っています。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク管理者に確認し、プロキシ設定ファイルの URL が正しいか確認する。または下記のとおり、DHCP サーバーか DNS サーバーのプロキシ設定ファイルの URL 情報を確認します。 • DHCP オプションが 252 になっているか確認する • wpad.（ドメイン名）ホストの SRV レコードが正しいか確認する
021-425	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの URL 情報（CURL）を取得する通信時に DHCP サーバーまたは DNS サーバーと通信タイムアウトしました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • DNS サーバーアドレス設定を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • EP プロキシサーバー設定（CURL）を確認する • プロキシ設定ファイルの URL 情報を登録した DHCP または DNS サーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-426	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシ設定ファイル URL 情報（CURL）を取得するための通信時に DHCP サーバーまたは DNS サーバー上に URL 情報（CURL）が見つかりませんでした。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバー設定を確認する • DHCP サーバーまたは DNS サーバーにプロキシ設定ファイルの URL 情報が正しく登録されているかを確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-441	EP 証明書の取得時にエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定
021-501	インターネットを使用する EP システムとの通信に失敗しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-502	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-503	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-504	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-505	EP サーバーとの SSL/TLS 通信に失敗しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-506	EP サーバーのサーバーの SSL 証明書が正しくありません。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-507	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-508	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-509	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-510	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	EP システムの契約期間を確認してください。
021-511 021-512 021-513 021-514	EP サーバーで、本機がすでに設定されています。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-515 021-516	EP サーバーでの本機の設定が正しくありません。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-517 021-518 021-519	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-520 021-521 021-522	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 BB-Direct 構成の場合は、次の確認をしてください。 • EP プロキシサーバー設定 これらの設定を確認しても状態が改善しない場合は、ネットワーク障害または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-523	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	SOAP ポートを起動して、電源を切って、入れ直してください。
021-524 021-525 021-526 021-527 021-528	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-529	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、すでに最新バージョンのソフトウェアになっています。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-530 021-531	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。

エラーコード	原因	処置
021-532 021-533 021-534 021-535	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、ソフトウェアバージョンアップができません。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-536	ソフトウェアに最新の設定が反映されていません。	本機を再起動してソフトウェアを最新の状態にしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-538	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。	機械管理者に相談してください。
021-539	ソフトウェアバージョンアップの予約日時に本機を使用中だったため、バージョンアップを実行できませんでした。	機械管理者に相談してください。
021-540	ソフトウェア更新ファイルのダウンロード中に本機の電源が切られたため、ソフトウェアの更新処理に失敗しました。	必要に応じ、再度操作してください。
021-541	本機の動作設定不正のため、ソフトウェアの更新機能を実行できませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-542 021-543	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-545	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	EP システムの契約期間を確認してください。
021-582	ソフトウェアのバージョンアップが、何らかの一括設定 / 取得処理と干渉することを検知しました。	仕様設定メニューを終了してから、本機の画面を操作せずに最大 5 分程度待ち、再度ソフトウェアのバージョンアップを行ってください。 状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-700	USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。	USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-701	USB インターフェイスにエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度操作するか、USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
023-500 024-321 024-322 024-323 024-367 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
024-700	オプション機能を利用するために必要なストレージ（オプション）が取り付けられていません。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
024-701	指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。	組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	[システム設定] で [紙づまり時の処理] を [プリント中止] に設定しているときに、紙詰まりが発生しました。	詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-704	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
024-705	指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。	本機に登録されているテンプレートを選びます。
024-707	用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。	用紙の種類を変更するか、片面プリントに変更してください。
024-708	用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。	用紙の種類を変更するか、おもて面プリントに変更してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせできない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面のどれか）が指定されました。	プリントデータを確認してください。
024-747	原稿サイズ、用紙サイズ、用紙トレイ、両面プリント、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
025-596 025-597	ストレージ（オプション）にエラーが発生しました。	ストレージ（オプション）を交換する必要があります。
026-400	USB ホストポートに 3 つ以上の機器が接続されています。	接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。	DocuWorks Viewer からプリンタードライバーを使用してプリントしてください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。	ContentsBridge Utility の印刷モードが［高画質］になっている場合は［標準］に、［標準］の場合は［高速］に変更してください。または、DocuWorks Viewer からプリンタードライバーを使用してプリントしてください。
026-706	印刷禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしました。	DocuWorks Viewer を使用して印刷禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。	[プリント言語の設定] > [XDW（DocuWorks)] > [パスワード]、または ContentsBridge で、正しいパスワードを指定してください。

エラーコード	原因	処置
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。	次のどれかの方法で処置してください。 • メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 • 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-724 026-725	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。	指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
027-442 027-443 027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。	本機 IPv6 の「IPv6- 手動設定 IP アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 の IPv6 アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。	SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-501	POP サーバーに接続できませんでした。	POP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。	インターネットサービスから POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。
027-701	本機からネットワークケーブルが抜けています。	ネットワークケーブルが抜けていることを確認し、ケーブルを接続し直してください。
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。	送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。	送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。	送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。	送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。

エラーコード	原因	処置
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。	送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するように設定されていません。	送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するように設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。	送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。	DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。	連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携に失敗しました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。	連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先のステータスが不明になりました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。

エラーコード	原因	処置
027-757	次の原因が考えられます。 (1) サーバーとの通信でエラーが発生しました。 (2) 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 (3) SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 (4) 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしました。 (5) SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 (6) サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。	• (1) の処置 ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 • (2) の処置 本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザーで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 • (3) の処置 本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないかを確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 • (4) の処置 本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているかを確認してください。対応してない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 • (5) の処置 本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 • (6) の処置 本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。	指定したパラメーターを確認してください。
027-763	外部のアカウンティングサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。	次のどれかの方法で処置してください。 • 外部アカウンティングサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているかを確認する • ネットワークに障害がないかを確認する • ネットワークケーブルを正しく接続する • 本機の設定を確認する
027-796	メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。	メール本文やメールヘッダー情報などもプリントする場合は、インターネットサービスのプロパティ画面で、設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。	正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
029-704	Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの形式が無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
029-705	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
029-706	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-707	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときにエラーになり、ファイルが見つかりませんでした。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-708	Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL が無効です。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-709	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-710	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	ネットワーク管理者に相談して、DHCP サーバーに PAC ファイルの URL 情報が登録されているかどうかを確認してください。
029-711	Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルが無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
029-712	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
029-713	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-714	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-715	Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL が無効です。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
029-716	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
029-717	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-731	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルが無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。

エラーコード	原因	処置
029-732	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバーアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-733	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバーアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-734	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-735	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL が無効です。	インターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-736	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-737	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
041-310 041-318 041-321 041-322 041-340 041-500 041-501 042-323 042-329 042-335 042-347 042-348 042-398 043-322 045-310 045-311 059-324 060-310 061-340 061-346 062-500 063-500	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
071-452	トレイ 1 が開いています。	トレイ 1 を閉じてください。
071-461	トレイ 1 が正しく動作していません。	トレイ 1 が確実に取り付けられていることを確認してください。
072-310 072-311	トレイ 2（オプション）が故障しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
072-452	トレイ 2（オプション）が開いています。	トレイ 2（オプション）を閉じてください。
072-461	トレイ 2（オプション）が正しく動作していません。	トレイ 2（オプション）が確実に取り付けられていることを確認してください。
073-310 073-311	トレイ 3（オプション）が故障しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
073-452	トレイ 3（オプション）が開いています。	トレイ 3（オプション）を閉じてください。
073-461	トレイ 3（オプション）が正しく動作していません。	トレイ 3（オプション）が確実に取り付けられていることを確認してください。
074-310 074-311	トレイ 4（オプション）が故障しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
074-452	トレイ 4（オプション）が開いています。	トレイ 4（オプション）を閉じてください。
074-461	トレイ 4（オプション）が正しく動作していません。	トレイ 4（オプション）が確実に取り付けられていることを確認してください。
077-322 077-323	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
077-327	規定の数よりも多い用紙トレイモジュールか、ほかの機種の用紙トレイモジュールが接続されました。	本機の電源を切り、余分な用紙トレイモジュールを外してください。

エラーコード	原因	処置
077-328 078-500 091-312	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
091-407	ドラムカートリッジ［K］（ブラック）にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ［K］（ブラック）を一度抜いて、再度挿入してください。
091-417	ドラムカートリッジ［Y］（イエロー）にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ［Y］（イエロー）を一度抜いて、再度挿入してください。
091-427	ドラムカートリッジ［M］（マゼンタ）にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ［M］（マゼンタ）を一度抜いて、再度挿入してください。
091-437	ドラムカートリッジ［C］（シアン）にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ［C］（シアン）を一度抜いて、再度挿入してください。
092-316 092-317	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
092-318	プリントでエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［Y］（イエロー）を交換してください。
092-319	プリントでエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［M］（マゼンタ）を交換してください。
092-320	プリントでエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［C］（シアン）を交換してください。
092-321	プリントでエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［K］（ブラック）を交換してください。
093-314 093-315 093-316 093-317 093-318 093-319 093-320 093-325	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
093-329	トナーカートリッジにエラーが発生しました。	適切なトナーカートリッジを入れ、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
093-426	トナーカートリッジ［K］（ブラック）にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［K］（ブラック）を一度抜いて、再度挿入してください。
093-427	トナーカートリッジ［Y］（イエロー）にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［Y］（イエロー）を一度抜いて、再度挿入してください。
093-428	トナーカートリッジ［M］（マゼンタ）にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［M］（マゼンタ）を一度抜いて、再度挿入してください。
093-429	トナーカートリッジ［C］（シアン）にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ［C］（シアン）を一度抜いて、再度挿入してください。

エラーコード	原因	処置
094-310 094-311 094-320 094-321 102-311 102-312 102-313 102-314 102-315 102-316 102-317 102-318 102-319 102-356	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-220	ダウンロードモードへの移行に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
116-312 116-313 116-314 116-315 116-317 116-319 116-321 116-323 116-324 116-325 116-330 116-331 116-332 116-334 116-336 116-337 116-340	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-342	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
116-343 116-348 116-349 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368 116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-383 116-384 116-385	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-388	ストレージ（オプション）が取り付けられていません。	ストレージ（オプション）を取り付けてください。
116-389 116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-399	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。	ストレージ（オプション）を取り付けてください。
116-702	代替フォントでプリントされました。	プリントデータを確認してください。
116-703	PostScript でエラーが発生しました。	次のどれかの方法で処置してください。 • プリントデータを確認してください。 • PostScript 使用メモリーの割り当てを増やしてください。
116-710	受信データが HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。	HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。	用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因	処置
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。	不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	蓄積できる領域がいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。	不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。	不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ストレージ（オプション）を取り付けている場合は 2048 で、ストレージ（オプション）を取り付けていない場合は 64 です。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。	登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。	不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。	不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。	用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	ART IV 用のメモリー、またはストレージ（オプション）の容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。	不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	プリントデータに本機の制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。	不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ストレージ（オプション）を取り付けている場合は 2048 で、ストレージ（オプション）を取り付けていない場合は 64 です。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。	不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV 用のメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。	メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。	登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。	ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因	処置
116-748	HP-GL/2 のプリントデータに描画データがありません。	プリントデータを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。	フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの用紙トレイに不具合があります。	バナーシートの用紙トレイを正常な状態に戻すか、バナーシートの用紙トレイを変更してください。
116-751	蓄積できる領域の容量がいっぱいで処理が中止されました。	蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。	もう一度同じ操作を行ってください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	データに含まれるパラメーターに問題があったため、自動修正しました。	ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	受信したメールの添付文書に問題があります。	添付文書を確認してください。
117-311 117-312	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-319 117-320 117-321 117-322 117-323 117-324 117-326 117-327 117-329 117-331 117-332 117-333	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-334	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-339	不揮発性メモリーのバックアップが見つかりませんでした。	新しいストレージ（オプション）を本体から取り外し、直前のストレージ（オプション）を取り付けてください。電源を切ると、不揮発性メモリがバックアップされます。
117-340	ストレージ（オプション）が無効です。	正しいストレージ（オプション）または未フォーマットのストレージ（オプション）を取り付けてください。
117-345	データ設定中です。	処理が終わるまで電源を切らずにお待ちください。
117-347 117-352 117-353 117-355 117-357 117-358	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
117-360	日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。電源再投入後、正しい値を設定してください。
117-362 117-363	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-364	暗号鍵情報は無効です。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-365	Wi-Fi 診断でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-367	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-373	データの変換に失敗しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-375	ストレージ（オプション）の暗号化に失敗しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-376	ストレージ（オプション）の暗号化に失敗しました。次の原因が考えられます。 • ストレージ（オプション）暗号化で不正な鍵が使用された • ファイルシステムが破損している • ストレージ（オプション）が故障している	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-379	エラーが発生しました。	ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。接続できる状態にして、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-380	ファームウェアの署名検証に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-381	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-382	ファームウェアの署名検証に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-383 117-384 117-385 117-386 117-387 118-310	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-311	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	IC カード読み取り装置（オプション）を接続している場合は、［システム設定］＞［認証の設定］＞［認証情報設定］＞［IC カードの使用］が［する］に変更されます。必要に応じて、設定を変更してください。
121-312 121-313	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、［システム設定］＞［認証 / 集計の設定］を［外部認証 / 集計］以外の設定にしてください。

エラーコード	原因	処置
121-314 121-316 121-317 121-318 121-322 121-323	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-325	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはMultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
121-328	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-329 121-330 121-331 121-332 121-334 121-335 121-336 121-337 121-338 121-340 121-341 121-342 121-343 121-350 121-370	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320 124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-326	エラーが発生しました。	画面の指示にしたがって情報を入力してください。

エラーコード	原因	処置
124-327 124-329 124-332 124-335 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355 124-356 124-357	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-359	エラーが発生しました。	本機が再起動するまでお待ちください。
124-360 124-361 124-362 124-363 124-367 124-368 124-369 124-370 124-371 124-372 124-373 124-374 124-375 124-376 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-701 124-702	ほかの機種のプリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。	本機用のプリンタードライバーを使用してください。
124-708	用紙が、指定したトレイとは別のトレイに排出されました。	両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた可能性があります。 指定したサイズの用紙が、用紙トレイにセットされているかを確認してください。

エラーコード	原因	処置
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。	操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選択して排出されます。
124-717	プリント速度が遅くなりました。	ジョブが完了するまでお待ちください。
125-311 127-310 127-314 127-315 127-353 127-398 127-399 132-315 178-500	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

11 オプション製品の取り付け

最新の情報については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

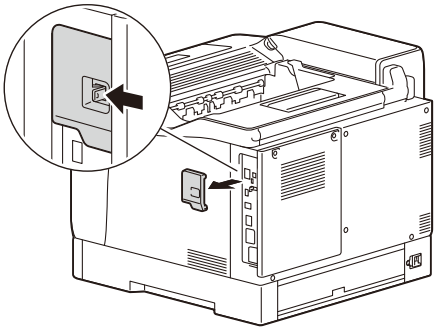
11.1 無線 LAN アダプタの取り付け

1. 本機の電源を切ります。

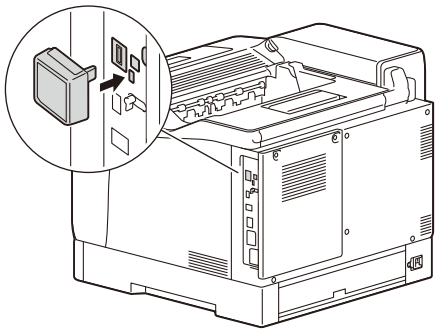
参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.16) を参照してください。

2. 無線 LAN アダプタソケットのカバーを取り外します。

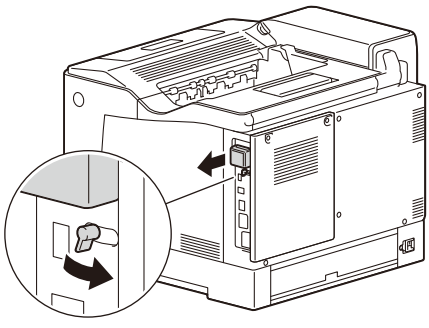


3. 無線 LAN アダプタのコネクターを無線 LAN アダプタソケットに差し込みます。



補足

- 無線 LAN アダプタを取り外す場合は、ロックレバーを引いて、無線 LAN アダプタを取り外してください。



4. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、無線 LAN アダプタが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

5. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
6. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
8. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
9. **［Wi-Fi 有効 / 無効］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
10. **▶またはOKボタンを押します。**
    ［Wi-Fi 有効 / 無効］が表示されます。
11. **［有効］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
12. **OKボタンを押します。**
13. **〈仕様設定〉ボタンを押します。**
    本機が自動的に再起動します。

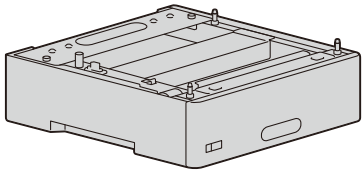
11.2　トレイモジュールの取り付け

ここでは、トレイモジュールを 3 段（トレイ 2 ～ 4）取り付ける場合を例に説明します。

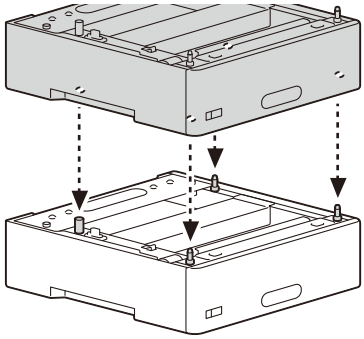
補足

- トレイモジュールは 3 段まで本機に取り付けられます。

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**
2. **一番下になるトレイモジュールを設置場所に置きます。**
   トレイモジュールを 1 段だけ取り付ける場合は、手順 11 に進みます。



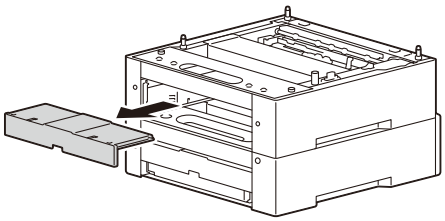
3. **上下のトレイモジュールの角を合わせ、下のトレイモジュールのガイドピン 4 か所が上のトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。**



注記

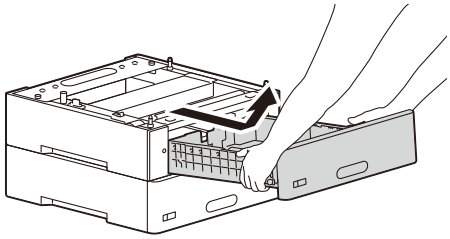
- トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないように注意してください。

4. **上のトレイモジュールの背面から、ダストカバーを取り外します。**

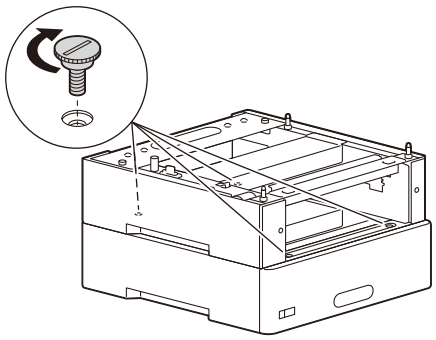


5. **上のトレイモジュールのトレイを止まるまで手前に引き出します。**

6. **用紙トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、トレイモジュールから取り外します。**



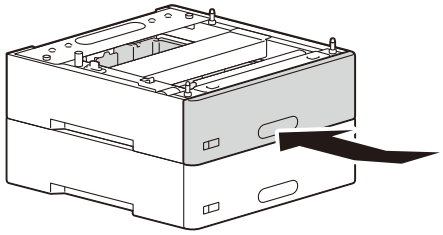
7. **トレイモジュールに付属のネジ 4 本を、上のトレイモジュールの内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、上のトレイモジュールを下のトレイモジュールに固定します。**



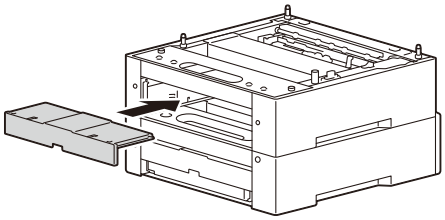
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

8. **用紙トレイをトレイモジュールに差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**

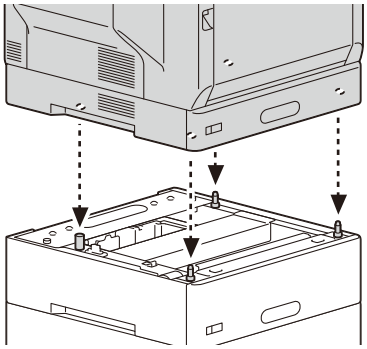


9. **ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。**



10. **さらにトレイモジュールを取り付ける場合は、手順 3 ～ 9 を繰り返します。**

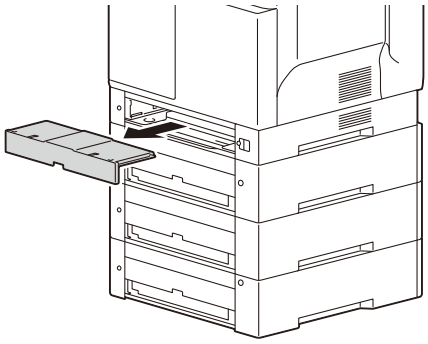
11. **本機を持ち上げ、トレイモジュールのガイドピン 4 か所が本機底面の穴に入るように、ゆっくりと下ろします。**



注記

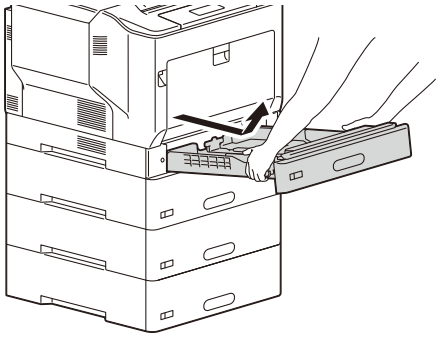
- 本機は、必ず 3 人以上で持ち上げてください。
- 本機を下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

12. **トレイ 1 の背面から、ダストカバーを取り外します。**

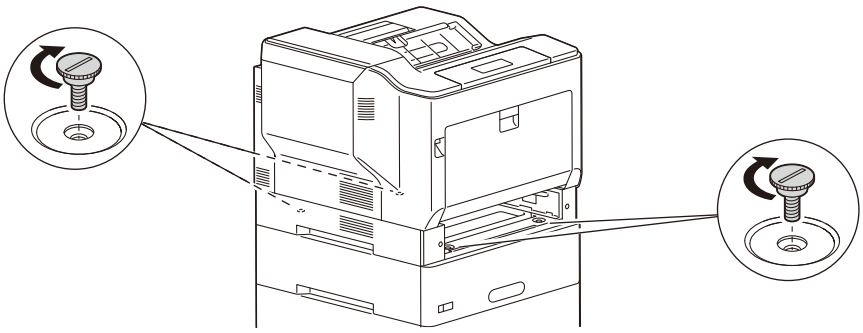


13. **トレイ 1 を止まるまで手前に引き出します。**

14. **トレイ 1 を両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。**



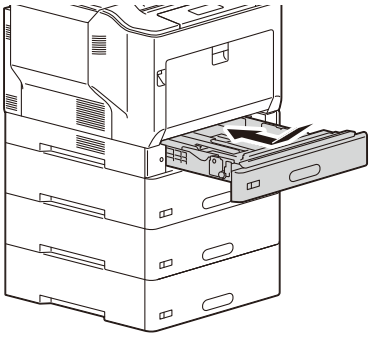
15. **トレイモジュールに付属のネジ 4 本を、トレイ 1 の内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、本機をトレイモジュールに固定します。**



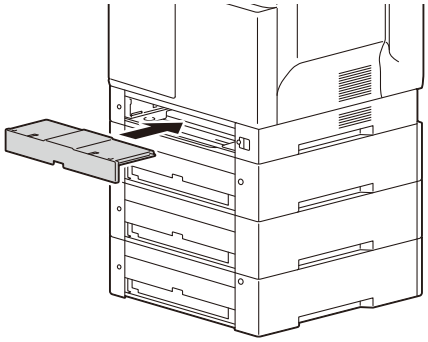
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

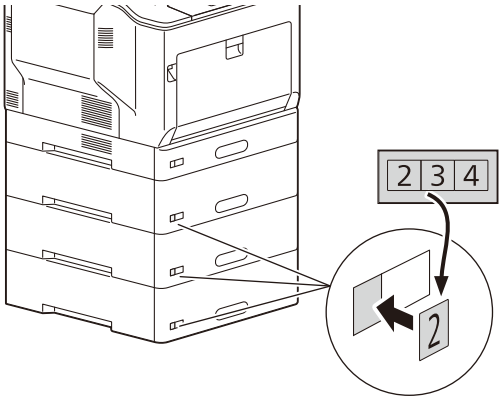
16. **トレイ 1 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



17. **ダストカバーをトレイ 1 に取り付けます。**



18. **追加したトレイに、機械の構成に合わせてラベルを貼ります。**



19. **電源コードを接続します。**

20. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、トレイモジュールが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。
- トレイモジュールの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプションの設定をする」(P.24) を参照してください。

11.3　専用キャビネットの取り付け

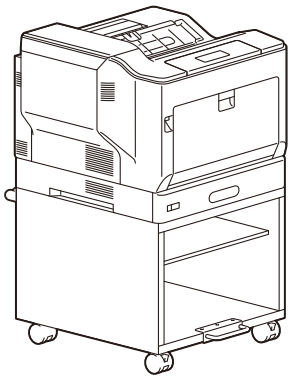
専用キャビネットの取り付け例

専用キャビネットは、本機の直下、および別オプションのトレイモジュールに取り付けて、次の図のような構成で使用できます。

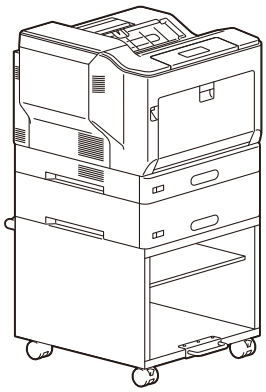
補足

- トレイモジュール（オプション）は、高さが増えることによる転倒を防止するため、専用キャビネットの上に 1 段だけ取り付け可能です。

専用キャビネットのみ



トレイモジュール（1 段）と専用キャビネット

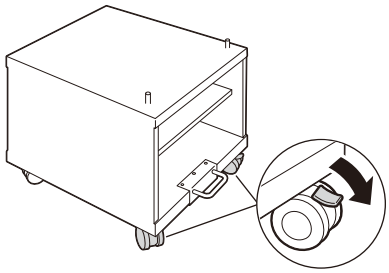


取り付け手順

専用キャビネットを本機の直下に取り付ける場合を例に説明します。トレイモジュール（オプション）に取り付ける場合も、手順は同じです。次の手順の「本機」を「トレイモジュール」に読み替えてください。

1. 〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

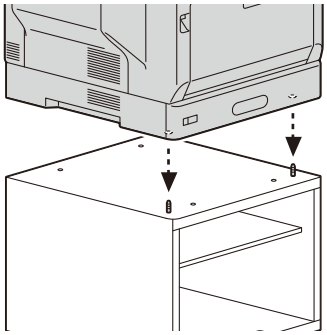
2. 専用キャビネットを平らな場所に置き、前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。



注記

- ストッパーをロックしないと、思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

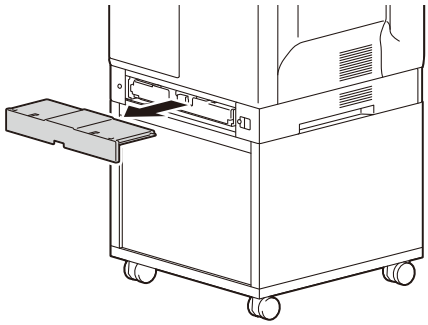
3. 本機と専用キャビネットの角を合わせ、専用キャビネットの 2 つのガイドピンが、本機の底面にある穴に入るように静かに下ろします。



注記

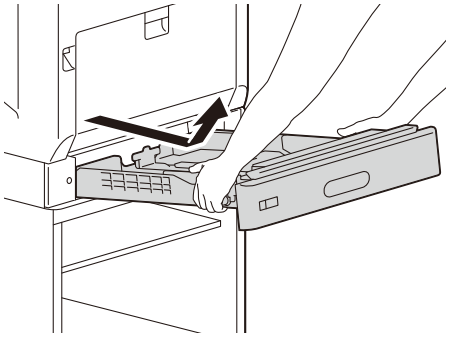
- 本機は、必ず 3 人以上で持ち上げてください。
- 本機を専用キャビネットの上に下ろすとき、指を挟まないように注意してください。

4. トレイ 1 の背面から、ダストカバーを取り外します。



5. トレイ 1 を止まるまで手前に引き出します。

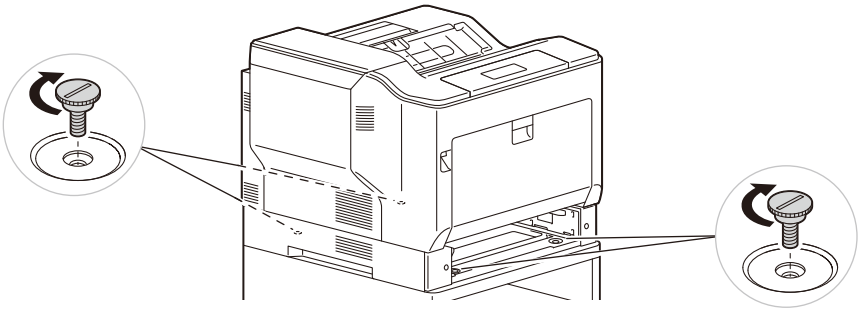
6. **トレイ 1 を両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。**



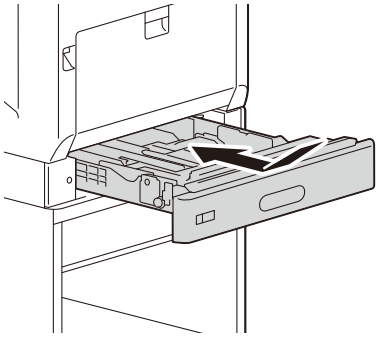
7. **専用キャビネットに付属のネジ 4 本を、トレイ 1 の内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、本機を専用キャビネットに固定します。**

補足

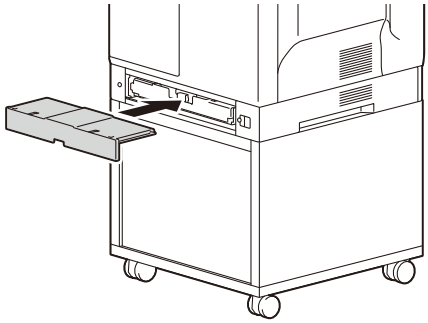
- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。



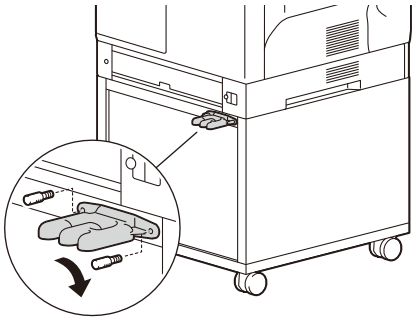
8. **トレイ 1 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



9. **ダストカバーをトレイ 1 に取り付けます。**

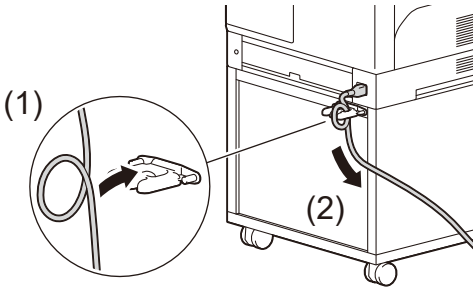


10. ケーブルフックを、付属のネジで専用キャビネットの背面に取り付けます。



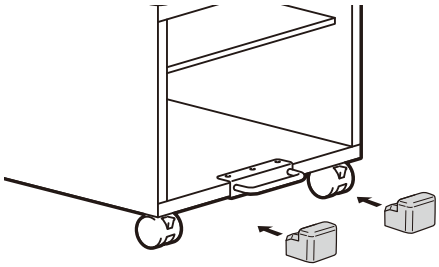
11. 電源コードを、本機背面の電源コード接続部に差し込みます。

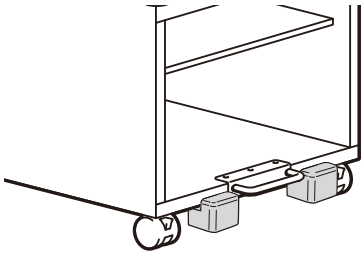
12. 電源コードで輪を作り、ケーブルフックの溝に通し（1）、電源コードがたるまないように軽く引きます（2）。



13. 電源コードのもう片方を、コンセントに差し込みます。

14. 転倒防止キットを、前面のキャスターの脇に差し込みます。





15. 〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

11.4　専用キャスタ台の取り付け

注記

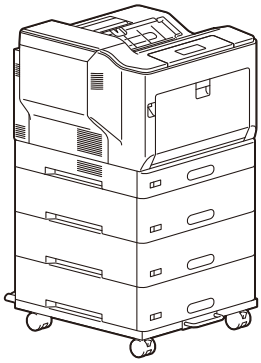
- 本機を持ち上げるときは、本機正面（操作パネル側）に向かって左右両側の、下方にあるくぼみに 3 人で手をかけ、しっかりと持ってください。指示した場所以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。
- 本機を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

- 本機の設置後に専用キャスタ台を取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

専用キャスタ台の取り付け例

専用キャスタ台は、本機の直下、および別オプションのトレイモジュールに取り付けることができます。また、トレイモジュールと組み合わせる場合は、次の図のような構成で使用できます。

トレイモジュール（最大 3 段）と専用キャスタ台

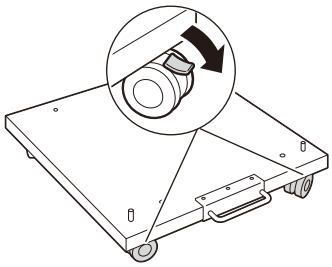


取り付け手順

トレイモジュール（オプション）に専用キャスタ台を取り付ける場合を例に説明します。

本機の直下に取り付ける場合も、手順は同じです。以下の手順の「トレイモジュール」を「本機」に読み替えてください。

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**
2. **専用キャスタ台を平らな場所に置き、前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。**



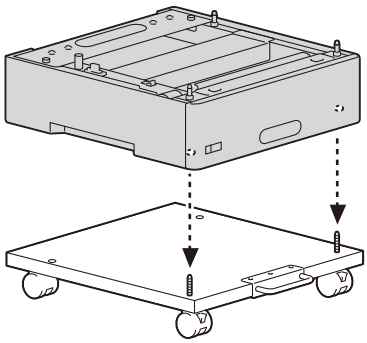
注記

- ストッパーをロックしないと思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

補足

- 専用キャスタ台は、取っ手が付いているほうを前面にしてください。

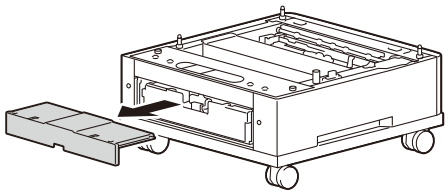
3. **トレイモジュールと専用キャスタ台の角を合わせ、専用キャスタ台の 2 つのガイドピンが、トレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。**



注記

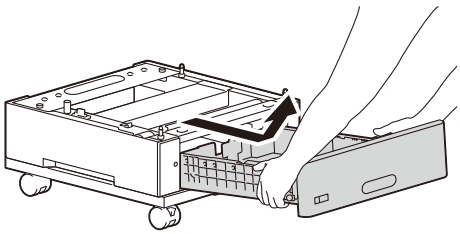
- トレイモジュールを専用キャスタ台の上に下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

4. **トレイモジュールの背面から、ダストカバーを取り外します。**

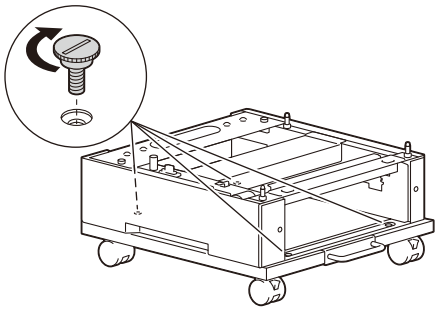


5. **トレイモジュールのトレイを止まるまで手前に引き出します。**

6. **トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、トレイモジュールから取り外します。**



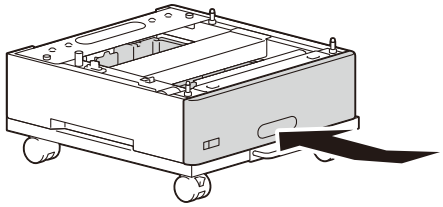
7. **本機に付属の 4 つのネジを、トレイモジュールの内側にある 4 つの穴に差し込んでしっかり締め、トレイモジュールを専用キャスタ台に固定します。**



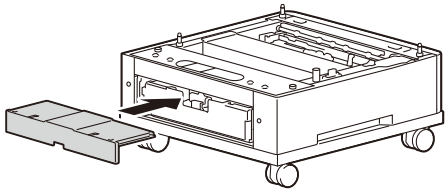
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

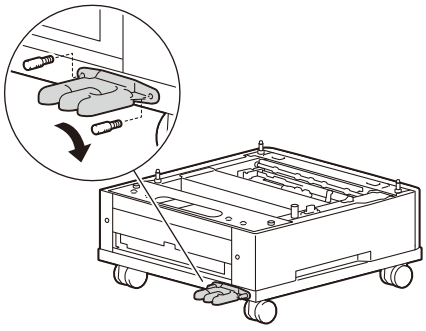
8. **用紙トレイをトレイモジュールに差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



9. **ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。**



10. **ケーブルフックを、付属のネジで専用キャスタ台の背面に取り付けます。**



11. **トレイモジュール（2 段以上取り付ける場合）、または本機を取り付けます。**

注記

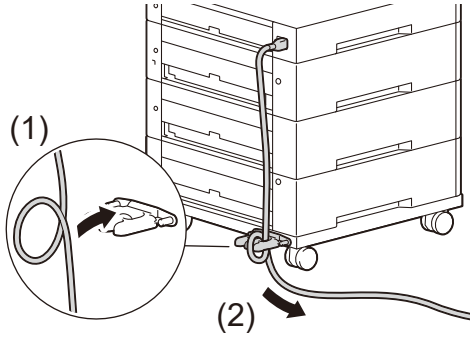
- 本機は、必ず 3 人以上で持ち上げてください。

参照

- 取り付け手順については、「トレイモジュールの取り付け」(P.189) を参照してください。

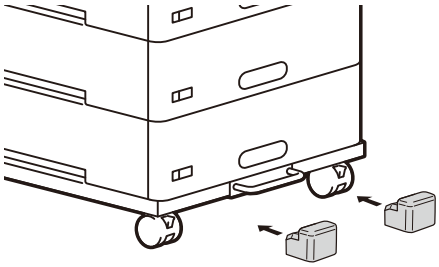
12. 電源コードを、本機背面の電源コード接続部に差し込みます。

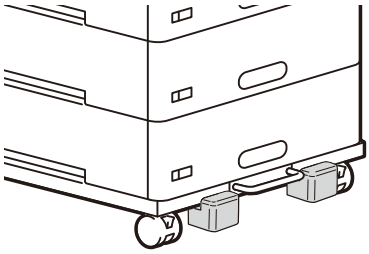
13. 電源コードで輪を作り、ケーブルフックの溝に通し（1）、電源コードがたるまないように軽く引きます（2）。



14. 電源コードのもう片方を、コンセントに差し込みます。

15. 転倒防止キットを、前面のキャスターの脇に差し込みます。





16. ⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

11.5　ストレージの取り付け（Color MultiWriter 3C550 のみ）

ストレージを取り付けると、次の機能が利用できます。

増設すると有効になる機能	増設すると機能が向上する機能
• フォントダウンロード • セキュリティ拡張キット（ペーパーセキュリティー機能） • IPSec の証明書機能 • 外部認証の認証情報キャッシュ機能 • ThinPrint 機能 • IC カード読み取り装置の使用	• フォームなどの登録数 • スプール容量 • ログ採取数 • 電子ソート

注記

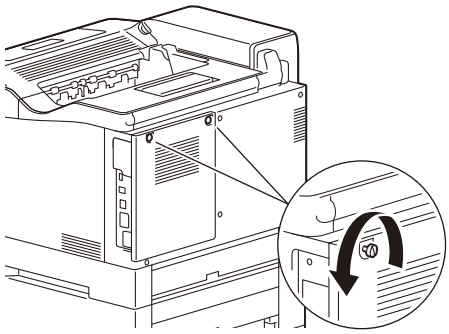
- 一度取り付けたストレージは、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

1. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

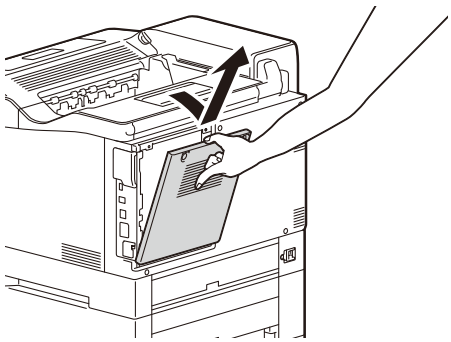
注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

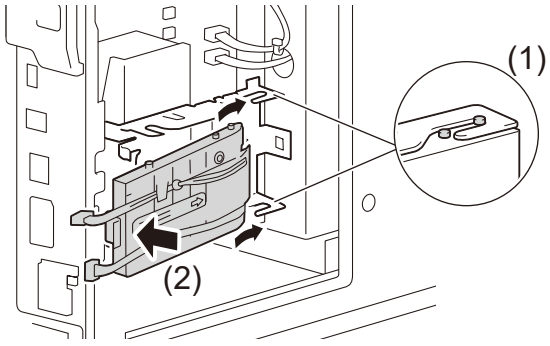
2. 背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。



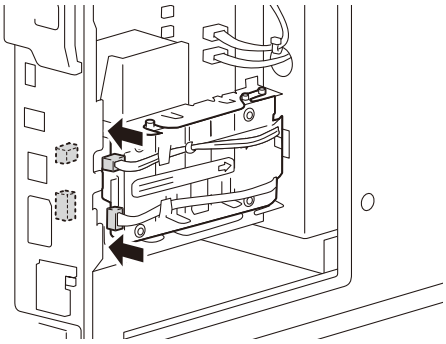
3. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



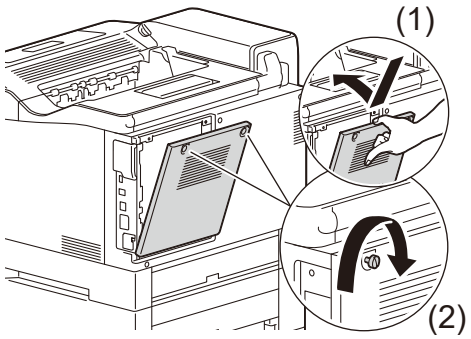
4. ストレージの突起部をフレームのくぼみに正しくはめて（1）、コネクターケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます（2）。



5. **ストレージのコネクターケーブルを、コントローラーボード上のコネクターに接続します。**



6. **背面カバーを戻し、ネジで 2 か所を固定します。**



注記

- 背面カバーは、図の（1）のとおり下に押し付けながら閉めてください。

7. **電源コードを接続します。**

8. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、ストレージが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

11.6　ソフトウェアオプションの有効化（Color MultiWriter 3C550 のみ）

本機は次のソフトウェアオプション製品を利用できます。

- PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）
- セキュリティ拡張キット

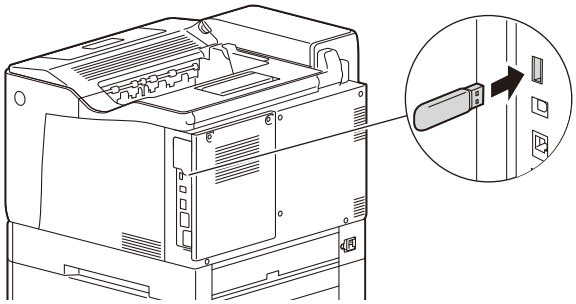
補足

- セキュリティ拡張キットの機能を利用するには、ストレージ（オプション）が必要です。

1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

2. **ソフトウェアキットを用意します。**

3. キャップを外し、本機背面の USB コネクター（上側のタイプ A）に挿入します。



注記

- 挿入したソフトウェアキットは、設定が完了するまで取り外さないでください。

4. 電源コードを接続します。

5. 〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

これで、ソフトウェアキットのインストール準備は完了です。

続けて、操作パネルで、ソフトウェアキットの機能を有効に設定します。

6. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

7. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、▼ボタンを押します。

8. ▶または OK ボタンを押します。

[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

9. [システム設定] が表示されるまで、▼ボタンを押します。

10. ▶または OK ボタンを押します。

[音の設定] が表示されます。

11. [ソフトウェア オプション] が表示されるまで、▼ボタンを押します。

12. ▶または OK ボタンを押します。

[有効化] が表示されます。

補足

- [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、ソフトウェアキットが正しく取り付けられていません。ソフトウェアキットを取り付け直してください。

13. OK ボタンを押します。

[[OK] で有効化開始] が表示されます。

14. OK ボタンを押します。

有効化処理が終了すると、[有効化しました] と表示され、自動的に本機が再起動します。

15. ソフトウェアキットを取り外します。

補足

- [機能設定リスト] をプリントすると、ソフトウェアオプションが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

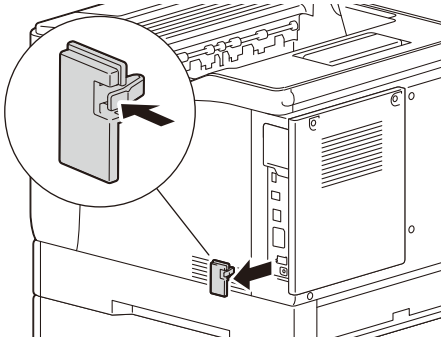
11.7　セカンダリーイーサネットカードの取り付け

1. **⏻/☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

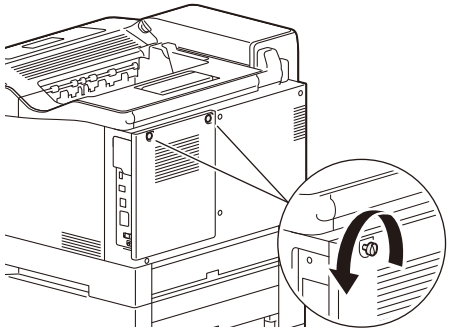
注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

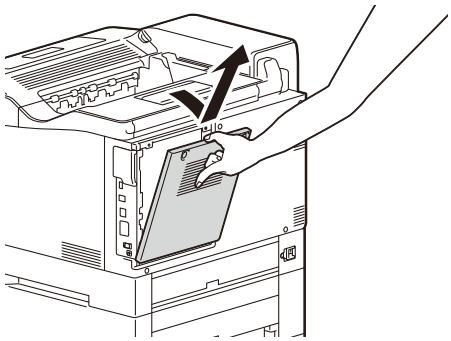
2. **つまみを押しながら、イーサネットコネクターカバーを取り外します。**



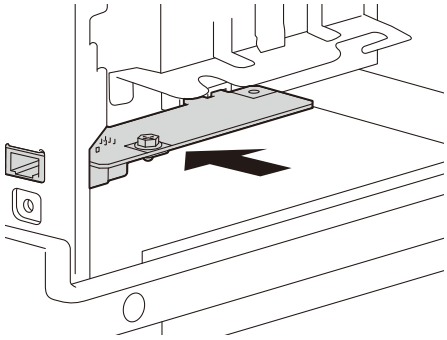
3. **背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。**



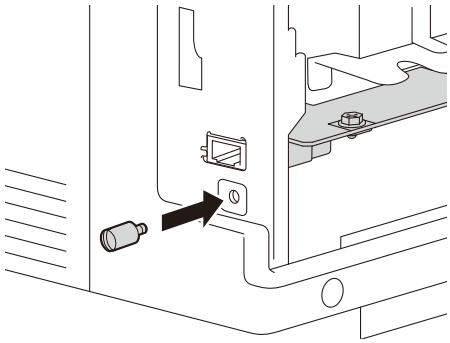
4. **背面カバーを、手前に引いて取り外します。**



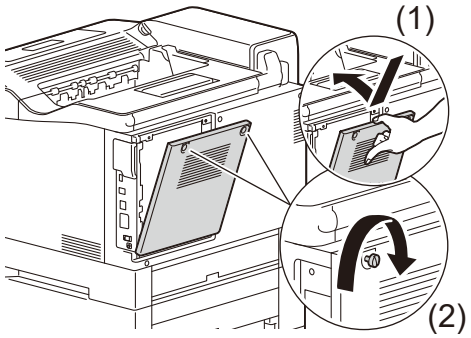
5. **セカンダリーイーサネットカードをコントローラーボードのコネクターに差し込みます。**



6. **付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットカードを固定します。**



7. **背面カバーを戻し、ネジで 2 か所を固定します。**



注記

- 背面カバーは、図の（1）のとおり下に押し付けながら閉めてください。

8. **電源コードを接続します。**

9. **⏻/🌙〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、セカンダリーイーサネットキットが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

12 付録

12.1 主な仕様

項目			Color MultiWriter 3C550	Color MultiWriter 3C530
型番			PR-L3C550	PR-L3C530
形式			デスクトップ	
プリント方式			レーザー電子写真	
ウォームアップ時間 *1			27 秒以下（電源投入時、室温 23 ℃）(スリープモード時は 13 秒以下 *2)	27 秒以下（電源投入時、室温 23 ℃）(スリープモード時は 12 秒以下 *2)
連続プリント速度 *3	片面		A4▭: カラー 35 頁 / 分、モノクロ 35 頁 / 分、A3：カラー 19 頁 / 分、モノクロ 19 頁 / 分	A4▭: カラー 30 頁 / 分、モノクロ 30 頁 / 分、A3：カラー 17.2 頁 / 分、モノクロ 17.2 頁 / 分
	両面		A4▭: カラー 25 頁 / 分、モノクロ 25 頁 / 分、A3：カラー 12.8 頁 / 分、モノクロ 12.8 頁 / 分	A4▭: カラー 21 頁 / 分、モノクロ 21 頁 / 分、A3：カラー 10.6 頁 / 分、モノクロ 10.6 頁 / 分
ファーストプリント時間 *4			A4▭: カラー 9.1 秒、モノクロ 7.9 秒	A4▭: カラー 9.9 秒、モノクロ 8.3 秒
解像度	標準		【ART EX ドライバ】 標準：600×600 dpi*5、高画質：600×600 dpi*5、高精細：1200×1200 dpi*6	
	オプション *7		【PostScript ソフトウェアドライバ】 高速（標準）：600×600 dpi*5、高画質：600×600 dpi*5、高精細：1200×1200 dpi*6	−
階調 / 表現色			各色 256 階調（1670 万色）	
用紙サイズ *8	標準	標準トレイ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17"、リーガル、レター、ユーザー定義用紙（幅 210 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）	
		手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、A6、B6、11×17"、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）、封筒（長形 3 号、洋長形 3 号、洋形 2 号、洋形 4 号）、ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm× 長さ 98 ～ 1200 mm）*9、長尺紙 A（297×900 mm）、長尺紙 B（297×1200 mm）	
	オプション		トレイモジュール：A3、B4、A4、B5、A5、11×17"、リーガル、レター、ユーザー定義用紙（幅 210 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）*9	
	像欠け幅		先端 / 後端 / 左右端：4.1 mm	
用紙坪量 *8	標準	標準トレイ	60 ～ 216 g/m²	
		手差しトレイ	60 ～ 216 g/m²	
	オプション		トレイモジュール：60 ～ 175 g/m²	

項目			Color MultiWriter 3C550	Color MultiWriter 3C530
最大給紙容量 *10	標準	標準トレイ	310 枚	
		手差しトレイ	210 枚	
	オプション		トレイモジュール：670 枚（670 枚 ×1 段）	
	最大		2530 枚（標準＋トレイモジュール ×3 段）	
最大排紙容量 *10	標準		270 枚（フェイスダウン）	
両面機能			標準	
CPU			ARM 1.1 GHz	
メモリ容量			2 GB（最大 2 GB）	
ストレージ *11			3.6 GB、82 GB（オプション）	−
搭載フォント	標準		日本語 2 書体（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5）、欧文 85 書体、OCR-B フォント *12、バーコードフォント *13	
	オプション *7		日本語 2 書体（平成：平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5）、欧文 136 書体、OCR-B フォント *12	−
コマンド体系	標準		ART EX	
	オプション *7		Adobe® PostScript® 3 ™	−
エミュレーション			ART IV、ESC/P*14、PCL5、PCL6、PC-PR201H（カラー対応）、HP-GL*15、HP-GL/2*15、HP RTL*15、TIFF、PDF、XPS（XML Paper Specification）、DocuWorks 文書（XDW）	
対応 OS*16	標準		【ART EX ドライバ】 Windows 11（64 ビット） Windows 10（64 ビット） Windows 10（32 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット） Windows Server 2012 R2（64 ビット） Windows Server 2012（64 ビット）	
			【macOS ドライバ】 macOS 13 / 12 / 11 / 10.15 / 10.14	
	オプション		【PostScript ソフトウェアドライバ】 Windows 11（64 ビット） Windows 10（64 ビット） Windows 10（32 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット） Windows Server 2012 R2（64 ビット） Windows Server 2012（64 ビット） macOS 13 / 12 / 11 / 10.15 / 10.14	
インターフェイス	標準		イーサネット（1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T）、USB3.0	
	オプション		イーサネット（1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T）、IEEE 802.11a/b/g/n	

項目		Color MultiWriter 3C550	Color MultiWriter 3C530
対応プロトコル		TCP/IP（IPv4/IPv6、lpd、IPP、Port9100、WSD（Web Services on Devices）、Thin Print）	TCP/IP（IPv4/IPv6、lpd、IPP、Port9100、WSD（Web Services on Devices））
電源 *17		AC100 V±10%、15 A、50/60 Hz 共用	
騒音 *18		稼働時：6.86 B、53.1 dB（A） レディー時：3.03 B、13.9 dB（A）	稼働時：6.73 B、51.7 dB（A） レディー時：3.03 B、13.9 dB（A）
消費電力 *19	最大	1178 W*20	1171 W*20
	平均	レディー時：76 W 稼動時：カラー 746 W、モノクロ 573 W スリープモード時：0.7 W 以下 *21	レディー時：76 W 稼動時：カラー 670 W、モノクロ 520 W スリープモード時：0.7 W 以下 *21
エネルギー消費効率 *22		83 kWh/ 年 区分：プリンター A	70 kWh/ 年 区分：プリンター A
外形寸法		幅 554.5× 奥行 538*23× 高さ 453 mm	
質量		約 45.0 kg（消耗品含む）、約 40.4 kg（消耗品含まず）	
使用環境		動作時：10 ～ 32 ℃、15 ～ 85%（結露しないこと）、 非使用時（保管時）：-10 ～ 40 ℃、5 ～ 85%（結露しないこと）	

*1 :当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。
*2 :1 時間後に再起動をかけた場合。1 時間後でもご使用の条件によっては、記載値を超える場合があります。
*3 :同一原稿連続プリント時。郵便はがき（日本郵便製）、厚紙等の用紙種類、サイズやプリント条件によっては、プリント速度が低下します。また、画質調整のため、プリント速度が低下する場合があります。
*4 :本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
*5 :多値制御により 9600 dpi 相当 x 600 dpi の印刷が行えます。
*6 :1200×1200 dpi 時の連続プリント速度は半分の速度になります。
*7 :オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
*8 :推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「絵入りはがき」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
*9 :幅 297 mm までの場合は、長さ 420 mm まで。幅 279.4 mm までの場合は、長さ 432 mm まで可能です。
*10:坪量 70 g/m² 用紙使用時の値です。
*11:実際のストレージ容量と異なる場合があります。
*12:OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。
*13:バーコードフォントの種類は、CODE39、JAN、NW-7(CODABAR)、CODE128、ITF(Interleaved 2 of 5) ベアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。OCR-B フォント、バーコードフォントは ART IV、ESC/P エミュレーションで対応。
*14:VP1000 エミュレート＋カラー対応。
*15:HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、全てのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。
*16:最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
*17:推奨コンセント容量。機械側最大電流：15 A。
*18:ISO7779 に基づき測定。単位 B: 音響パワーレベル（L_{WAd}）、単位 dB（A）: 放射音圧レベル（バイスタンダ位置）。
*19:本体起動時の瞬間的ピークを除いた時の数値です。最大消費電力はフル構成時。
*20:標準構成時は Color MultiWriter 3C550 が 1152 W、Color MultiWriter 3C530 が 1144 W です。
*21:標準構成、初期設定時。
*22:省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。
*23:A4 使用時。手差しトレイを折りたたんだ本体のみ。A3 使用時は奥行 610 mm になります。

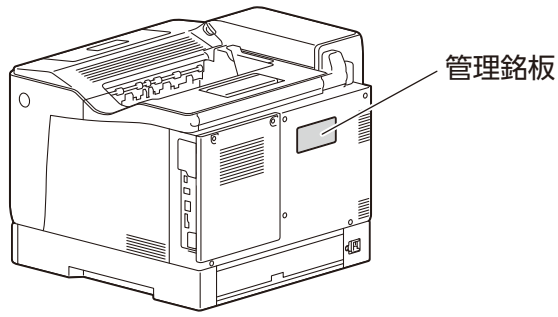
12.2　保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店またはMultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

補足

- 本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守

  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理

  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack

  PrinterSupportPack は、プリンターの障害復旧に必要なハードウェア保守を提供する保守パッケージ商品です。

  詳しくは、「https://jpn.nec.com/printer/laser/support/psp/outline/index.html」を参照してください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング（株）
スポット保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *3	修理料＋出張料	そのつど清算	

*1 :受付窓口の所在地、連絡先などは「https://www.fielding.co.jp/per/index.html」をご覧いただくか、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
*2 :保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー (個人番号) は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー (個人番号) を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせて頂きます。
*3 :本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、「https://jpn.nec.com/printer/laser/support/」をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、Color MultiWriter 3C550 は印刷枚数 90 万枚、Color MultiWriter 3C530 は印刷枚数 60 万枚、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

補足

- 印刷枚数は、A4□の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。なお、商品の性能維持のために有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。

12.3　消耗品、定期交換部品の寿命について

～製品本来の性能でお使いいただくために～

消耗品は NEC 純正品のご使用をおすすめします

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するように、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。

本機の性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、**NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします。**

NEC 純正消耗品以外の消耗品 *1 を使用した場合、印刷品質低下等の不具合や本機の故障が発生した事例があります。*2

以下の場合、**無償保証期間内や保守契約期間内であっても**保証書・保守契約・PrinterSupportPack に基づく修理はいたしません。**別途有償修理対応となります**。ご使用にあたってはご留意願います。

- NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、本機に不具合や故障が発生した場合。
- NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、印刷品質低下等の不具合が発生した場合。

*1 :NEC 純正消耗品以外の消耗品にはトナーを再充填した再生消耗品も含みます。
*2 :すべての NEC 純正消耗品以外の消耗品で故障が起こるわけではありません。

消耗品の寿命について

品名		プリント可能ページ数	消耗品型番
機種共通	ドラムカートリッジ (ブラック)	約 24000 ページ	PR-L9100C-31
	ドラムカートリッジ (カラー) ※ ドラムカートリッジ (カラー) はカラー各色共通で、シアン、マゼンタ、イエローすべてのドラムカートリッジを交換する場合は 3 本必要です。	約 24000 ページ	PR-L9100C-35
	トナー回収ボトル	約 24000 ページ	PR-L9100C-33
Color MultiWriter 3C550	トナーカートリッジ (ブラック)	約 7000 ページ	PR-L9560C-14
	トナーカートリッジ (イエロー)	約 6000 ページ	PR-L9560C-11
	トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 6000 ページ	PR-L9560C-12
	トナーカートリッジ (シアン)	約 6000 ページ	PR-L9560C-13
	大容量トナーカートリッジ (ブラック)	約 15000 ページ	PR-L9560C-19
	大容量トナーカートリッジ (イエロー)	約 10000 ページ	PR-L9560C-16
	大容量トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 10000 ページ	PR-L9560C-17
	大容量トナーカートリッジ (シアン)	約 10000 ページ	PR-L9560C-18
Color MultiWriter 3C530	トナーカートリッジ (ブラック)	約 6000 ページ	PR-L9160C-14
	トナーカートリッジ (イエロー)	約 5000 ページ	PR-L9160C-11
	トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 5000 ページ	PR-L9160C-12
	トナーカートリッジ (シアン)	約 5000 ページ	PR-L9160C-13
	大容量トナーカートリッジ (ブラック)	約 10000 ページ	PR-L9160C-19
	大容量トナーカートリッジ (イエロー)	約 9000 ページ	PR-L9160C-16
	大容量トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 9000 ページ	PR-L9160C-17
	大容量トナーカートリッジ (シアン)	約 9000 ページ	PR-L9160C-18

注記

- トナーカートリッジについて
  JIS X 6932（ISO/IEC 19798）に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF にともなう初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
  プリント可能ページ数は、A4、片面プリント、像密度各色 5%（温度 23 ℃、湿度 55%）、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF にともなう初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより大きく異なることがあります。
- トナー回収ボトルについて
  プリント可能ページ数は、A4、片面プリント、像密度各色 5%（温度 23 ℃、湿度 55%）、カラー・モノクロ比率 5：5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。

- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

補足

- 本機お買い上げ時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は次のとおりです。
  - Color MultiWriter 3C550
    ブラック 約 7000 ページ
    カラー 約 6000 ページ
  - Color MultiWriter 3C530
    ブラック 約 6000 ページ
    カラー 約 5000 ページ

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、適切な処理が必要です。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店または EP カートリッジ回収センターにお渡しください。

有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

品名	部品名	交換寿命
100K キット	定着ユニット	約 100000 ページまたは通電時間 5000 時間のどちらか早い方
	二次転写ユニット	
	ベルトユニット	
	現像器キット（ブラック）	
	用紙搬送ロール（トレイ用）	
	用紙搬送ロール（手差しトレイ用）	
カラー現像器キット	現像器キット（イエロー）	約 100000 ページ
	現像器キット（マゼンタ）	
	現像器キット（シアン）	
トリクルユニット *1	トリクルユニット	約 600000 ページ
用紙搬送ロールキット	用紙搬送ロール（トレイ用）*2	約 100000 ページ

*1 :Color MultiWriter 3C550 のみ
*2 :オプションのトレイモジュール用 3 個

補足

- 交換の周期は、A4□の普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境、などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因をある仮定に基づきプリントページ数に置き換えて表示しているためです。
  定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。
  定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。
  無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。
- 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。

節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。
詳しい情報については、お買い求めの販売店、または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくると［交換依頼］のメッセージが表示されます。本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

プリントできます 定着ユニット交換	プリントできます 交換依頼 ***-***

(***-***）にはエラーコードが表示されます。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、お買い求めの販売店、または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	品名	推奨交換周期 （寿命の目安）
−	定着ユニットの交換時期です。	定着ユニット	約 100000 ページ
092-402	トリクルユニットの交換時期です。*1	トリクルユニット	約 600000 ページ
093-417	現像器 K の交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ
093-414	現像器 Y の交換時期です。	カラー現像器キット	約 100000 ページ
093-415	現像器 M の交換時期です。	カラー現像器キット	約 100000 ページ
093-416	現像器 C の交換時期です。	カラー現像器キット	約 100000 ページ
094-417	二次転写ユニットの交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ
094-419	ベルトユニットの交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ

*1 :トリクルユニットの交換は、Color MultiWriter 3C550 のみです。Color MultiWriter 3C530 の場合は、装置寿命になります。

補足

- 交換の周期は、A4の普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因をある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。
- 有寿命部品（定期交換部品、有償）はエンジニアによる交換作業となります。
- 定着ユニットの場合、エラーメッセージだけ表示されます。エラーコードは表示されません。エラーメッセージについては、「エラーコードが表示されたら」(P.147) を参照してください。

消耗品および補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

使用済みカートリッジ回収について

方法 1

- 直接回収
  使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1 本からでも、弊社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先
  EP カートリッジ回収センター
  TEL：0120-30-6924 FAX：0120-30-8049
  E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp
- 受付時間
  9:00 ～ 17:00（土・日・祝日を除く）

方法 2

- お持ち込みいただく場合
  お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

補足

- 回収を希望されないトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいますようお願い申し上げます。

12.4　情報サービスについて

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談、修理受付、使い方相談に関する窓口等、最新情報をホームページで提供しています。

URL：https://jpn.nec.com/printer/laser/support/

MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理受付窓口	保守契約（サポートパック含む）されているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。 （契約後 担当営業または登録窓口よりご案内） 受付時間：年中無休 24 時間
	保守契約されていないお客様	NEC プリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552 受付時間：9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日 ※ 土・日・祝日および当社所定の休日を除く。 ※ 携帯電話・PHS からでもご利用になれます。 （電話番号をよくお確かめの上おかけください。）
使い方相談		

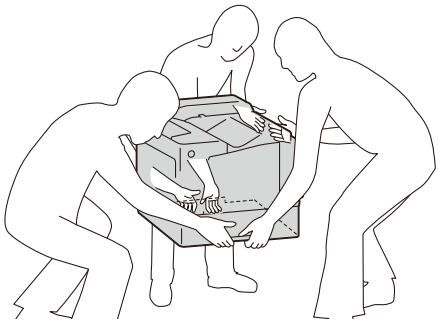
12.5　本機を移動するときは

本機を移動するときは、次の手順で行ってください。

1. **本機の電源を切ります。**
2. **電源コード、インターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。**
3. **トレイを引き出し、トレイにセットされている用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やほこりに触れない場所に保管します。**
4. **トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。**
5. **本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。**

注記

- 必ず 3 人以上で持ち運んでください。



補足

- 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

12.6 最新ソフトウェアを入手する

プリンタードライバー、ユーティリティーなどの、最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。次の URL にアクセスし、ダウンロードしてください。

https://jpn.nec.com/printer/laser/download/

12.7 ファームウェアを最新バージョンに更新する

Windows コンピューターから実施

ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）の最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。次の URL にアクセスし、コンピューターにダウンロードしてください。

https://jpn.nec.com/printer/laser/download/

ダウンロードしたファイルを実行し、本機に送信してファームウェアを最新にできます。

補足

- 通信費はお客様負担になりますことを、ご了承ください。

本機から実施

インターネット上のファームウェアサーバーに本機のファームウェアより新しいバージョンがある場合は、本機のファームウェアを最新に更新します。

ネットワーク環境の確認

本機がインターネット上のファームウェアサーバーと通信できるように設定をする必要があります。設定を行う前にお客様のネットワーク環境の以下項目をご確認ください。

1. 本機の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス
2. DNS サーバーアドレス
3. プロキシサーバー導入の有無

プロキシサーバーが導入されている場合のみ以下を確認

- プロキシサーバーの設定方法

直接指定、プロキシ設定ファイル（PAC ファイル）による自動設定、または設定ファイル自動検出のどれかを確認

※ プロキシ設定ファイル（PAC ファイル）による自動設定の場合は、プロキシサーバー設定を自動構成するための設定ファイル（Proxy Auto Config ファイル）の URI 形式アドレス

※ 直接指定の場合のみ以下を確認

＜プロキシサーバー（HTTPS）＞

1. アドレス *1/ ポート番号
2. 認証有無
3. 認証有りの場合、ログイン名 / パスワード

*1：プロキシサーバーの IP アドレスまたは FQDN 名（Fully Qualified Domain Name: 絶対ドメイン名）の確認

＜プロキシサーバー（HTTP）＞

HTTPS と異なる場合のみ以下を確認

1. アドレス *1/ ポート番号
2. 認証有無
3. 認証有りの場合、ログイン名 / パスワード

*1：プロキシサーバーの IP アドレスまたは FQDN 名（Fully Qualified Domain Name: 絶対ドメイン名）の確認

※ ネットワーク内で以下の設定を行っている場合、ファームウェア手動更新機能は使用できません。

- 特定の通信ポートを閉じている場合
  HTTPS 通信ではポート番号 443、HTTP 通信ではポート番号 80 番を使用します。
- インターネット上の特定のサーバー（IP アドレス）との通信のみに制限している場合。

プロキシサーバーの設定

プロキシサーバーが導入されているお客様は、プロキシサーバーの設定方法により、以下のいずれかで設定してください。

直接指定の場合

■ EP プロキシサーバーの設定（HTTPS）

上記の確認項目を元に設定してください。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。**
3. **［ネットワーク / ポート設定］が表示されるので、OKボタンを押します。**
4. **［EP プロキシサーバー設定］が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。**
5. **お客様のプロキシサーバー設定に応じて、［HTTPS サーバー名 / ポート番号 / 認証 / ログイン名 / パスワード］を設定ください。**

■ EP プロキシサーバーの設定（HTTP）

HTTPS と HTTP でプロキシサーバーの設定が異なる場合のみ設定してください。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
3. [ネットワーク / ポート設定] が表示されるので、OKボタンを押します。
4. [EP プロキシサーバー設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
5. [サーバー指定方法] が表示されるので、OKボタンを押します。
6. [プロトコルごとに設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
7. お客様のプロキシサーバー設定に応じて、[HTTP サーバー名 / ポート番号 / 認証 / ログイン名 / パスワード] を設定ください。

プロキシ設定ファイル（PAC ファイル）による自動設定の場合

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
3. [ネットワーク / ポート設定] が表示されるので、OKボタンを押します。
4. [EP プロキシサーバー設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
5. [サーバー指定方法] が表示されるので、OKボタンを押します。
6. [設定ファイル URL を設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
7. 〈戻る〉ボタンを押します。
8. [プロキシ設定ファイル URL...] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
9. URL を入力し、〈戻る〉ボタンを押します。

設定ファイル自動検出の場合

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
3. [ネットワーク / ポート設定] が表示されるので、OKボタンを押します。
4. [EP プロキシサーバー設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
5. [サーバー指定方法] が表示されるので、OKボタンを押します。
6. [設定ファイルを自動検出] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
7. 〈戻る〉ボタンを押します。

ファームウェアの更新

インターネットに接続され通信が行える場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
3. [システム設定] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
4. [ソフトウェア手動更新] が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。
5. [ソフトウェア更新 [OK] でダウンロード開始] が表示されるので、OKボタンを押します。

6. **ファームウェアのダウンロードが開始されます。**
7. **［ファイル更新中］の表示から［バージョンアップが完了しました］のメッセージが表示されるとバージョンアップが終了となります。**

12.8　エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。

エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード（ESC/P モード）	VP-1000
201H エミュレーションモード（201H モード）	PC-PR201H
HP-GL エミュレーションモード（HP-GL モード）	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード（HP-GL/2 モード）	DJ750C Plus
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-CLJ5500（カラー機）、HP-LJ4200（モノクロ機）

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

プリント言語を切り替える方法は次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定して切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、［プリント言語の設定］で表示するエミュレーションモードを選んでください。

補足

- ART IV には、モードメニュー画面はありません。

使用できるフォント

使用できるフォントは、［フォントリスト］および［PCL フォントリスト］で確認できます。

ART IV、ESC/P エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

N アップ（ESC/P）

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームを本機に登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART Ⅳエミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は次のとおりです。

- Code39
- JAN-8
- JAN-13
- Code 128
- NW7（CODABAR）
- ITF（Interleaved 2 of 5）
- IDF（Industrial 2 of 5）
- Post（Japanese postal Customer Code）
- QR Code
- Matrix 2 of 5

フォームについて

ART IV または ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。

登録できるフォームの数は次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ストレージなし	64	64
ストレージあり	2048	64

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、［ユーザー定義リスト］で確認してください。

ART IV および ESC/P に関連する設定メニュー

[ネットワーク / ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定をします。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）

  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）

  各ポートのプリントモード指定を、ART IV または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART EX] や [ESC/P]、[自動] などを指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [ART EX] や [ESC/P] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.219) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

[メモリー設定]

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、ART IV のフォームおよびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ART IV フォームメモリー

  128 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [128 KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。ストレージ（オプション）が取り付けられている場合は、[ストレージ] と表示されます。

- ART IV ユーザー定義メモリー

  32 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [32 KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

[フォーム / マクロの削除]

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

ESC/P 設定項目一覧

[プリント機能メニュー]

■ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

■ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

■ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

■ **[プリント部数]**

- [部数の入力]
  プリントする部数を設定します。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後に操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ▼または▲ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。

- [部数の優先指定]
  プリント部数の指定方法を設定します。

■ **[倍率]**

- [固定倍率]
  設定されている［原稿サイズ］と［用紙サイズ］から倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。
- [任意倍率]
  任意の倍率値を設定します。
- [カット紙全面]
  カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ **[両面]**

両面プリントを設定します。

■ **[2 アップ]**

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

■ **[手差し確認待ち]**

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によって、プリントを開始する機能です。

■ **[フォント]**

- [漢字書体]
  2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝] または［ゴシック］から選びます。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。
- [英数字書体]
  1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン] または［サンセリフ］から選びます。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ **[用紙位置]**

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

[CSF なし]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

[CSF あり]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、用紙を排出します。

■ **[位置補正]**

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ **[罫線]**

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

[イメージ]

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

■ **[印字制御]**

- [漢字コード表]
  使用する漢字コード表（2121 ～ 287E）を設定します。
  [エプソン]
  セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。
  [東芝]
  株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。
- [白紙節約]
  改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。
- [イメージエンハンス]
  イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。
  イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。
- [印字桁範囲]
  右マージンの位置を拡張できます。
  [標準]
  右マージン位置を 10 cpi で 136 桁位置に設定します。
  [範囲拡張]
  印字倍率の設定によって、10 cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

  補足
  - [印字桁範囲] を［範囲拡張］から［標準］に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
  - コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。
- [文字コード]
  日本語表記に使用する文字コードを設定します。
- [キャラクターモード]
  キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターに送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&$%$」、「$?!#」のどちらかを設定します。
  [オフ]
  キャラクターモードを設定しません。
  [&$%$Entry]
  開始宣言文字列に「&$%$」を使用します。
  [$?!#Entry]
  開始宣言文字列に「$?!#」を使用します。

■ [ESCP スイッチ]

補足

- [文字品位]、[縮小文字]、[文字コード表]、[ページ長] および [1 インチ ミシン目スキップ] の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

- [文字品位]

  文字の印字品質モードを選びます。

補足

- 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
- 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。

- [縮小文字]

  1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。

- [文字コード表]

  1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。

  国内版アプリケーションをお使いの場合は [カタカナ] に、海外版アプリケーションをお使いの場合は [拡張グラフィックス] に設定してください。

- [ページ長]

  1 ページの長さ（印字エリア）を選びます。

- [1 インチ ミシン目スキップ]

  ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。

- [給紙位置]

  印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。

- [CR の機能]

  CR コマンド受信時の動作を設定します。

  [復帰]

  印字復帰だけを行います。

  [復帰 / 改行]

  印字復帰し、直後に改行を行います。

- [0 の字体]

  数字の 0 の字体を設定します。

- [バーコードモード]

  バーコードをプリントするときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適したプリントができます。

■ [拡張子指定]

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン= 3BH））のことです。

■ [拡張子文字]

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン= 3BH））のことです。

■ **[フォーム合成]**

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選んだあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から▼または▲ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
  フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

[メモリーメニュー]

NV メモリー（No.01 ～ 20）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■ **[立ち上げメモリー]**

[立ち上げメモリー] とは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■ **[メモリー呼び出し]**

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■ **[メモリー登録]**

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

■ **[メモリー削除]**

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

PC-PR201H エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PC-PR201H エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

フォーム合成

PC-PR201H エミュレーションモードでは、あらかじめフォームを本機に登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。PC-PR201H および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

フォームについて

PC-PR201H を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、［ART IV,PR201H,ESC/P ユーザー定義リスト］で確認してください。

PC-PR201H に関連する設定メニュー

［ネットワーク / ポート設定］

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）
  201H エミュレーションを使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）
  各ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［201H］や［自動］を指定できます。初期値はすべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［201H］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.219) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

［フォーム / マクロの削除］

［機械管理者メニュー］＞［初期化 / データ削除］＞［フォーム / マクロの削除］で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、［フォーム登録はありません］と表示されます。

- 201H フォーム削除
  201H 用のフォームを削除します。

201H 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

［プリント機能メニュー］

■［用紙トレイ］

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■［用紙サイズ］

プリントする用紙のサイズを設定します。［用紙トレイ］の設定が［自動］または［手差しトレイ］の場合に設定できます。

補足

- ［用紙トレイ］を、［トレイ 1］～［トレイ 4］のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。［用紙サイズ］は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、［不明］と表示されます。

■［原稿サイズ］

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

補足

- ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- ［用紙］、［用紙］を選択した場合は、［用紙サイズ］で指定したサイズと同じになります。

■［カラーモード］

カラーモードを設定します。

■ **[プリント部数]**

- [部数の入力]
  プリントする部数を設定します。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後に操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- [部数の優先指定]
  プリント部数の指定方法を設定します。

■ **[倍率]**

- [固定倍率]
  設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら 100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。
- [任意倍率]
  任意の倍率値を設定します。
- [カット紙全面]
  カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。
  カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ **[両面]**

両面プリントを設定します。

■ **[2 アップ]**

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

■ **[手差し確認待ち]**

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によって、プリントを開始する機能です。

■ **[フォント]**

- [漢字書体]
  2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック] のどちらかに設定します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。
- [英数字書体]
  1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン]、[サンセリフ] のどちらかに設定します。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合は反映されません。

■ **[用紙位置]**

用紙位置およびシートフィーダー設定の有無を設定します。

[左]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[中央]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

[S 左]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[S 中央]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

■ **[位置補正]**

データをプリントする位置を上下または左右方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ **[罫線]**

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

[イメージ]

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

■ **[印字制御]**

- [白紙節約]
  改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。
- [イメージエンハンス]
  イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。
  イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。
- [印字桁範囲]
  右マージンの位置を拡張できます。
  候補値は次のとおりです。
  [標準]
  右マージン位置を 10 cpi で 136 桁位置に設定します。
  [範囲拡張]
  印字倍率の設定によって、10 cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

■ **[201H スイッチ]**

- [国別文字]
  使用する文字を設定します。
- [自動改行]
  右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [CR]
  印字復帰だけを行います。
  [CR/LF]
  印字復帰後に改行を行います。
- [印字指令]
  印字指令のコマンドを設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [CR]
  印字指令のコマンドを CR のみとします。
  [すべて]
  印字指令のコマンドを CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。

- [CR の機能]
  CR コマンド受信時の動作を設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [復帰]
  印字復帰だけを行います。
  [復帰 / 改行]
  印字復帰し、直後に改行を行います。
- [0 の字体]
  数字の 0 の字体を設定します。
- [グラフィックドット数]
  ドット対応のグラフィックドット数の種類を設定します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。

- [データサイズ]
  データのビットサイズを設定します。
- [ページ長]
  1 ページの長さ（印字エリア）を設定します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ [拡張子指定]

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足
- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン= 3BH））のことです。

■ [拡張子文字]

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。

補足
- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン= 3BH））のことです。

■ [フォーム合成]

201H および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足
- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から▼または▲ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
- フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

[メモリーメニュー]

NV メモリー（No.01 ～ 05）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■ **[立ち上げメモリー]**

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 05）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■ **[メモリー呼び出し]**

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■ **[メモリー登録]**

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 05）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 05）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

■ **[メモリー削除]**

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて

HP-GL、HP-GL/2 に関連する設定メニュー

[ネットワーク / ポート設定]

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）

  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）

  各ポートのプリントモード指定を、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［HP-GL/2］や［自動］を指定できます。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［HP-GL/2］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.219) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

[メモリー設定]

［機械管理者メニュー］＞［メモリー設定］で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- [HPGL オートレイアウトメモリー]

  オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。

参照

- HPGL オートレイアウトメモリーについては、「[メモリー設定]」(P.85) を参照してください。

HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

[プリント機能メニュー]

■ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

■ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

■ [座標回転]

プリントするときの用紙方向を設定します。

■ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

■ [オートレイアウト]

オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。

補足

- [する] は、[原稿サイズ] で [自動] が選択されている場合にだけ表示されます。
- [しない] を選ぶと、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

■ [パレット優先指定]

使用するパレットを設定します。

■ [プリント部数]

- [部数の入力]
  プリントする部数を設定します。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後に操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- [部数の優先指定]
  プリントする部数の指定方法を設定します。

■ [両面]

両面プリントを設定します。

■ [よこ原稿 180 度回転]

よこ原稿を 180 度回転してプリントします。

■ [手差し確認待ち]

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によって、プリントを開始します。

■ [フォント]

- [漢字書体]
  2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック]、[ストローク] の中から設定します。

- [英数字書体]
  1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ストローク]、[ローマン]、[サンセリフ] の中から設定します。

■ [位置補正]

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ [印字制御]

- [HP-GL モード]
  グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。

  補足
  - BP コマンドがない HP-GL/2 データをプリントする場合は、[HP-GL/2] に設定してください。
- [ハードクリップ]
  印字可能領域を設定します。
  HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域は、ハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて、描画することはできません。
  候補値は次のとおりです。
  [標準]
  A4、A3、レター、レジャーのハードクリップエリアは、日本ヒューレット・パッカード株式会社の HP7550A と同じです。
  ほかの用紙サイズのハードクリップエリアは、本機の印字可能エリアと同じです。
  [用紙]
  用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。実際に印字できる範囲は、本機の印字可能エリアと同じです。
- [排出コマンド]
  描画の終了を示すコマンド（SP、SP0、NR、FR、PG、AF、AH）について、[有効] または [無効] に設定します。ここで [有効] に指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SP0 以外のコマンドは [無効] に設定されています。

  補足
  - 複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
- [スケール]
  原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大 / 縮小（スケーリング）するかしないかを設定します。
- [スケールモード]
  オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類）とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアとするかを設定します。
  [用紙サイズ]
  原稿サイズは、A 系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類）の中から自動的に選択されます。
  [座標エリア]
  原稿サイズは、[エリア判定モード] で選択された方法によって求められた、有効座標エリアから、ペーパーマージンを差し引いたエリアとします。

  補足
  - [原稿サイズ] で [自動] 以外が選択されている場合、[座標エリア] は選択できません。
  - [座標エリア] は、[オートレイアウト] が [しない] の場合だけ設定できます。[する] の場合は、[用紙サイズ] になります。
- [エリア判定モード]
  オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。

[自動]

有効座標エリア判定方法を、[IW]、[IP]、[Adapted]、[PS] の中から自動的に選択されます。このときの優先順位は、[PS] > [IW] > [IP] > [Adapted] となります。

[IW]

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に IW コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[IP]

データ中のすべての IP コマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中に IP コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[Adapted]

次の条件から、有効座標エリアを決定します。

- 描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標
- そのページ内に指定された最大の文字サイズ
- 最大の線幅

[PS]

データ中の最初の PS コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に PS コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

- [ペーパーマージン]

  オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。

- [イメージエンハンス]

  イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

補足

- [スケールモード]、[エリア判定モード]、[ペーパーマージン] の設定は、[原稿サイズ] が [自動] の場合に有効となります。

- [エミュレーション対象]

  エミュレートするプリンターを設定します。

  [HP750C]

  HP750C をエミュレートします。

  [FX4036]

  FX4036 をエミュレートします。

■ [ペン属性]

16 本のペン（[No.00] ～ [No.15]）の属性を設定します。

作図する線の太さや色を設定できます。

パレット優先設定でメモリー登録設定をしたときに有効になります。

- [幅]

  ペンの幅（太さ）を設定します。

補足

- 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小 0.1 mm（0.01"）まで縮小します。
- 線の幅は線の中心から太くなります。
- 太さが 0.0 mm（0.00"）の場合は、何も描画されません。

- [先端]

  ペンの先端を設定します。

  [切断]

  [丸め]

  [矩形]

• l：座標指定位置

• ［連結］
ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

［なし］：

［切断］：

［丸め］：

［交差］：

補足

• ［なし］は、処理時間が最も短く、確認用に適しています。
• シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HP-GL コマンドです。

• ［カラー］
ペンの濃度を設定します。
数値が小さくなるほど、濃度が薄くなります。

補足

• ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、ローマン、サンセリフ
幅	有効	無効
先端	有効	無効
連結	無効	
濃度	有効	

［メモリーメニュー］

NV メモリー（No.01 ～ 20）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■ ［立ち上げメモリー］

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー呼び出し］

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー登録］

メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶している ROM と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておくと、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化またはメモリー削除を行うまで保持されます。

■ **[メモリー削除]**

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

- メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ～ [No.20] は表示されません。
- 登録中、クライアントからのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は || 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから行うことをおすすめします。

PCL エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

PCL に関連する設定メニュー

[ネットワーク / ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、PCL エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）

  PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）

  各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PCL] または [自動] を選びます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [PCL] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.219) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

[初期化 / データ削除]

- PCL マクロ削除

  [機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] > [PCL マクロ削除] で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
- PCL フォント削除

  [機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォント削除] > [PCL フォント削除] で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。

PCL 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

■ **[用紙トレイ]**

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ **[用紙サイズ]**

プリントする用紙のサイズを設定します。

■ **[用紙サイズ (手差し)]**

手差しトレイを使ってプリントする用紙のサイズを設定します。

■ **[印刷方向]**

用紙のプリント方向を選びます。

■ **[両面]**

両面プリントをするかしないかを設定します。

■ **[フォント]**

使用するフォントを設定します。

■ **[シンボルセット]**

使用する記号用フォントを設定します。

■ **[フォントサイズ]**

フォントサイズを設定します。

■ **[フォントピッチ]**

文字間を設定します。

■ **[フォームライン]**

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。

■ **[プリント部数]**

- [部数の入力]
  プリントする部数を設定します。

  補足
  - クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後に操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- [部数の優先指定]
  プリント部数の指定方法を設定します。

■ **[ImageEnhancement]（イメージエンハンス）**

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

■ **[HexDump]**

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを、16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントする機能です。

■ **[ドラフトモード]**

ドラフトモードでは、トナーを節約してプリントします。品質は低下しますが、高速でプリントできます。

■ **[カラーモード]**

カラーモードを設定します。

■ **[Line Termination]**

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない	CR	LF	FF

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

12.9 lpr コマンドでプリントする

PDF ファイルや DocuWorks ファイルを、lpr コマンドを使ってプリントできます。

参照

- 設定項目については、「[PDF]」(P.89) または「[XDW(DocuWorks)]」(P.91) を参照してください。

lpr コマンドを使ってプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- 空白（スペース）は、△ で表します。

指定例

Windows のコマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

12.10 ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、インターネットサービスの［ホーム］タブ>［サポート］>［OSS ライセンス情報のダウンロード］から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、次のサイトより入手が可能です。

https://jpn.nec.com/printer/laser/etc/oss/prt/PR-L3C550/v1_0/

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.93) を参照してください。

13 操作メニュー一覧

13.1 操作パネルの基本的な使い方

- メニューの上下を切り替える :▲または▼ボタン
- メニューを選択する / 右に進む :▶またはOKボタン
- 選択を取り消す / 左に戻る :◀または〈戻る〉ボタン
- 値を確定する :OKボタン
- メニューを終了する :〈仕様設定〉ボタン
- プリントメニューを始める :〈プリントメニュー〉ボタン
- iの詳しい表示を見る :i〈インフォメーション〉ボタン
- 値を変更する（増減） :▲または▼ボタン
- 桁やフィールドを移動する :▶または◀ボタン
- 初期値を表示する（数値などの項目） :▲と▼ボタンを同時に押す

13.2 仕様設定メニュー

*：オプション構成によって表示される項目

[プリントできます]

| 〈仕様設定〉ボタンを押す

┣━┓

| [暗証番号を入力 [OK]] 操作パネル制限時

┣━┛

|

┣[レポート / リスト] 参照：「[レポート / リスト]」(P.238)

┣[メーター確認] 参照：「[メーター確認]」(P.240)

┣[機械管理者メニュー] 参照：「[機械管理者メニュー]」(P.240)

┣[プリント言語の設定] 参照：「[プリント言語の設定]」(P.287)

┗[言語切り替え] 参照：「[言語切り替え]」(P.290)

[レポート / リスト]

[レポート / リスト]

|

┣━┓

┃　[IC カードで認証してください] *　IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時

┣━┛

┃

┣[機能設定リスト]

┣[ジョブ履歴レポート]

┣[エラー履歴レポート]

┣[集計レポート]

┣[フォントリスト]

┣[PCL フォントリスト]

┣[PS フォントリスト] *　PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時

┣[ユーザー定義リスト]

┣[プリント言語]

┃ ┣[ART EX フォームリスト]

┃ ┣[PS 登録リスト] *　PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時

┃ ┣[201H 設定リスト]

┃ ┣[201H 登録リスト]

┃ ┣[ESC/P 設定リスト]

┃ ┣[ESC/P 登録リスト]

┃ ┣[HP-GL/2 設定リスト]

┃ ┣[HP-GL/2 登録リスト]

┃ ┣[HP-GL/2 パレットリスト]

┃ ┣[TIFF/JPEG 設定リスト]

┃ ┣[TIFF/JPEG 登録リスト]

┃ ┣[PDF 設定リスト]

┃ ┣[PCL 設定リスト]

┃ ┣[PCL マクロリスト]

┃ ┗[DocuWorks 設定リスト]

┣[蓄積文書リスト]

┣[ドメイン制限リスト]

┣[機能別カウンターレポート]

├[隠し印刷サンプル] *

ストレージ（オプション）装着時、およびセキュリティ拡張キット（オプション）有効時

├[ペーパーセキュリティーサンプル] *

ストレージ（オプション）装着時、およびセキュリティ拡張キット（オプション）有効時

├[バーコードサンプル]

│ ├[A3 バーコードモード ON]

│ ├[A3 バーコードモード OFF]

│ ├[A4 バーコードモード ON]

│ └[A4 バーコードモード OFF]

└[ネットワークプロトコルレポート]

[メーター確認]

[メーター確認]

└[現在のカウント]

├[メーター 1]

├[メーター 2]

└[メーター 3]

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー]

├[ネットワーク / ポート設定]

参照：「[ネットワーク / ポート設定]」(P.240)

├[システム設定]

参照：「[システム設定]」(P.256)

├[プリント設定]

参照：「[プリント設定]」(P.264)

├[メモリー設定]

参照：「[メモリー設定]」(P.280)

├[画質補正]

参照：「[画質補正]」(P.281)

└[初期化 / データ削除]

参照：「[初期化 / データ削除]」(P.286)

[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定]

├[TCP/IP 設定]

│ ├[IP 動作モード]

│ │ ├[デュアルスタック]

＜初期値＞

| | ├[IPv4]
| | └[IPv6]
| ├[Ethernet]
| | ├[IP アドレス取得方法]
| | | ├[手動]
| | | ├[DHCP]
| | | ├[BOOTP]
| | | └[DHCP/AutoIP] ＜初期値＞
| | ├[IP アドレス (IPv4)]
| | | └[000.000.000.000]
| | ├[サブネットマスク]
| | | └[000.000.000.000]
| | └[ゲートウェイアドレス]
| | └[000.000.000.000]
| ├[Ethernet1] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[IP アドレス取得方法 -1] *
| | | ├[手動] *
| | | ├[DHCP] *
| | | ├[BOOTP] *
| | | └[DHCP/AutoIP] * ＜初期値＞
| | ├[IP アドレス (IPv4)-1] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | ├[サブネットマスク -1] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | └[ゲートウェイアドレス -1] *
| | └[000.000.000.000] *
| ├[Ethernet2] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[IP アドレス取得方法 -2] *
| | | ├[手動] *
| | | ├[DHCP] *
| | | ├[BOOTP] *
| | | └[DHCP/AutoIP] * ＜初期値＞

| | ├[IP アドレス (IPv4)-2] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | ├[サブネットマスク -2] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | └[ゲートウェイアドレス -2] *
| | └[000.000.000.000] *
| ├[Wi-Fi] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| | ├[IP アドレス取得方法] *
| | | ├[手動] *
| | | ├[DHCP] *
| | | ├[BOOTP] *
| | | └[DHCP/AutoIP] * ＜初期値＞
| | ├[IP アドレス (IPv4)] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | ├[サブネットマスク] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | └[ゲートウェイアドレス] *
| | └[000.000.000.000] *
| ├[Wi-Fi Direct] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| | ├[IP アドレス (IPv4)] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | ├[サブネットマスク] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | └[ゲートウェイアドレス] *
| | └[000.000.000.000] *
| └[Ping 接続確認 -IPv4]
| └[Ethernet]
| | └[000.000.000.000]
| | └[[OK] ボタンで開始]
| ├[Ethernet1] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | └[000.000.000.000] *

| | | └[[OK] ボタンで開始] *
| | ├[Ethernet2] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | | └[000.000.000.000] *
| | | └[[OK] ボタンで開始] *
| | └[Wi-Fi] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| | └[000.000.000.000] *
| | └[[OK] ボタンで開始] *
├[Wi-Fi 有効 / 無効] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| ├[無効] * ＜初期値＞
| └[有効] *
├[Wi-Fi 設定] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| ├[Wi-Fi 接続状態] *
| | ├[強い] *
| | ├[良好] *
| | ├[弱い] *
| | └[未接続] *
| ├[リンクチャネル] *
| | └[1ch] *
| ├[帯域] *
| | ├[自動] *
| | ├[2.4GHz] *
| | ├[5GHz] *
| | └[停止] * ＜初期値＞
| ├[アクセスポイント検索] *
| | └[アクセスポイント一覧] *
| | ├[WEP キーエントリー] *
| | | ├[WEP キー 1] *
| | | | └[ ] * 10 文字または 26 文字の 16 進数
| | | ├[WEP キー 2] *
| | | | └[ ] * 10 文字または 26 文字の 16 進数
| | | ├[WEP キー 3] *

```
|  |  |  |  └[ ] *                                  10 文字または 26 文字の 16 進数
|  |  |  └[WEP キー 4] *
|  |  |     └[ ] *                                  10 文字または 26 文字の 16 進数
|  |  ├[パスフレーズ入力] *
|  |  |  ├[ASCII で入力] *
|  |  |  |  └[パスフレーズ (ASCII)[ ]] *            8 ～ 63 文字の半角英数字
|  |  |  └[HEX で入力] *
|  |  |     └[パスフレーズ (HEX)[ ]] *              64 文字の 16 進数
|  |  └[EAP 認証方式] *
|  |     ├[PEAPv0 MS-CHAPv2] *
|  |     |  └[EAP-Identity] *                       1 ～ 64 文字の半角英数字
|  |     |     └[User Name] *                       1 ～ 32 文字の半角英数字
|  |     |        └[Password] *                     1 ～ 32 文字の半角英数字
|  |     ├[EAP-TLS] *
|  |     ├[EAP-TTLS/PAP] *
|  |     ├[EAP-TTLS/CHAP] *
|  |     └[EAP-TTLS/MS-CHAP2] *
|  ├[SSID 直接入力] *
|  |  └[ ] *                                        1 ～ 32 文字の半角英数字記号
|  |     └[ネットワークタイプ] *
|  |        ├[インフラストラクチャ] *
|  |        |  └[セキュリティ] *
|  |        |     ├[設定しない] *
|  |        |     ├[WEP] *
|  |        |     ├[WPA2 Personal] *
|  |        |     ├[WPA/WPA2 Personal] *
|  |        |     ├[WPA2 Enterprise] *
|  |        |     └[WPA/WPA2 Enterp] *
|  |        └[アドホック] *
|  |           └[セキュリティ] *
|  |              ├[設定しない] *
|  |              └[WEP] *
```

| ├[WPS セットアップ] *
| | ├[PBC 開始] *
| | └[PINCode] *
| └[設定解除] *
| ├[接続一時解除] *
| └[ネットワーク設定を消去] *
├[Wi-Fi Direct] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| ├[ポートの起動] *
| | ├[起動] *
| | └[停止] * ＜初期値＞
| ├[接続数] *
| | └[0] *
| ├[グループロール] *
| | ├[自動] *
| | └[グループオーナー] * ＜初期値＞
| ├[デバイス名] *
| | └[ ] * 1 ～ 32 文字の半角英数字記号
| ├[SSID] *
| | └[[DIRECT-**]] * 1 ～ 23 文字の半角英数字
| ├[パスコード入力] *
| | └[ASCII で入力] *
| | └[ ] * 8 ～ 63 文字の英数字
| └[接続メニュー] *
| ├[携帯端末から接続操作を実行してください] *
| ├[接続許可しますか？] *
| | ├[はい] *
| | └[いいえ] *
| └[PINCode] *
├[LPD]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止]
| | └[起動] ＜初期値＞

| | ├[プリントモード指定]
| | | ├[自動] ＜初期値＞
| | | ├[ART EX]
| | | ├[PS] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| | | ├[ART IV]
| | | ├[201H]
| | | ├[ESC/P]
| | | ├[HP-GL/2]
| | | ├[PCL]
| | | ├[TIFF]
| | | └[HexDump]
| | ├[PJL]
| | | ├[無効]
| | | └[有効] ＜初期値＞
| | ├[コネクションタイムアウト]
| | | └[16 秒] 2 ～ 3600 秒（1 秒単位）＜初期値：16>
| | ├[TBCP フィルター] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| | | ├[無効] * ＜初期値＞
| | | └[有効] *
| | ├[ポート番号]
| | | └[515] 1 ～ 65535< 初期値：515>
| | ├[セッション数]
| | | └[5] 1 ～ 10< 初期値：5>
| | └[プリント順序] * ストレージ（オプション）装着時
| | | ├[受け付けと同時] * ＜初期値（ストレージ（オプション）装着時）＞
| | | ├[データ処理順] * ＜初期値（ストレージ（オプション）が取り付けられていないとき）＞
| | | └[プリント受け付け順] *
| ├[IPP]
| | ├[ポートの起動]
| | | ├[停止]
| | | └[起動] ＜初期値＞

| ├[プリントモード指定]
| | ├[自動] ＜初期値＞
| | ├[ART EX]
| | ├[PS] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| | ├[ART IV]
| | ├[201H]
| | ├[ESC/P]
| | ├[HP-GL/2]
| | ├[PCL]
| | ├[TIFF]
| | └[HexDump]
| ├[PJL]
| | ├[無効]
| | └[有効] ＜初期値＞
| ├[アクセス権制御]
| | ├[無効] ＜初期値＞
| | └[有効]
| ├[追加ポート番号]
| | └[80] 1 ～ 65535＜初期値：80＞
| ├[タイムアウト]
| | └[60 秒] 0 ～ 65535 秒（1 秒単位）＜初期値：60＞
| └[TBCP フィルター] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| ├[無効] * ＜初期値＞
| └[有効] *
├[Bonjour]
| └[ポートの起動]
| ├[停止]
| └[起動] ＜初期値＞
├[USB]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止]

		└	[起動]
	├		[プリントモード指定]
		├	[自動]
		├	[ART EX]
		├	[PS] *
		├	[ART IV]
		├	[201H]
		├	[ESC/P]
		├	[HP-GL/2]
		├	[PCL]
		├	[TIFF]
		└	[HexDump]
	├		[PJL]
		├	[無効]
		└	[有効]
	├		[自動排出時間]
		└	[30 秒]
	├		[Adobe 通信プロトコル] *
		├	[標準] *
		├	[バイナリー] *
		├	[TBCP] *
		└	[RAW] *
	├		[PS 印刷待ちタイムアウト] *
		├	[無効] *
		└	[有効] *
	└		[ポートの固定]
		├	[無効]
		└	[有効]
├			[Port9100]
	├		[ポートの起動]
		├	[停止]

	＜初期値＞
	＜初期値＞
	PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
	＜初期値＞
	5 ～ 1275 秒（5 秒単位）＜初期値：30 秒＞
	PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
	＜初期値＞
	PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
	＜初期値＞
	＜初期値＞

| | └[起動] ＜初期値＞
| ├[プリントモード指定]
| | ├[自動] ＜初期値＞
| | ├[ART EX]
| | ├[PS] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| | ├[ART IV]
| | ├[201H]
| | ├[ESC/P]
| | ├[HP-GL/2]
| | ├[PCL]
| | ├[TIFF]
| | └[HexDump]
| ├[PJL]
| | ├[無効]
| | └[有効] ＜初期値＞
| ├[コネクションタイムアウト]
| | └[60 秒] 2 ～ 65535 秒（1 秒単位）＜初期値：60＞
| ├[ポート番号]
| | └[9100] 1 ～ 65535＜初期値：9100＞
| └[TBCP フィルター] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| ├[無効] * ＜初期値＞
| └[有効] *
├[UPnP]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止] ＜初期値＞
| | └[起動]
| └[ポート番号]
| └[80] 1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[WSD]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止]

| | └[起動] ＜初期値＞
| └[ポート番号]
| └[80] 1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[SOAP]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止]
| | └[起動] ＜初期値＞
| └[ポート番号]
| └[80] 1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[ThinPrint] * ストレージ（オプション）装着時
| ├[ポートの起動] *
| | ├[停止] * ＜初期値＞
| | └[起動] *
| ├[ポート番号] *
| | └[4000] * 1 ～ 65535＜初期値：4000＞
| └[SSL/TLS 通信] *
| ├[無効] * ＜初期値＞
| └[有効] *
├[SNMP 設定]
| └[ポートの起動]
| ├[停止]
| └[起動] ＜初期値＞
├[DNS サーバー]
| ├[DNS サーバー設定]
| | ├[DHCP からアドレス取得]
| | | ├[しない]
| | | └[する] ＜初期値＞
| | └[DNS サーバー IP アドレス]
| | └[xxx.xxx.xxx.xxx]
| ├[DNS サーバー設定 -1] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[DHCP からアドレス取得] *
| | | ├[しない] *

| | | └[する] *　＜初期値＞
| | └[DNS サーバー IP アドレス -1] *
| |　　└[xxx.xxx.xxx.xxx] *
| ├[DNS サーバー設定 -2] *　セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[DHCP からアドレス取得] *
| | | ├[しない] *
| | | └[する] *　＜初期値＞
| | └[DNS サーバー IP アドレス -2] *
| |　　└[xxx.xxx.xxx.xxx] *
| └[DNS サーバー設定 Wi-Fi] *　無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
|　　├[DHCP からアドレス取得] *
|　　| ├[しない] *
|　　| └[する] *　＜初期値＞
|　　└[DNS サーバー IP アドレス] *
|　　　└[xxx.xxx.xxx.xxx] *
├[インターネットサービス]
| ├[ポートの起動]
| | ├[停止]
| | └[起動]　＜初期値＞
| └[ポート番号]
|　　└[80]　1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[EP プロキシサーバー設定]
| ├[サーバー指定方法]
| | ├[すべて同じ設定]　＜初期値＞
| | ├[プロトコルごとに設定]
| | ├[設定ファイル URL を設定]
| | └[設定ファイルを自動検出]
| ├[HTTPS サーバー名]
| | └[ ]　1 ～ 255 文字の半角英数字記号
| ├[HTTPS ポート番号]
| | └[8080]　1 ～ 65535＜初期値：8080＞
| ├[HTTPS 認証]

| | ├[無効] ＜初期値＞
| | └[有効]
| ├[HTTPS ログイン名]
| | └[ ] 1 ～ 31 文字の半角英数字記号
| ├[HTTPS パスワード]
| | └[ ] 1 ～ 31 文字の半角英数字記号
| ├[HTTP サーバー名]
| | └[ ] 1 ～ 255 文字の半角英数字記号
| ├[HTTP ポート番号]
| | └[8080] 1 ～ 65535＜初期値：8080＞
| ├[HTTP 認証]
| | ├[無効] ＜初期値＞
| | └[有効]
| ├[HTTP ログイン名]
| | └[ ] 1 ～ 31 文字の半角英数字記号
| ├[HTTP パスワード]
| | └[ ] 1 ～ 31 文字の半角英数字記号
| └[プロキシ設定ファイル URL]
| └[ ] 1 ～ 255 文字の半角英数字記号
├[Ethernet]
| ├[Ethernet 設定]
| | ├[自動] ＜初期値＞
| | ├[自動 (100Mbps 上限)]
| | ├[100M(全二重)]
| | ├[100M(半二重)]
| | ├[10M(全二重)]
| | ├[10M(半二重)]
| | └[1000 Mbps]
| ├[Ethernet 設定 -1] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[自動] * ＜初期値＞
| | ├[自動 (100Mbps 上限)] *
| | ├[100M(全二重)] *

- [100M(半二重)] *
- [10M(全二重)] *
- [10M(半二重)] *
- [1000 Mbps] *

[Ethernet 設定 -2] * — セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時

- [自動] * — ＜初期値＞
- [100M(全二重)] *
- [100M(半二重)] *
- [10M(全二重)] *
- [10M(半二重)] *
- [1000 Mbps] *

[受付制限設定]

[受付制限 (IPv4)]

[受付 IP アドレス制限]

- [しない] — ＜初期値＞
- [する]

[受付 IP アドレス設定] — 10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）

[No.1] — No.1 ～ No.10

- [IP アドレス]
  - [000.000.000.000]
- [フィルターアドレス]
  - [000.000.000.000]

[受付制限 (IPv4)-1] * — セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時

[受付 IP アドレス制限 -1] *

- [しない] * — ＜初期値＞
- [する] *

[受付 IP アドレス設定 -1] * — 10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）

[No.1] * — No.1 ～ No.10

- [IP アドレス -1] *
  - [000.000.000.000] *
- [フィルターアドレス -1] *

| | | └[000.000.000.000] *
| ├[受付制限 (IPv4)-2] * | セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[受付 IP アドレス制限 -2] *
| | | ├[しない] * | ＜初期値＞
| | | └[する] *
| | └[受付 IP アドレス設定 -2] * | 10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
| | └[No.1] * | No.1 ～ No.10
| | ├[IP アドレス -2] *
| | | └[000.000.000.000] *
| | └[フィルターアドレス -2] *
| | └[000.000.000.000] *
| └[Wi-Fi(IPv4)] * | 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
| ├[受付 IP アドレス制限] *
| | ├[しない] * | ＜初期値＞
| | └[する] *
| └[受付 IP アドレス設定] * | 10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
| └[No.1] * | No.1 ～ No.10
| ├[Wi-Fi IP アドレス] *
| | └[000.000.000.000] *
| └[Wi-Fi フィルターアドレス] *
| └[000.000.000.000] *
├[SNTP 設定]
| ├[NTP サーバーとの同期]
| | ├[しない] | ＜初期値＞
| | └[する]
| ├[接続間隔]
| | └[24 時間] | 1 ～ 500 時間（1 時間単位）＜初期値：24>
| └[NTP サーバー IP アドレス]
| └[000.000.000.000]
├[HTTP-SSL/TLS 通信]
| ├[HTTPS/HTTP の設定]

| | ├[HTTPS/HTTP 使用可] ＜初期値＞
| | └[HTTPS のみ使用可]
| └[ポート番号]
| └[443] 1 ～ 65535＜初期値：443＞
├[IPsec 通信]
| ├[無効] ＜初期値＞
| └[有効]
├[IEEE 802.1x]
| ├[IEEE 802.1x 設定]
| | ├[802.1x 認証の使用]
| | | ├[使用する]
| | | └[使用しない] ＜初期値＞
| | ├[認証方式]
| | | ├[EAP-TTLS/PAP] ＜初期値＞
| | | ├[EAP-TTLS/CHAP]
| | | ├[EAP-TTLS/MS-CHAPv2]
| | | ├[PEAP/MS-CHAPv2]
| | | └[EAP-TLS]
| | └[サーバー証明書の検証]
| | ├[しない] ＜初期値＞
| | └[する]
| ├[IEEE 802.1x 設定 -1］* セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
| | ├[802.1x 認証使用 -1］*
| | | ├[使用しない］* ＜初期値＞
| | | └[使用する］*
| | ├[認証方式 -1］*
| | | ├[EAP-TTLS/PAP］* ＜初期値＞
| | | ├[EAP-TTLS/CHAP］*
| | | ├[EAP-TTLS/MS-CHAPv2］*
| | | ├[PEAP/MS-CHAPv2］*
| | | └[EAP-TLS］*
| | └[サーバー証明書検証 -1］*

- [しない] * ＜初期値＞
- [する] *
- [IEEE 802.1x 設定 -2] * セカンダリーイーサネットカード（オプション）装着時
  - [802.1x 認証使用 -2] *
    - [使用しない] * ＜初期値＞
    - [使用する] *
  - [認証方式 -2] *
    - [EAP-TTLS/PAP] * ＜初期値＞
    - [EAP-TTLS/CHAP] *
    - [EAP-TTLS/MS-CHAPv2] *
    - [PEAP/MS-CHAPv2] *
    - [EAP-TLS] *
  - [サーバー証明書検証 -2] *
    - [しない] * ＜初期値＞
    - [する] *
- [プライマリネット選択] * 無線 LAN アダプタ（オプション）装着時
  - [Ethernet] * ＜初期値＞
  - [Wi-Fi] *

[システム設定]

[システム設定]

- [音の設定]
  - [正常終了音]
    - [1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1＞
  - [異常終了音]
    - [1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1＞
  - [自動リセット通知音]
    - [1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1＞
  - [異常警告音]
    - [1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1＞
  - [用紙切れ警告音]
    - [1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1＞

| ├[トナー残量警告音]
| | └[1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1>
| ├[エラー解除通知音]
| | └[1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1>
| ├[ログイン音]
| | └[1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1>
| ├[起動 / 終了音]
| | └[1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1>
| ├[モバイル端末の接続音]
| | └[1] 0（消音）～5（最大）＜初期値：1>
| └[警告音の繰り返し]
| ├[しない] ＜初期値＞
| └[する]
├[操作パネル設定]
| ├[操作パネル制限]
| | ├[しない]
| | └[する] ＜初期値＞
| ├[暗証番号設定]
| | └[0] 12 文字以内
| | └[もう一度入力]
| | └[0]
| ├[認証エラーアクセス拒否]
| | ├[しない]
| | └[する] ＜初期値＞
| └[認証回数]
| └[5 回] 1 ～ 10 回＜初期値：5>
├[自動リセット]
| ├[しない]
| └[60 分後] 1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：60>
├[暖機運転モード]
| ├[有効]
| └[無効] ＜初期値＞

├[エコ設定モード]	
│ ├[無効]	＜初期値＞
│ └[有効]	
├[節電移行時間短縮]	
│ ├[有効]	＜初期値＞
│ └[無効]	
├[低電力移行時間]	
│ └[1 分後]	1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：1＞
├[スリープモード移行時間]	
│ └[1 分後]	1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：1＞
├[電源自動オフ設定]	
│ ├[自動オフ]	
│ │ ├[する]	
│ │ └[しない]	＜初期値＞
│ └[自動オフ時刻]	
│ └[0:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値（24 時間制）：0:00＞
│ └[12:00 AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値（12 時間制）：12：00 AM＞
├[自動ジョブ履歴]	
│ ├[プリントしない]	＜初期値＞
│ └[プリントする]	
├[ジョブの表示設定]	
│ ├[実行中 / 待ちジョブ]	
│ │ ├[情報を制限しない]	＜初期値＞
│ │ └[情報を制限する]	
│ └[完了ジョブ]	
│ ├[ジョブの表示]	
│ │ ├[表示しない]	
│ │ ├[認証中は表示する]	
│ │ └[常に表示する]	＜初期値＞
│ ├[認証中の表示対象]	
│ │ ├[すべて]	＜初期値＞

| | └[認証ユーザーのジョブ]
| └[表示情報の制限]
| ├[制限しない] ＜初期値＞
| └[制限する]
├[レポート両面プリント]
| ├[片面]
| └[両面] ＜初期値＞
├[プリント可能領域]
| ├[標準] ＜初期値＞
| └[拡張]
├[バナーシート設定]
| ├[バナーシート出力]
| | ├[出力しない] ＜初期値＞
| | ├[スタートシート]
| | ├[エンドシート]
| | └[スタート + エンドシート]
| ├[バナーシートトレイ]
| | ├[トレイ 1] ＜初期値＞
| | ├[トレイ 2] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[トレイ 3] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | └[トレイ 4] * トレイモジュール（オプション）装着時
| └[ドライバーの設定]
| ├[有効] ＜初期値＞
| └[無効]
├[セキュリティープリント操作]
| ├[無効]
| └[有効] ＜初期値＞
├[選択文書のプリント順]
| ├[日時の古い順] ＜初期値＞
| └[日時の新しい順]
├[システム時計]
| ├[日付]

	└[日付 (yyyy/mm/dd)]	yyyy：年、2000 ～ 2034（1 年単位）
	└[日付 (mm/dd/yyyy)]	mm：月、01 ～ 12（1 月単位）
	└[日付 (dd/mm/yyyy)]	dd：日、01 ～ 31（1 日単位）
├[時刻]		
	└[時刻 (12 時間)]	時間：01 ～ 12（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
	└[時刻 (24 時間)]	時間：00 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
├[日付表示切替]		
	├[yyyy/mm/dd]	＜初期値＞
	├[mm/dd/yyyy]	
	└[dd/mm/yyyy]	
├[時刻表示切り替え]		
	├[12 時間制]	
	└[24 時間制]	＜初期値＞
├[タイムゾーン]		
	└[GMT +09:00]	-12:00 ～ +12:00＜初期値：GMT +09:00＞
└[サマータイム設定]		
├[しない]		＜初期値＞
├[日付で設定]		
	└[サマータイム開始日（xx/xx)]	
	└[サマータイム開始日 (時刻)]	
	└[サマータイム終了日（xx/xx)]	
	└[サマータイム終了日 (時刻)]	
└[月と週で設定]		
└[サマータイム開始日 (月)]		
└[サマータイム開始日 (週)]		
└[サマータイム開始日 (曜日)]		
└[サマータイム開始日 (時刻)]		
└[サマータイム終了日 (月)]		
└[サマータイム終了日 (週)]		
└[サマータイム終了日 (曜日)]		
└[サマータイム終了日 (時刻)]		

├[カラーモード自動の動作]
│ ├[標準 (スピード優先)] ＜初期値＞
│ └[ページ切り替え]
├[紙づまり時の処理]
│ ├[除去後にプリント再開] ＜初期値＞
│ └[プリント中止]
├[ドラム寿命動作]
│ ├[プリント停止する] ＜初期値＞
│ └[プリント停止しない]
├[画質調整時間延長]
│ ├[しない] ＜初期値＞
│ └[する]
├[ミリ / インチ切り替え]
│ ├[ミリ (mm)] ＜初期値＞
│ └[インチ (")]
├[データ暗号化] * ストレージ（オプション）装着時
│ └[暗号化処理] *
│ ├[する] *
│ └[しない] * ＜初期値＞
├[プリントジョブの追越]
│ ├[許可]
│ └[禁止] ＜初期値＞
├[異常終了プリント処理]
│ ├[自動的に再開]
│ └[ユーザー操作で再開] ＜初期値＞
├[ソフトウェアダウンロード]
│ ├[許可] ＜初期値＞
│ └[禁止]
├[認証 / 集計の設定]
│ ├[認証しない] ＜初期値＞
│ ├[本体認証 / 集計]
│ ├[ネット認証 / 集計]

	└[外部認証 / 集計] *	IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時
├[認証の設定]		
	├[認証情報設定]	
		├[認証失敗の記録]	
			├[しない]	
			└[する]	＜初期値＞
			└[失敗回数 10 回]	1 ～ 600 回＜初期値：10>
		├[外部認証情報保存] *	IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時
			├[しない] *	＜初期値＞
			└[する] *	
		├[外部認証情報削除] *	IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時
			└[[OK] で削除開始] *	
		├[IC カードの使用]	
			├[しない] *	＜初期値＞
			├[する] *	
			└[する (PKI のみ)] *	
		└[非接触型 IC カード]	
			├[離れても認証継続]	＜初期値＞
			└[離れたら認証解除]	
	└[認証プリントの設定]	
		├[受信時の PJL 命令]	
			├[制御しない]	＜初期値＞
			└[制御する]	
		├[出力時の PJL 命令]	
			├[制御しない]	＜初期値＞
			└[制御する]	
		├[受信制御] *	IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時
			├[プリントの認証に従う] *	＜初期値＞
			├[プライベートプリント保存] *	
			└[認証プリントに保存] *	
		└[ジョブ認証時の処理] *	IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時

| ├[認証成功のジョブ] *
| | ├[プリント] * ＜初期値＞
| | └[プライベートプリント保存] *
| ├[認証が不正のジョブ] *
| | ├[認証プリントに保存] *
| | └[ジョブを中止] * ＜初期値＞
| ├[UserID なしのジョブ] *
| | ├[プリント] *
| | ├[認証プリントに保存] *
| | └[ジョブを中止] * ＜初期値＞
| └[PJL なしのジョブ] *
| ├[UserID を利用しない] * ＜初期値＞
| └[UserID があれば利用] *
| └[UserID 利用時の動作] *
| ├[プリント] *
| ├[認証プリントに保存] *
| ├[プライベートプリント保存] * ＜初期値＞
| └[ジョブを中止] *
├[保存文書設定]
| ├[文書の保存期間]
| | ├[設定しない] ＜初期値＞
| | ├[日数と削除時刻]
| | └[時間]
| ├[保存期間 (日数)]
| | └[7 日] 1 ～ 14 日（1 日単位）＜初期値：7>
| ├[経過後の削除時刻]
| | └[3:00 AM] 時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値：3:00 AM>
| | └[3:00] 時間：0 ～ 23（1 時間単位)、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値：3:00>
| ├[保存期間 (時間)]
| | └[4 時間 00 分] 時間：0 ～ 120（1 時間単位)、分：00 ～ 59（1 分単位）
0 時間 15 分～ 120 時間 00 分＜初期値：4 時間 00 分＞

- [電源切 / 入時に削除]
  - [削除しない] ＜初期値＞
  - [削除する]
- [ソフトウェア オプション]
  - [有効化] * ソフトウェアオプション（オプション）USB 装着時
    - [[OK] で有効化開始] *
- [ソフトウェア手動更新]
  - [[OK] でダウンロード開始]
- [ソフトウェア日時更新]
  - [無効] ＜初期値＞
  - [有効]
    - [日付]
      - [時刻]
- [WEP 設定]
  - [EP 通信確認]
  - [EP 設置]
    - [BB 設置]
      - [接続先アドレス]
      - [接続先パス]
      - [プロキシサーバー]
        - [手動設定]
        - [自動検出]
        - [プロキシ設定ファイル URL]
      - [設置実行]

[プリント設定]

[プリント設定]

- [用紙の置き換え]
  - [給紙モード]
    - [しない] ＜初期値＞
    - [大きいサイズを選択]
    - [近いサイズを選択]

| | ├[近いサイズ (等倍)]
| | ├[近いサイズ (ALL)]
| | ├[近いサイズ (等倍 /ALL)]
| | ├[AB/ インチ系置き換え]
| | └[手差しトレイを選択]
| └[ページレイアウト]
| ├[標準] ＜初期値＞
| └[中央]
├[用紙種類エラーの処理]
| ├[設定変更表示]
| ├[確認画面表示] ＜初期値＞
| └[プリントする]
├[トレイの用紙種類]
| ├[トレイ 1]
| | ├[普通紙] ＜初期値＞
| | ├[再生紙]
| | ├[上質紙]
| | ├[厚紙 1]
| | ├[厚紙 2]
| | ├[ラベル紙]
| | ├[1. ユーザー 1]
| | ├[2. ユーザー 2]
| | ├[3. ユーザー 3]
| | ├[4. ユーザー 4]
| | └[5. ユーザー 5]
| ├[トレイ 2] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] * ＜初期値＞
| | ├[再生紙] *
| | ├[上質紙] *
| | ├[厚紙 1] *
| | ├[ラベル紙] *
| | ├[1. ユーザー 1] *

| | ├[2. ユーザー 2] *
| | ├[3. ユーザー 3] *
| | ├[4. ユーザー 4] *
| | └[5. ユーザー 5] *
| ├[トレイ 3] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] * ＜初期値＞
| | ├[再生紙] *
| | ├[上質紙] *
| | ├[厚紙 1] *
| | ├[ラベル紙] *
| | ├[1. ユーザー 1] *
| | ├[2. ユーザー 2] *
| | ├[3. ユーザー 3] *
| | ├[4. ユーザー 4] *
| | └[5. ユーザー 5] *
| ├[トレイ 4] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] * ＜初期値＞
| | ├[再生紙] *
| | ├[上質紙] *
| | ├[厚紙 1] *
| | ├[ラベル紙] *
| | ├[1. ユーザー 1] *
| | ├[2. ユーザー 2] *
| | ├[3. ユーザー 3] *
| | ├[4. ユーザー 4] *
| | └[5. ユーザー 5] *
| └[手差しトレイ]
| ├[普通紙] ＜初期値＞
| ├[再生紙]
| ├[上質紙]
| ├[厚紙 1]
| ├[厚紙 1(うら面)]

┃　　┣[厚紙 2]
┃　　┣[厚紙 2(うら面)]
┃　　┣[コート紙 1]
┃　　┣[コート紙 1(うら面)]
┃　　┣[コート紙 2]
┃　　┣[コート紙 2(うら面)]
┃　　┣[コート紙 3]
┃　　┣[コート紙 3(うら面)]
┃　　┣[ラベル紙]
┃　　┣[封筒]
┃　　┣[封筒 (うら面)]
┃　　┣[はがき]
┃　　┣[はがき (うら面)]
┃　　┣[1. ユーザー 1]
┃　　┣[2. ユーザー 2]
┃　　┣[3. ユーザー 3]
┃　　┣[4. ユーザー 4]
┃　　┗[5. ユーザー 5]
┣[トレイの用紙色]
┃ ┣[トレイ 1]
┃ ┃ ┣[白]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[青]
┃ ┃ ┣[黄色]
┃ ┃ ┣[緑]
┃ ┃ ┣[ピンク]
┃ ┃ ┣[透明]
┃ ┃ ┣[アイボリー]
┃ ┃ ┣[グレー]
┃ ┃ ┣[クリーム]
┃ ┃ ┣[山吹色]
┃ ┃ ┣[赤]
┃ ┃ ┣[オレンジ]

┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5]
┃ ┃ ┗[その他]
┃ ┣[トレイ 2] *　　トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[白] *　　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[青] *
┃ ┃ ┣[黄色] *
┃ ┃ ┣[緑] *
┃ ┃ ┣[ピンク] *
┃ ┃ ┣[透明] *
┃ ┃ ┣[アイボリー] *
┃ ┃ ┣[グレー] *
┃ ┃ ┣[クリーム] *
┃ ┃ ┣[山吹色] *
┃ ┃ ┣[赤] *
┃ ┃ ┣[オレンジ] *
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *
┃ ┃ ┗[その他] *
┃ ┣[トレイ 3] *　　トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[白] *　　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[青] *
┃ ┃ ┣[黄色] *
┃ ┃ ┣[緑] *
┃ ┃ ┣[ピンク] *
┃ ┃ ┣[透明] *

┃ ┃ ┣[アイボリー] *
┃ ┃ ┣[グレー] *
┃ ┃ ┣[クリーム] *
┃ ┃ ┣[山吹色] *
┃ ┃ ┣[赤] *
┃ ┃ ┣[オレンジ] *
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *
┃ ┃ ┗[その他] *
┃ ┣[トレイ 4] *
┃ ┃ ┣[白] *
┃ ┃ ┣[青] *
┃ ┃ ┣[黄色] *
┃ ┃ ┣[緑] *
┃ ┃ ┣[ピンク] *
┃ ┃ ┣[透明] *
┃ ┃ ┣[アイボリー] *
┃ ┃ ┣[グレー] *
┃ ┃ ┣[クリーム] *
┃ ┃ ┣[山吹色] *
┃ ┃ ┣[赤] *
┃ ┃ ┣[オレンジ] *
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *
┃ ┃ ┗[その他] *
┃ ┗[手差しトレイ]

トレイモジュール（オプション）装着時

＜初期値＞

<初期値>

- [白]
- [青]
- [黄色]
- [緑]
- [ピンク]
- [透明]
- [アイボリー]
- [グレー]
- [クリーム]
- [山吹色]
- [赤]
- [オレンジ]
- [1. ユーザー 1]
- [2. ユーザー 2]
- [3. ユーザー 3]
- [4. ユーザー 4]
- [5. ユーザー 5]
- [その他]

[用紙の優先順位]

- [上質紙]
  - [8 番目]
  - [7 番目]
  - [6 番目]
  - [5 番目]
  - [4 番目]
  - [3 番目]
  - [2 番目]
  - [1 番目]
  - [設定しない]
- [普通紙]
  - [8 番目]
  - [7 番目]

<初期値>

| | ├[6 番目]
| | ├[5 番目]
| | ├[4 番目]
| | ├[3 番目]
| | ├[2 番目]
| | ├[1 番目] ＜初期値＞
| | └[設定しない]
| ├[再生紙]
| | ├[8 番目]
| | ├[7 番目]
| | ├[6 番目]
| | ├[5 番目]
| | ├[4 番目]
| | ├[3 番目]
| | ├[2 番目] ＜初期値＞
| | ├[1 番目]
| | └[設定しない]
| ├[1. ユーザー 1]
| | ├[8 番目]
| | ├[7 番目]
| | ├[6 番目]
| | ├[5 番目]
| | ├[4 番目]
| | ├[3 番目]
| | ├[2 番目]
| | ├[1 番目]
| | └[設定しない] ＜初期値＞
| ├[2. ユーザー 2]
| | ├[8 番目]
| | ├[7 番目]
| | ├[6 番目]
| | ├[5 番目]

┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┣[8 番目]
┃ ┃ ┣[7 番目]
┃ ┃ ┣[6 番目]
┃ ┃ ┣[5 番目]
┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┣[8 番目]
┃ ┃ ┣[7 番目]
┃ ┃ ┣[6 番目]
┃ ┃ ┣[5 番目]
┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┗[5. ユーザー 5]
┃ ┣[8 番目]
┃ ┣[7 番目]
┃ ┣[6 番目]
┃ ┣[5 番目]
┃ ┣[4 番目]
┃ ┣[3 番目]

| ├[2 番目]
| ├[1 番目]
| └[設定しない] ＜初期値＞
├[トレイの優先順位] ＜初期値：容量の大きいトレイ順。容量が同じ場合はトレイ番号が小さい順。＞
| ├[トレイ 1]
| | ├[1 番目] ＜初期値＞
| | ├[2 番目] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[3 番目] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[4 番目] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | └[自動トレイ切替対象外]
| ├[トレイ 2] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[1 番目] *
| | ├[2 番目] *
| | ├[3 番目] *
| | ├[4 番目] *
| | └[自動トレイ切替対象外] *
| ├[トレイ 3] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[1 番目] *
| | ├[2 番目] *
| | ├[3 番目] *
| | ├[4 番目] *
| | └[自動トレイ切替対象外] *
| ├[トレイ 4] * トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[1 番目] *
| | ├[2 番目] *
| | ├[3 番目] *
| | ├[4 番目] *
| | └[自動トレイ切替対象外] *
| └[手差しトレイ]
| ├[2 番目]
| ├[3 番目] * トレイモジュール（オプション）装着時
| ├[4 番目] * トレイモジュール（オプション）装着時

	├[5 番目] *	トレイモジュール（オプション）装着時
	└[自動トレイ切替対象外]	＜初期値＞
├[手差し優先]		
	├[する]	
	└[しない]	＜初期値＞
├[トレイの用紙サイズ設定]		
	├[トレイ 1]	
		├[自動]	＜初期値＞
		└[定形外]	
			├[たて (Y) 方向のサイズ]	148 ～ 431 mm
			└[よこ (X) 方向のサイズ]	210 ～ 297 mm
	├[トレイ 2] *	トレイモジュール（オプション）装着時
		├[自動] *	＜初期値＞
		└[定形外] *	
			├[たて (Y) 方向のサイズ] *	148 ～ 431 mm
			└[よこ (X) 方向のサイズ] *	210 ～ 297 mm
	├[トレイ 3] *	トレイモジュール（オプション）装着時
		├[自動] *	＜初期値＞
		└[定形外] *	
			├[たて (Y) 方向のサイズ] *	148 ～ 431 mm
			└[よこ (X) 方向のサイズ] *	210 ～ 297 mm
	├[トレイ 4] *	トレイモジュール（オプション）装着時
		├[自動] *	＜初期値＞
		└[定形外] *	
			├[たて (Y) 方向のサイズ] *	148 ～ 431 mm
			└[よこ (X) 方向のサイズ] *	210 ～ 297 mm
	└[手差しトレイ]	［トレイの優先順位］メニューの［手差しトレイ］の設定を［自動トレイ切替対象外］以外に設定したときに表示されます
	├[A3□]	
	├[A4□]	
	├[A4▭]	＜初期値＞
	├[A5▭]	

- [A6]
- [B4]
- [B5]
- [B6]
- [7.25×10.5"]
- [8.5×11"]
- [8.5×11"]
- [8.5×13"]
- [8.5×14"]
- [11×17"]
- [はがき]
- [往復はがき]
- [長形 3]
- [洋長形 3]
- [封筒 #10]
- [封筒モナーク]
- [封筒 DL]
- [封筒 C5]
- [洋形 2]
- [洋形 3]
- [洋形 4]
- [定形外]
  - [たて (Y) 方向のサイズ] 98 ～ 1200 mm
  - [よこ (X) 方向のサイズ] 75 ～ 297 mm

[用紙の画質処理]

- [普通紙]
  - [A]
  - [A(うら面)]
  - [B] ＜初期値＞
  - [B(うら面)]
  - [C]
  - [C(うら面)]

┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[再生紙]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[A(うら面)]
┃ ┃ ┣[B]
┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C] ＜初期値＞
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[上質紙]
┃ ┃ ┣[A] ＜初期値＞
┃ ┃ ┣[A(うら面)]
┃ ┃ ┣[B]
┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[ラベル紙]
┃ ┃ ┣[B] ＜初期値＞
┃ ┃ ┗[D]
┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[A(うら面)]

┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[A(うら面)]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[A(うら面)]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┣[D]
┃ ┃ ┣[D(うら面)]
┃ ┃ ┣[S]
┃ ┃ ┗[S(うら面)]
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┣[A]

| | ├[A(うら面)]
| | ├[B] ＜初期値＞
| | ├[B(うら面)]
| | ├[C]
| | ├[C(うら面)]
| | ├[D]
| | ├[D(うら面)]
| | ├[S]
| | └[S(うら面)]
| └[5. ユーザー 5]
| ├[A]
| ├[A(うら面)]
| ├[B]
| ├[B(うら面)]
| ├[C]
| ├[C(うら面)]
| ├[D]
| ├[D(うら面)]
| ├[S] ＜初期値＞
| └[S(うら面)]
├[用紙種類名称設定]
| ├[1. ユーザー 1]
| | └[ ] ＜初期値：ユーザー 1>
| ├[2. ユーザー 2]
| | └[ ] ＜初期値：ユーザー 2>
| ├[3. ユーザー 3]
| | └[ ] ＜初期値：ユーザー 3>
| ├[4. ユーザー 4]
| | └[ ] ＜初期値：ユーザー 4>
| └[5. ユーザー 5]
| └[ ] ＜初期値：ユーザー 5>
├[用紙色名称設定]

┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 1>
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 2>
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 3>
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 4>
┃ ┗[5. ユーザー 5]
┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 5>
┣[ID 印字機能]
┃ ┣[しない] ＜初期値＞
┃ ┣[左上]
┃ ┣[右上]
┃ ┣[左下]
┃ ┗[右下]
┣[奇数ページの両面]
┃ ┣[両面]
┃ ┗[片面] ＜初期値＞
┣[未登録フォームへ印字]
┃ ┣[する (データのみ)] ＜初期値＞
┃ ┗[しない]
┣[基本の用紙サイズ]
┃ ┣[A4] ＜初期値＞
┃ ┗[8.5×11"]
┣[サイズ検知切り替え]
┃ ┣[AB 系] ＜初期値＞
┃ ┣[AB 系 (八開 / 十六開)]
┃ ┣[AB 系 (8×13"/8×14")]
┃ ┣[インチ系]
┃ ┗[AB 系 (8×13")]
┣[OCR フォントのグリフ]

| ├[バックスラッシュ] ＜初期値＞
| └[円記号]
└[サイズ不一致時処理]
　└[手差しトレイ]
　　├[プリントする]
　　└[確認画面を表示する] ＜初期値＞

[メモリー設定]

補足

- メモリーの空き容量は、お使いの環境によって、表示される数値が変わります。

[メモリー設定]

├[PS 使用メモリー] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| └[70.00MB　空 xxx.xxMB] * 70.00 ～ 128.00 MB（0.25 MB 単位）＜初期値：70.00>
├[ART EX フォームメモリー]
| ├[2048KB　空 xxx.xxMB] 2048 ～ 16384 KB（32 KB 単位）＜初期値：2048>
| └[ストレージ] * ストレージ（オプション）装着時
├[ART IV フォームメモリー]
| ├[128KB　空 xxx.xxMB] 128 ～ 2048 KB（32 KB 単位）＜初期値：128>
| └[ストレージ] * ストレージ（オプション）装着時
├[ART IV ユーザ定義メモリ]
| └[32KB　空 xxx.xxMB] 32 ～ 2048 KB（32 KB 単位）＜初期値：32>
├[HPGL オートレイアウトメモリー]
| ├[64KB　空 xxx.xxMB] 64 ～ 5120 KB（32 KB 単位）＜初期値：64>
| └[ストレージ] * ストレージ（オプション）装着時
├[ジョブチケット用メモリー]
| └[0.25MB　空 8.00MB] 0.25 ～ 8.00 MB（0.25 MB 単位）＜初期値：0.25>
└[受信バッファ容量] * ストレージ（オプション）装着時
　├[LPD スプール] *
　| ├[スプールしない] *
　| └[スプールする] * ＜初期値＞
　└[IPP スプール] *

├[スプールしない] *	＜初期値＞
└[スプールする] *	

[画質補正]

[画質補正]	
├[階調補正]	
│ ├[解像度]	
│ │ ├[階調補正チャート]	
│ │ └[補正セット]	
│ │ ├[シアン (C)]	
│ │ │ ├[L]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ ├[M]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ └[H]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ ├[マゼンタ (M)]	
│ │ │ ├[L]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ ├[M]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ └[H]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ ├[イエロー (Y)]	
│ │ │ ├[L]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ ├[M]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ │ └[H]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ └[ブラック (K)]	
│ │ ├[L]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ ├[M]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ └[H]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ └[階調]	
│ ├[階調補正チャート]	
│ └[補正セット]	
│ ├[シアン (C)]	
│ │ ├[L]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ ├[M]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ │ └[H]	-6 ～ 6（1 単位）＜ 初期値：0>
│ ├[マゼンタ (M)]	

		├[L]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
		├[M]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
		└[H]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
	├[イエロー (Y)]		
		├[L]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
		├[M]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
		└[H]	-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
	└[ブラック (K)]		
	├[L]		-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
	├[M]		-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
	└[H]		-6 ～ 6（1 単位）< 初期値：0>
├[カラーレジ補正]			
├[自動カラーレジ補正]			
└[手動カラーレジ補正]			
├[カラーレジ補正チャート]			
└[カラーレジ補正]			
├[シアン (C) の補正]			
	├[LC]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
	└[RC]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
├[マゼンタ (M) の補正]			
	├[LM]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
	└[RM]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
├[イエロー (Y) の補正]			
	├[LY]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
	└[RY]		-5 ～ 5（1 単位）< 初期値：0>
└[補正の実行]			
├[ペーパーレジ補正]			
├[トレイ 1]			
├[おもて面の補正]			
├[リードレジ補正]			-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）< 初期値：0>
└[サイドレジ補正]			-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）< 初期値：0>
├[うら面の補正]			

		├[リードレジ補正]	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
		└[サイドレジ補正]	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
	├[チャート出力 (片面)]		
		└[1 部]	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
	└[チャート出力 (両面)]		
		└[1 部]	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
├[トレイ 2] *			トレイモジュール（オプション）装着時
	├[おもて面の補正] *		
		├[リードレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
		└[サイドレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
	├[うら面の補正] *		
		├[リードレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
		└[サイドレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
	├[チャート出力 (片面)] *		
		└[1 部] *	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
	└[チャート出力 (両面)] *		
		└[1 部] *	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
├[トレイ 3] *			トレイモジュール（オプション）装着時
	├[おもて面の補正] *		
		├[リードレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
		└[サイドレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
	├[うら面の補正] *		
		├[リードレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
		└[サイドレジ補正] *	-2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
	├[チャート出力 (片面)] *		
		└[1 部] *	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
	└[チャート出力 (両面)] *		
		└[1 部] *	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
├[トレイ 4] *			トレイモジュール（オプション）装着時

| | ├[おもて面の補正] *
| | | ├[リードレジ補正] * -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | | └[サイドレジ補正] * -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | ├[うら面の補正] *
| | | ├[リードレジ補正] * -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | | └[サイドレジ補正] * -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | ├[チャート出力 (片面)] *
| | | └[1 部] * 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
| | └[チャート出力 (両面)] *
| | └[1 部] * 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
| └[手差しトレイ]
| ├[おもて面の補正]
| | ├[リードレジ補正] -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | └[サイドレジ補正] -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| ├[うら面の補正]
| | ├[リードレジ補正] -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| | └[サイドレジ補正] -2.0 ～ +2.0 mm（0.5 mm 単位）＜初期値：0＞
| ├[チャート出力 (片面)]
| | └[1 部] 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
| └[チャート出力 (両面)]
| └[1 部] 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
├[転写電圧オフセット調整]
| ├[普通紙]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[上質紙]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[再生紙]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[厚紙 1]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞

| ├[厚紙 2]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| ├[コート紙 1]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| ├[コート紙 2]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| ├[コート紙 3]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| ├[はがき]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| ├[封筒]
| | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
| └[ラベル紙]
| └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6>
├[定着温度調整]
| ├[普通紙]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[上質紙]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[再生紙]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[厚紙 1]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[厚紙 2]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[コート紙 1]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[コート紙 2]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[コート紙 3]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[封筒]

| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| ├[はがき]
| | └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
| └[ラベル紙]
| └[3] 1 ～ 5（1 単位）＜初期値：3>
└[高地使用設定]
├[海抜 0 ～ 999m] ＜初期値＞
├[海抜 1000m ～ 1999m]
├[海抜 2000m ～ 2999m]
└[海抜 3000m 以上]

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除]
├[NV メモリー初期化]
├[ストレージ初期化] * ストレージ（オプション）装着時
| └[パーティション A] *
├[証明書初期化]
├[データー括削除]
├[集計レポート初期化]
├[機能別カウンター初期化]
├[フォーム / マクロの削除]
| ├[ART EX フォーム削除]
| | └[0001.abcdefgh] 最大登録数は 64（ストレージ無）/ 2048（ストレージ有）
| ├[ART IV フォーム削除]
| | └[0001.abcdefgh] 最大登録数は 64（ストレージ無）/ 2048（ストレージ有）
| ├[201H フォーム削除]
| | └[0001.abcdefgh] 最大登録数は 64（ストレージ無）/64（ストレージ有）
| ├[ESC/P フォーム削除]
| | └[0001.abcdefgh] 最大登録数は 64（ストレージ無）/64（ストレージ有）
| └[PCL マクロ削除]
├[フォント削除]

| ┗[PCL フォント削除]

┣[セキュリティー文書削除] プライベートプリントを使用していないとき

| ┗[ユーザー ID を選択]

┗[プライベート文書削除] * IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時で、プライベートプリント使用時

┗[ユーザー ID を選択] *

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定]

┣[201H] 参照：「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.225)

┣[ESCP] 参照：「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.220)

┣[HPGL] 参照：「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.230)

┣[PDF]

| ┣[プリント処理モード] * PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）と PDF Bridge 有効時

| | ┣[PDF Bridge] * ＜初期値＞

| | ┗[PS] *

| ┣[部数]

| | ┗[1 部] 1 ～ 999 部（1 部単位）＜初期値：1＞

| ┣[両面]

| | ┣[しない] ＜初期値＞

| | ┣[長辺とじ]

| | ┗[短辺とじ]

| ┣[印刷モード]

| | ┣[高速]

| | ┣[標準] ＜初期値＞

| | ┗[高画質]

| ┣[パスワード]

| | ┗[0] 1 ～ 32 文字の半角英数字記号

| ┣[ソート]

| | ┣[しない] ＜初期値＞

| | | └[する]
| | ├[用紙サイズ]
| | | ├[A4] | [基本の用紙サイズ]が[A4]の場合
| | | └[自動] | ＜初期値＞
| | | ├[8.5×11"] | [基本の用紙サイズ]が[8.5×11"]の場合
| | | └[自動] | ＜初期値＞
| | ├[レイアウト] | PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）無効時、または[プリント処理モード]が[PDF Bridge]の場合
| | | ├[自動倍率] | ＜初期値＞
| | | ├[100%(等倍)]
| | | ├[カタログ (小冊子)]
| | | ├[2 アップ]
| | | └[4 アップ]
| | └[カラーモード]
| | | ├[カラー (自動)] | ＜初期値＞
| | | └[白黒]
| ├[PCL] | 参照：「PCL エミュレーションについて」(P.235)
| ├[PostScript] * | PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）有効時
| | ├[用紙選択モード] *
| | | ├[トレイから選択] *
| | | └[自動] * | ＜初期値＞
| | ├[カラーモード]
| | | ├[カラー]
| | | └[白黒]
| | ├[フォント未搭載時処理] *
| | | ├[プリントを中止] *
| | | └[フォントを置き換え] * | ＜初期値＞
| | └[フォント置き換え] *
| | | ├[ATCx を使用しない] *
| | | └[ATCx を使用する] * | ＜初期値＞
| ├[XPS]

| ┗ [PrintTicket 処理]
| ┣ [無効]
| ┣ [標準モード] ＜初期値＞
| ┗ [準拠モード]
┗ [XDW(DocuWorks)]
┣ [部数]
| ┗ [1 部] 1 ～ 999 部（1 部単位）＜初期値：1＞
┣ [両面]
| ┣ [しない] ＜初期値＞
| ┣ [長辺とじ]
| ┗ [短辺とじ]
┣ [印刷モード]
| ┣ [高速]
| ┣ [標準] ＜初期値＞
| ┗ [高画質]
┣ [パスワード]
| ┗ [0] 1 ～ 32 文字の半角英数字記号
┣ [ソート]
| ┣ [しない] ＜初期値＞
| ┗ [する]
┣ [レイアウト]
| ┣ [100% 等倍]
| ┣ [自動倍率] ＜初期値＞
| ┣ [2 アップ]
| ┗ [4 アップ]
┣ [用紙サイズ]
| ┣ [A4] [基本の用紙サイズ] が［A4］の場合
| ┗ [自動] ＜初期値＞
| ┣ [8.5×11"] [基本の用紙サイズ] が［8.5×11"］の場合
| ┗ [自動] ＜初期値＞
┗ [カラーモード]
┣ [カラー (自動)] ＜初期値＞

┗[白黒]

[言語切り替え]

[言語切り替え]

┣[日本語] ＜初期値＞

┗[English]

13.3　プリントメニュー

プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます] に戻るまで認証状態が継続されます。
*：オプション構成によって表示される項目

[プリントできます]

┃ 〈プリントメニュー〉ボタンを押す

┣[セキュリティープリント]

┃ ┗[ユーザー ID を選択]

┃ ┗[xxxx.xxxxxxxx]

┃ ┣ー┓

┃ ┃ [暗証番号を入力 [OK]] 暗証番号設定時

┃ ┣ー┛

┃ ┗[文書を選択]

┃ ┣[全ての文書]

┃ ┃ ┣[プリント後削除する]

┃ ┃ ┣[プリント後削除しない]

┃ ┃ ┗[削除する]

┃ ┗[1.xxxxx]

┃ ┣[プリント後削除する]

┃ ┃ ┗[x 部] 1 ～ 9999

┃ ┣[プリント後削除しない]

┃ ┃ ┗[x 部] 1 ～ 9999

┃ ┗[削除する]

┣[認証プリント]

┃ ┣ー┓

┃ ┃ [IC カードで認証してください] * IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時

```
┃ ┣━┓
┃ ┗[ユーザー ID を選択]
┃   ┗[7001.xxxxx]
┃     ┣━┓
┃     ┃   [暗証番号を入力 [OK]]                    暗証番号設定時
┃     ┣━┛
┃     ┗[文書を選択]
┃       ┣[全ての文書]
┃       ┃ ┣[プリント後削除する]
┃       ┃ ┣[プリント後削除しない]
┃       ┃ ┗[削除する]
┃       ┗[1.xxxxx]
┃         ┣[プリント後削除する]
┃         ┃ ┗[x 部]                              1 ～ 9999
┃         ┣[プリント後削除しない]
┃         ┃ ┗[x 部]                              1 ～ 9999
┃         ┗[削除する]
┣[サンプルプリント]
┃ ┗[ユーザー ID を選択]
┃   ┗[xxxx.xxxxxxxx]
┃     ┣[文書を選択]
┃     ┣[全ての文書]
┃     ┃ ┣[プリントする]
┃     ┃ ┗[削除する]
┃     ┗[1.xxxxx]
┃       ┣[プリントする]
┃       ┃ ┗[x 部]                                1 ～ 9999
┃       ┗[削除する]
┣[時刻指定プリント]
┃ ┗[文書を選択]
┃   ┗[1.xxxxx]
┃     ┣[すぐにプリントする]
```

| └[削除する]

├[メール受信プリント]

├[プライベートプリント削除] *　IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時

| └[IC カードで認証してください] *

| └[削除する文書を選択] *

| ├[すべての文書] *

| └[1.xxxxx] *

└[強制印字解除プリント] *　IC カード読み取り装置 / ストレージ（オプション）装着時

13.4　消耗品メニュー

[プリントできます]

|　▼+OKボタンを押す

├[シリアル番号]

| └[XXXXXXXXXX]

└[カスタムモード]

├[オン]

└[オフ]　＜初期値＞